

ロータリーの友

THE ROTARY-NO-TOMO JUNE 2015 VOL.63 NO.6

ロータリーの友6月号 第63巻 第6号
平成27年6月1日発行(毎月1回1日発行)
通巻750号 昭和28年1月創刊
昭和43年4月23日第3種郵便物認可
発行所 一般社団法人ロータリーの友事務所

6
2015



特集 ロータリー親睦活動月間
興味を楽しむ ロータリーを楽しむ
海外の子どもたちに手を差し伸べる

Rotary 



あなたはロータリーのために何ができますか？
何をしようとしていますか？

ロータリーの創始者 ポール・ハリス





偉大な輝き



黄其光 (Gary C.K. Huang)

2014 - 15 年度 RI 会長
台湾・台北 RC

親愛なるロータリアンの皆さん、私が皆さんの会長を務める年度が始まるに当たって、何にもまして私たち皆で、「ロータリーに輝きを」を与えたいと思いました。自分たちがロータリーの中でどれだけ多くの素晴らしい友情と経験を見つけたのか、そしてロータリーがどのようにして私たちの人生を変え、豊かにしてくれたのかを、世界の人たちと分かち合いたいと思いました。ロータリーについて誰かに話すことで、会員を増やし、クラブを強くし、困っている人たちに手を差し伸べる能力を高めることができるということを私は知っていました。

「ロータリーに輝きを」の実践に感謝

2014 - 15 年度が終わるに当たり、皆さんが私の思いに応えてくださったことを私は光榮に思います。そして、皆さんがこの課題にうまく対処してくださったことにこれからも感謝し続けることでしょう。皆さんは、それぞれの地域で数々のロータリーデーを成功させ、ロータリー財団にこれまでにまさる貢献をし、新会員や新クラブをもたらすことでロータリーのあらゆる面を推進し、「ロータリーに輝きを」という私の呼びかけに応えてくださいました。

私が国際ロータリー (RI) 会長を務める年度のテーマを選んでいった際、「ただ座って暗闇を呪うよりも、ろうそくをともした方がいい」という孔子の言葉にひらめきを感じました。

今年度は、120 万人のロータリアンとともに、インターアクター、ローターアクター、ロータリー青少年交換学生、ロータリー平和フェローが、何万という地域社会で自らのろうそくをともしてきました。私たちがともしてきた明かりは、この世の中すべてが見えるように照らす偉大な輝きとなりました。

私に RI 会長として務める機会を与えていただいたこととともに、ボランティアリーダーやスタッフの懸命な活動と献身に対し、すべての皆さんに感謝申し上げます。私は

高い期待を持って彼らのもとへ行き、そして彼らはその期待に応えてくださいました。

思い出いっぱいのロータリーデー

私はまた、今年度たくさんの友人ができたこと、そして数々の場所を訪れ、素晴らしい経験ができたことを感謝しています。ローズパレードでロータリーフロートに乗ったこと、エバンストンにある RI 本部が一般公開された日に開催されたロータリーデーで、和太鼓の演奏を喜ぶ子どもたちを見たこと、スリランカのポリオ撲滅を祝う Ride to Light Up Rotary のイベントで夜のコロンボを自転車で走ったことなど、いつまでも忘れないでしょう。

今年度、私はロータリーに新しいエネルギーを見ました。そして新しい興奮を感じました。また、私の妻のコリーナや 3 人の子どもたちと同様、多くの女性や若い人たちがロータリーに入会するのを目にしました。

次年度、皆さんが引き続き「ロータリーに輝きを」を与え、「世界へのプレゼントになろう」と支援を続けていかれることを期待しています。

Gary C.K. Huang

2014-15 年度 国際ロータリー会長

6月はロータリー親睦活動月間です

- 3 RI 会長メッセージ
偉大な輝き 
RI 会長 黄 其光
-
- 17 ロータリーデー
津・津南・津北・久居 RC / 甲府北 RC /
東京日野 RC 北村 淳 / 高鍋 RC /
川俣 RC 会長 紺野希予司 / 熊本西 RC / 東京蒲田 RC /
アルゼンチン
-
- 22 第7回 全国 RYLA 研究会
RYLA プログラムの活性化を目指して
第7回全国 RYLA 研究会大会副委員長 御手洗美智子
-
- 24 心は共に 東日本大震災
東京三鷹 RC 奉仕プロジェクト副委員長 吉田 純夫 /
須賀川ぼたん RC / 柳井西 RC /
東京日本橋西 RC 田村 彰
-
- 26 よねやまだより
"よねやま"から広がる新しい世界 ⑧
E クラブで初めての米山奨学生
福山ロータリー E クラブ2710 池田 潤治
米山学友 レ・ゴック・バオ・ヴィー
-
- 28 海外の子どもたちに手を差し伸べる
大東 RC 木村 克己 / 堺北 RC 嶽盛 和三 /
岡山南 RC / 清水中央 RC 副幹事 田島 和子 /
呉南 RC / 松戸西 RC 山本 衛 /
八戸中央 RC 伊藤 圓子 / 京都洛西 RC
-
- 34 Rotary いま……
青少年プログラムのロゴが変わりました
-
- 6 ■ロータリーとは
37 ■エバンストン便り
37 ■管理委員長の思い 
38 ■ロータリー掲示板
新クラブ・RC 事務所住所変更・RC 例会変更・IAC 名称変更・
2015-16 年度版ロータリー手帳のご案内・『友』誌ご購読部数変更
についてのご案内・地区別クラブ数/会員数/出席率一覧表・
『友』7月号主要記事予定
41 ■日本ロータリー分布図
41 ■奥付
42 ■ご投稿をお待ちしています (投稿規定)

- 7 特集 ロータリー親睦活動月間
興味を楽しむ
ロータリーを楽しむ
- 8 ようこそ、カーリングの世界へ
カーリング親睦活動グループ会長 Rich Lepping
ゴルフを満喫、ロータリーを大満喫
ゴルフの親睦活動グループ 永田 雄治
合言葉は「FUN FUN FUN」!
ヨットの親睦活動グループ 山田 和義
-
- 11 こんなにたくさんあります
親睦活動グループ
-
- 12 拓け、若者の未来を
——独自の奨学金を持つクラブ②
日米親善が生んだ奨学基金が半世紀に
三沢 RC 小比類巻雅祥
奨学生と会員が直接触れ合う機会を
浜田 RC 奨学基金委員長 佐々木良二
中国人留学生のカウンセラーを務め
過ごした新鮮な一年
長崎北 RC 二宮 誠
国家に有用な若者の育成のために
(公財)福岡ロータリークラブ奨学会常務理事 石橋 英之
地域の高校生のために独自の奨学金を
福島東 RC ロータリー情報小委員長 田中 隆士
共に学び 夢を育む
大阪心斎橋 RC
姫路から世界に羽ばたく奨学生を
姫路中央 RC 幹事 藤森 久嘉
-
- 35 地区大会略報 IV
第2720地区・第2650地区・第2700地区・第2520地区・
第2820地区・第2670地区・第2530地区



P7~11 6月はロータリー親睦活動月間です。現在、世界で64の親睦活動グループが活動しています

©JAMES R. PETERSEN

ロータリーの友 委員会

委員長 橋本 長平 (京都東)
副委員長 清水 良夫 (横浜)
R1理事 北 清治 (浦和東)
R1理事 杉谷 卓紀 (玉名)

特別顧問

中山 義之 (横浜南)
神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)
上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
片岡 信彦 (土浦南)
本田 博己 (前橋)
志田 洪顯 (静岡)
大室 雫 (宝塚武庫川)
鈴木 喬 (東京江北)
水野 功 (東京飛火野)

顧問

地区 代表委員

2500 佐藤 真康 (帯広)	2830 中畑 肇 (弘前西)	2650 橋本 和典 (奈良大宮)
2510 柳 孝一 (札幌横南)	2840 島津 文弘 (高崎北)	2660 藤田誠一郎 (大阪帝塚山)
2520 太田マリ子 (盛岡滝ノ沢)	2580 石橋 正男 (東京東江戸川)	2670 石川 浩 (高松南)
2530 金平 祖隆 (福島北)	2590 長戸はるみ (川崎高津南)	2680 熊見 一郎 (神戸須磨)
2540 加賀 美奈 (大曲)	2600 山口 健雄 (伊那)	2690 榎山 義浩 (益田)
2550 伊藤 一男 (大田原)	2610 小間 茂雄 (高岡)	2700 廣澤 元彦 (小倉東)
2560 山内 正胤 (十日町)	2620 阿部 正義 (浜松北)	2710 田頭 和規 (福山南)
2570 今泉 博 (川越)	2630 加藤真左子 (多治見西)	2720 高山龍五郎 (大分)
2770 宮下 守夫 (大宮シティ)	2750 西澤 宗英 (東京渋谷)	2730 深尾 兼好 (鹿児島西)
2790 寺川 典秀 (千葉幕張)	2760 岩瀬淳一郎 (豊川)	2740 杉原 宏一 (諫早北)
2800 御橋 広真 (鶴岡西)	2780 加藤 盛久 (茅ヶ崎湘南)	
2820 木曾 正明 (日立)	2640 京谷 知明 (堺フェニックス)	編集長 二神 典子 (東京築地)

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数34,558、会員総数1,220,115人（2014年10月1日RRI公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復歸加盟しますが、この時、復歸に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,277、会員数88,570人（2015年3月末現在）となっています。

2014 - 15 R I テーマ



Light Up Rotary

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

特集 ロータリー親睦活動月間

興味を楽しむ ロータリーを楽しむ

同じ興味や情熱を持つ世界中の仲間たちと交流できる方法、それが「ロータリー親睦活動グループ」。ロータリアン、ロータリアンの配偶者、ローターアクターなら誰でも参加できるこのグループは、世界中に会員がいるロータリーならではの国際交流の機会です。親睦活動グループは、スポーツ、グルメといった趣味や関心から、医者や弁護士などの職業を中心にしたグループまで、実に多岐にわたります。また、親睦だけを目的としたグループもあれば、奉仕プロジェクトを実施しているグループもあります。

Photo by JAMES R. PETERSEN



ようこそ、カーリングの世界へ

カーリング親睦活動グループ会長 Rich Lepping

私たちは現在、カナダ、アメリカ、イギリス、スコットランドの4か国で活動しています。国際ロータリーに正式に認められたのは1972年のことですが、1958年以来、2年に1度、世界カーリングトーナメントをカナダとスコットランドで交互に開催し、次回は2016年4月にカナダ・アルバータ州のグランドプレーリーで行う予定です。

世界カーリングトーナメントには、スコットランドとアメリカからそれぞれ3チーム、カナダから4チーム、イギリスから1チームが出場できるのですが、この出場をかけて各国で行われる予選会では熱戦が繰り広げられます。世界カーリングトーナメントでは、上記11チームによる本試合のほか、親善試合も行われています。

私たちのカーリンググループで、最も大切なのは親睦です。カーリングをしない夏にもお互いを訪問するなどして交流していますが、それも楽しみの一つです。

私自身のことを言えば、カーリングの世界で多くの友人ができました。私たちは2つの共通点で結ばれています。それはカーリングへの愛、そして、ロータリーへの情熱です。

日本の皆さんともカーリングを通して親睦を深めることができばうれしく思います。グランドプレーリーでカーリングをしてみたい方はぜひご連絡ください。歓迎します。現在は4か国を中心に活動していますが、これ以外の国からのチームを受け入れる余裕はありますし、

親善試合も行っています。ただ一つ必要なことは、ロータリアンであること。チームのメンバーが所属するロータリークラブやカーリングクラブが同じである必要はありません。日本の皆さんのご参加をお待ちしています。

ウェブサイト：<http://www.curlingrotarians.com/>

メール：richl@borderpatrolwi.com



写真 『THE ROTARIAN』 4月号から

ゴルフを満喫、ロータリーを大満喫

ゴルフの親睦活動グループ 永田 雄治

私とゴルフ親睦活動グループ（International Golfing Fellowship of Rotary: I G F R）の出会い、2010年、カナダ・モントリオールで開催された国際ロータリー（R I）国際大会の「友愛の家」で勧誘されたことです。翌年の世界トーナメントが全米最大のゴルフコース、パインハースト・リゾート（ノースカロライナ州）で行われることを知り、その場で入会を決め、翌年パインハーストでプレーを楽しむことができました。それ以降、スイス、イタリア、オーストラリア、そして今年はトルコと、毎年、世界各国の有名ゴルフコースで開催され、私はスイスのトーナメントにも参加させていただきました。

世界トーナメントは約1週間をかけて開催されます。日曜日の午後に世界各地から集まり、競技説明を兼ねたオリエンテーションとウエルカムパーティー、月～金曜日のうちの4日間のトーナメントを3クラスに分かれて行い、金曜日夜に表彰式と打ち上げパーティー、土曜日の朝に解散となります。大会期間中、観光などのオプションもあります。

I G F Rの楽しさは有名ゴルフコースでプレーすることだけではなく、世界中のロータリアンと交わる（友好）ことにあります。プレー後のランチやパーティーもありますが、毎晩、バーや部屋でロータリー＆ゴルフ談議をしながら飲み交わす時間が好きで、楽しみに参加しています。

I G F Rを通して知り合った世界の友人たちと国際大会やインドでポリオワクチンを投与している時に再会するなど思いがけないロータリーマジックを経験した

り、2013年のリスボン国際大会ではポルトガルのI G F Rの仲間に、現地視察や、ホテル、レストランの紹介をしてもらいました。

また、毎年変わる世界トーナメント開催地のロータリアンとの交流も外せません。パインハーストで招待を受けたお宅は、川が流れる丘陵に建つホテルのようなお屋敷で、「これぞアメリカ！」という体験をさせていただきました。スイスでは例会後に、懇親会を開いてもらったのですが、ワインとチーズをひたすら飲み、食べ続けながらの交流もありました。あんなにチーズを食べたのは、その時が最初で最後です。その時に地区の青少年交換委員長と知り合い、翌日にご自宅へ伺って情報交換もさせていただきました。

今後の世界トーナメントは、2016年がオランダ、2017年はカナダでの開催が決まっています。また世界には20か国以上にI G F Rネットワークがあり、国ごとでもトーナメントが開催され、知り合ったロータリアンからお誘いのメールが届きます。残念ながら日本にはその組織がなく、I G F Rの役員からも日本からの多くの入会・参加と、組織設立を求める声があります。

体験参加（1年間の会員登録は必要）をすることも可能です。ゴルフの上手さはそれほど重要ではなく、交わり（友好）が好きな方は楽しめます！ 次回の大会は2016年7月10～16日、オランダのロッテルダムで開催されます。一緒にしませんか。

（第2520地区 岩手県 陸前高田RC）

興味のある方は……rotary@tabi-ichiba.co.jp



左) 初大会となったパインハースト大会。右は43歳でガバナーをした友人のジャクソンさん、左は筆者。

右) 2012年克蘭・モンタナ大会（スイス）で一緒に回った（左から）スイス、イタリア、アメリカのロータリアンたち。

合言葉は「FUN FUN FUN」！

ヨットの親睦活動グループ 山田 和義

I Y F Rとは、International Yachting Fellowship of Rotarians（インターナショナル ヨッティング フェロシップ オブ ロータリアンズ）の略で、ロータリアンで構成されるヨットの世界的同好会です。現在、世界に 88 フリートがあり、3,000 人近くの会員がいます。ロータリークラブの国際的な親睦活動として、最も古く、また最も活動的な同好会として世界中に広く知られています。合言葉は「FUN FUN FUN」。海、川、湖を愛し、ヨット、ボートを愛するロータリアンであれば、船の有無にかかわらず、誰でも入会する資格があります。現在、国内には 7 つのフリートがあり、各フリートがそれぞれの活動をしています。興味がある方は、<http://iyfr2008mjb.blogspot.jp/> をご覧ください。（第 2660 地区 大阪府 大阪南 R C）



神戸フリート

7月に総会を行うほか、年に2回、クルージングをして親睦を深めます。その後の食事会でさらに親睦は深まります。



ウェスト九州フリート

2013 年、元 I Y F R コモドアのクリント・コリアー夫妻がアメリカから来日、ウェスト九州フリートを訪問。歓迎パーティーを開催、翌日は自然豊かな西海国立公園、九十九島をメンバー所有のヨットでクルージング。コリアー夫妻はこのクルージングを心ゆくまで堪能した様子でした。

北海道フリート

6月21日、小樽港マリーナで総会を開催。併せてクルージング、ジンギスカンのバーベキューで親睦を深める予定。



京都・琵琶湖フリート

春のクルージング例会を4月18日開催。琵琶湖の各マリーナからヨットで沖島にメンバーおよび家族が集合し、島内の民宿で例会を行いました。当フリートは、総会、アクトと合同でのレース例会、秋の例会、新年会と年間5回の活動を実施しています。

和歌山フリート

9月に開催のわかやま国体に向け、フリート再興を計画中。

大阪湾フリート

今年度開催予定の創立 20 周年のアニバーサリーイベントを計画中。



瀬戸内しまなみフリート

2014 年に創立された、国内で最も新しいフリート。会員は 33 人。4 月には岩城島お花見ランデブーを開催しました。

こんなにたくさんあります 親睦活動グループ

『Rotary Fellowships: Officer Directory-2014-15』によると、現在 64 の親睦活動グループが国際ロータリー (R I) の承認を受けて活動中です。ほとんどのグループでウェブサイトを持っており、R I のウェブサイト (www.rotary.org) からリンクされています。興味がある分野の活動がありましたら、ぜひウェブサイトを訪れてみてください。英語で運営されているグループがほとんどですが、共通する趣味が言葉の壁、文化の壁を乗り越えるのを助けてくれるでしょう。

アマチュア無線 (Amateur Radio)
アンティーク自動車
(Antique, Classic and Historic Automobiles)
作家と著者 (Authors and Writers)
ビール (Beer)
バードウォッチング (Bird Watching)
ボウリング (Bowling)
カヌー (Canoeing)
キャラバン式旅行 (Caravanning)
カーニバル、パレード、祭典
(Carnivals, Parades & Festivals)
チェス (Chess)
コンピューター (Computer Users)
大会参加者 (Convention Goers)
料理 (Cooking)
クリケット (Cricket)
クルージング (Cruising)
カーリング (Curling)
サイクリング (Cycling)
医師 (Doctors)
人形 (Doll Lovers)
E クラブ (E-Clubs)
編集・出版 (Editors and Publishers)
環境 (Environment)
エスペラント語 (Esperanto)
釣り (Fishing)
飛行 (Flying)
GPS による宝探し (Geocaching)
碁 (Go)
ゴルフ (Golf)
住まい交換 (Home Exchange)
外交 (Honorary Consuls)
乗馬 (Horseback Riding)
インターネット (Internet)
イタリア文化 (Italian Culture)
ジャズ (Jazz)
ラテン文化 (Latin Culture)
弁護士 (Lawyers)
手品 (Magicians)
マグナグラエシア (Magna Graecia)
マラソン (Marathon Running)



バイク (Motorcycling)
音楽 (Music)
希少古本 (Old and Rare Books)
パストガバナー (Past District Governors)
写真 (Photography)
警察
(Police and Law Enforcement Professionals)
コロンブス到来以前の文明
(Pre-Columbian Civilizations)
キルト・織物手芸
(Quilters and Fiber Artists)
鉄道 (Railroads)
キャンピングカー
(Recreational Vehicles)
ロータリー歴史
(Rotary Global History Internet Project)

ロータリー伝統
(Rotary Heritage and History)
ロータリーの切手 (Rotary on Stamps)
ビジネス (Rotary Means Business)
スカウト (Scouting)
スキューバダイビング (Scuba Diving)
シングルス (Singles)
スキー (Skiing)
ソーシャルネットワーク
(Social Networks)
テニス (Tennis)
品質管理 (Total Quality Management)
旅行と歓待 (Travel and Hosting)
健康とフィットネス
(Wellness and Fitness)
ワイン (Wine)
ヨット (Yachting)



クラブにある同好会と、 ロータリー親睦活動グループって同じですか

違います。簡単に言うと、R I 理事会で審査を受け、公式認定されたものがロータリー親睦活動グループ。少なくとも 3 か国の会員を含んでいること、年に 1 回はニュースレターを発行し、会員が顔を合わせて交流を図る機会を設けることなど、国、言葉、文化が違う会員たちが長期的に活動していくために必要なことが認定基準として設けられています。とはいえ、所属しているグループから認可を受け、近くの地域や 1 つの国のメンバーが支部をつくって活動しているケースもあります。



拓け、若者の未来を —— 独自の奨学金を持つクラブ②

全国には、独自に奨学金制度を持ち、運営してきたクラブが多くあります。留学生の派遣・受け入れや、地域で学ぶ学生などを支援していますが、資金管理や奨学生との交流など、その運営には長年蓄積してきたノウハウや工夫があるようです。「独自の奨学金」を持つクラブの皆さまに、設立の経緯や運営の実情、苦労したエピソードなどを伺いました（5・6月号で掲載、今回は第2回です）。

バックス奨学基金

日米親善が生んだ奨学基金が半世紀に

三沢RC 小比類巻雅祥

「バックス奨学基金」と聞いて、お酒の神様を連想された方もいらっしゃるかもしれませんが、そうではありません。この奨学基金の基を作られた元アメリカ空軍三沢基地司令官ドナルド A. バッカス大佐の名前に由来するものです。

バックス奨学基金は、三沢ロータリークラブ（RC）創立翌年の1961年1月、同基地の司令官だったバックス大佐の離任に際し、各方面から贈られた餞別約11万円を「母子家庭の教育振興に役立ててほしい」と、大佐が当クラブにその資金の管理・運営を一任されたことに始まります。同年5月には、仙台上空で飛行訓練中に搭乗機に故障が生じ、とっさの判断で住宅地を避け仙台南に向かい、海で亡くなったアメリカ空軍第352隊隊長ソラズ大佐の尊い精神に寄せられた10万円を、大佐のご遺族がその日本人の心情に感銘を受け、この基金に寄付されたというエピソードもあります。

以来54年にわたり、三沢市内の高校生を対象に、在学中、「返済を求めない奨学金」を贈り続けてきました。これまでに126人の卒業生を数え、現在5人が奨学金を受けています。

この奨学金の基金を蓄積・維持するため、当クラブで

は「バックス奨学基金カンパゴルフ大会」をアメリカ空軍基地内のゴルフ場で毎年開催しており、今年7月には第50回の記念大会を迎えます。

普段は入れない基地内だけに、県内外から、ロータリーアンや一般の方々が毎年、多数参加。基地内将校クラブでのアメリカンスタイルの表彰式は人気を集めています。バックス奨学生がホストを務める「チャリティホール」や「ニコニコ」のお願いなどで、参加者に基金へのカンパに協力いただき、現在、約2,000万円の基金を有しています。この活動が国際ロータリーに認められ、1978年には「意義ある業績賞」を受賞しています。

また、5年前のクラブ創立50周年時には、このバックス奨学生の2回生の方から、「お世話になったお礼に」と、100万円の寄付を受けるといううれしい出来事もありました。

現在、奨学生の選考に際しては、三沢市教育委員会と市内中学校の協力をいただき、成績優秀でボランティア活動などにも積極的な生徒を毎年1～2人、厳正に選考。1年分の奨学金を3回に分け、クラブ例会時に近況報告を受けながら支給しています。

（第2830地区 青森県）

①「バックスゴルフ大会」の「チャリティホール」でホストを務める奨学生たち。大会招待者のメンバーと（2010年8月） ②奨学生自らカンパを集める（2009年8月） ③奨学金支給日の例会。バックス奨学基金委員長から奨学金を受ける（2009年8月）



②



③



①

奨学生と会員が直接触れ合う機会を

浜田RC奨学基金委員長 佐々木良二



浜田高校で、浜田RC奨学生第1号認定激励会。役員がロータリーについて説明し、激励の言葉をかける（2010年4月）



障がい者施設の祭りで開いたロータリーデー「ボリオ撲滅」のPRに参加（2014年11月）

「浜田ロータリークラブ（RC）奨学基金」は、浜田市在住で市内の高校に通う生徒を対象に、年間12万円を給付という形で行っている。6年目を迎える本制度は年を重ねるごとに地元での認知度を増し、今年度は過去最高の20人の応募者があった。その中から、この3月に、新しく3人の奨学生を決定した。現在継続中の奨学生が4人、3年間の給付を終えた奨学生が7人になった。

制度発足の経緯は、1983－84年度、樫山富介ガバナーが当クラブから選出され、その公式訪問の時に、岡山RCが独自の奨学金制度を持っている（5月号横組みP14～15参照）と知ったのがきっかけとなり、浜田RCでも同年度の地区大会を機に、3,000万円を目標に基金をつくることとなった。制度を作って実際に運用を始めたのが、6年前の2009年である。

品行方正で向学心に富み、修学のための経済的支援を必要とする生徒を対象としており、全教科の平均成績が

5段階評価で3.5以上の生徒で、学校での様子を加味して中学校長から推薦状と申請書を、所帯の所得証明書を添えて提出していただく。その中から書類審査を経て面接を行い、奨学生を決定している。毎年春には奨学生の通う高校の協力を得て、新規の奨学生の認定式と、継続の奨学生の激励会を開催している。

3年間の給付を終えた生徒と保護者からは、感想文を書いてもらうことになっているが、会員もその内容を見て時に感動しながら、奨学金の意義を再認識している。

今までは奨学生と会員が直接触れ合う機会が少なかったため、今年度からはロータリーデーの活動時や、家族親睦クリスマス会などに任意で参加してもらい、奨学生にもロータリー活動を認知してもらえるよう工夫した。

奨学生が将来、奉仕の精神を持った心豊かな人間に成長して、願わくば地元に戻ってきて活躍してくれることを祈念してやまない。
（第2690地区 島根県）

長崎北ロータリークラブ国際交流基金

中国人留学生のカウンセラーを務め過ごした新鮮な一年

長崎北RC 二宮 誠

「長崎北ロータリークラブ国際交流基金」は、今から約30年前の1987年、クラブ創立30周年の時につくられた独自の奨学金制度です。

当時から長崎は経済、文化、立地の面から中国、韓国、東南アジア各国からの留学生が極めて多い場所でした。すでに米山記念奨学金制度はありましたが、並行して、米山記念奨学金をもって取り上げ得ない留学生を対象として、教育に対する奉仕活動として実施してきました。

運営はすべて会員からの寄付で成り立っています。

これまで支援してきた学生は100人に上ります。特徴として、奨学生1人に会員1人のカウンセラーをつけ、学問的な相談や生活の悩みなどに対応しています。

私は今回初めて、中国からの留学生のカウンセラーとしてこの1年を過ごしてきました。車で一緒にロータリーのイベントに参加したり、3Dプリンターセミナーで一緒に勉強したり、私の仕事の出張に合わせて東京に



も連れて行きました。そこでは、東京ビッグサイトでの国際福祉機器展での展示を手伝ってもらい、その後、本人の希望で東京スカイツリーへ行き、私の仲間と一緒に楽しくビアホールで飲んだりしたのは、私にとっても良い思い出です。

正月には、彼が一人で過ごすのもつまらないだろうと思い、自宅に招待しました。私の家族と一緒にお屠蘇を飲み、お節料理を食べ、神社に初詣に連れていきました。

彼は「日本に来て7年になるが、日本人の自宅を訪問したのは初めて」と大変感激していました。

私も中国の自然、文化のことや、日本での仕事のことなどで意見交換ができ、また初めて見る中国のお土産もいただき、新鮮な一年となりました。

いつか、彼が中国で落ち着いた時、その成長した姿を見に訪ねて行こうと、強く心に思いました。

(第2740地区 長崎県)

公益財団法人福岡ロータリークラブ奨学会

国家に有用な若者の育成のために

公益財団法人福岡ロータリークラブ奨学会常務理事 石橋 英之(福岡RC)

「公益財団法人福岡ロータリークラブ(RC)奨学会」は、1963年に、福岡RC創立30周年記念事業として設立されたもので、2013年に財団法人から公益財団法人に移行しました。役員、監事、評議員、奨学生選考委員は、全て福岡RCの会員で、全員がボランティアです。

国家有用の人材育成に寄与することを目的に、福岡市内の中学校を卒業し、福岡市およびその近郊の高校に進学する生徒で、経済的理由で就学が困難な者に対して、学校の推薦を受けて、毎年10月に書類選考、11月に面接試験を実施し、8人の奨学生を採用しています。

奨学金の額は毎月1万7,000円で、返還は不要です。奨学金の財源は、創立の際に福岡RCから拠出された基金の運用利益と会員からの寄付によって、全額が賄われております。

2014年までに採用した奨学生の総数は、468人(男子227人、女子241人)で、現在、多くの卒業生が各界で活躍しております。

また、クラブ内に奨学委員会を設置し、委員が定期的に奨学生に講話をしております。さらに、ロータリアンと奨学生の交流を深めるため、4月の例会で採用式、3

月の例会で卒業式を開催するだけでなく、8月には奨学生を招待しての例会、12月のロータリーの忘年会には、奨学生とその保護者を無料で招待しています。

有用な若者の育成のため、本奨学制度を永続したいと考えています。

(第2700地区 福岡県)



3年生の卒業祝い例会で(3月25日)

地域の高校生のために独自の奨学金を

福島東RCロータリー情報小委員長 田中 隆士

「福島東ロータリークラブ高校生奨学金」制度発足の契機は、当クラブ会員の間で、米山奨学生の出身国が限られていることが話題になっていた中、2006年、地元の新聞で「県立高校の授業料免除制度の利用者件数が急増した」との内容が報じられたことと、実際に、経済的理由により進学がかなわぬ学生の存在がわかったことである。

われわれは、「奨学金制度検討委員会」を立ち上げて、既存のロータリーの奨学金制度に協力する可否かを検討し、自らの手での給付の方法を選択した。2008年4月から下記の方法で奨学生を選別し、各年度1校1人に奨学金を支給することとした。

1 支給対象者：福島市内に居住するひとり親家庭などの子女で、成績、品格が優秀で、高校への進学を望む者

2 対象者の選定方法：福島市内中学校名をアイウエオ順に2校を選出し、該当校長の推薦を受け、当クラブ理事会で承認された者

3 対象者数：各年度2校から各1人とする

4 支給額：1か月1万円を支給する（年12万円）

5 支給期間：高校入学時から3年卒業まで



春・夏・冬休みの3回、例会で近況報告してもらい、会員らと食事で談笑する

6 支給奨学金の返還は不要である

7 現状：現在の奨学金支給対象者は5人

以降、会員やご理解のある人々の協力により、基金の潤沢を見、2013年からは選別校を2校に増やし、現在に至っている。これまでに4人の卒業生を得、今年度は5人の奨学生を対象者として、この制度が運用されている。
(第2530地区 福島県)

大阪心斎橋ロータリークラブ奨学金

共に学び 夢を育む

大阪心斎橋ロータリークラブ

大阪心斎橋ロータリークラブでは、1990年にクラブ創立20周年記念事業として、大阪で日本語を学ぶ外国人の学生を支援するための奨学金制度を創設しました。以後25年間にわたり、大阪YWCA専門学校日本語学科で学ぶ学生を対象に、奨学金を支給しています。

毎年多数の応募者の中から、主として日本の大学への進学を希望する学生を対象に、将来の夢、本人の意欲、困窮度などを勘案し、書類選考、面接を経て1～3人の学生を選考します。選ばれた学生は毎月例会に来て、日本語でスピーチをします。初めはたどたどしかった日本語が回を重ねるに従って上達していくスピーチを聞くのも楽しみの一つです。



ドイツからの留学生（中央）の卒業式。他国からの留学生とともに



タイの留学生が日本語スピーチコンテストで上達ぶりを披露

さまざまなクラブの行事にも参加してもらいますが、彼らにとっては日本語で会話をする訓練の場となり、会員にとっては国際奉仕の意識向上、国際感覚の養成の場として役に立っています。また、昨年はタイからの奨学生にタイ語のレッスンをしてもらい、年配の会員は悪戦苦闘でしたが、楽しいひと時を過ごしました。

若者は未来を創り支える力であり、その育成・支援は未来永劫変わることのないロータリーの使命です。日本に来て学ぶ意欲のある夢多き若者に、奨学金制度を通して日本語だけではなく、愛と高い志に満ちたロータリー精神を学んでもらい、国際親善、より良い社会実現のために役に立ってほしい。時代と環境が変わろうとも不変のこの思いを胸に、今後もこの制度を継続していきます。

(第2660地区 大阪府)

姫路中央ロータリークラブ冠名奨学基金

姫路から世界に羽ばたく奨学生を

姫路中央RC幹事 藤森 久嘉

姫路中央ロータリークラブ

(RC)は1995 - 96年度、クラブ創立10周年記念行事として「ロータリー財団に総額25万ドルを寄付して、姫路中央ロータリークラブ冠名奨学基金を設立すること」を決定しました。

これだけの額を一度に寄付することは困難であったため、この年度での寄付は15万ドルとし、1999 - 2000年度のクラブ創立15周年時に残額10万ドルを寄付することによって、冠名基金設立を達成しました。

ほかの奨学金と違って、世界に広がる受け入れ先のロータリアンがカウンセラーとなり、ホストとして奨学生を支援してくださっています。奨学生は品位と知性と実践能力を持ち、国際レベルで通用する語学力を身につけ、知らない土地で勉学と生活を体験し、新鮮で新たな経験を持って帰って来ます。選考に当たっては、地元の播州地域を中心にして奨学生を選んでいます。

この制度が設立されてから9人の奨学生を、アメリカ、



第1期生の佐藤恭子さん

ドイツ、イギリス、フランス、スイスなどへ派遣してきました。第1期生の佐藤恭子さんは、アメリカのバークリー音楽大学にてアルトサクソフンを学び、演奏、作曲に優れ、目下東京を中心に演奏活動をしています。

第8期生の東郷亜由美さんは、スイスで声楽を学び、ソプラノ歌手として今やヨーロッパで活躍しています。

2014年に出発した川端東洋君はフランス・パリにて水、環境、衛生などの高度な学問を勉強中で、姫路中央RCへは毎月1回、便りを送ってきています。勉強のこと、パリでの生活のことなど、徐々にパリの生活に慣れていろいろな方面にチャレンジしている、素晴らしい奨学生です。

姫路中央RCの全会員の夢を携えて、世界に羽ばたく奨学生を、もっともっと育てていきたいと思っています。

(第2680地区 兵庫県)



第8期生の東郷亜由美さん

※縦組みP 25「ロータリーアットワーク(写真編)」に関連記事

津4ロータリークラブ合同「豆まき・ふれあいロータリーデー」

津・津南・津北・久居ロータリークラブ

私たちの町・三重県津市には津・津南・津北・久居の4つのロータリークラブがあります。日ごろ行っている奉仕活動を多くの方々に広く知っていただこうと、この4クラブが協働でロータリーデーを開催。毎年多くの人々が集まりとてもにぎわう、2月3日に行われる恵日山観音寺の「鬼押さえ節分」に協力する形で、当日は4クラブから130人のロータリアンが参加しました。

恵日山観音寺は津市の中心部に位置し、日本三観音の一つとされています。市民からは「観音さん」と呼ばれて親しまれており、その歴史は開創から1300年を数えます。また「鬼押さえ節分」は、江戸時代には既にあったとされる行事で、毎年多くの方が境内に設置された舞台からの「福豆まき」を楽しみに参詣されます。

ロータリーデーのイベントでは、今回のテーマを「次代を担う若い世代」とし、舞台上で幼稚園児100人による鼓笛隊の演奏と、元気な豆まきを行い、豆を拾う側では一般客や園児の保護者たちが大変な騒ぎで、舞台上の園児たちは自慢顔でした。子どもたちの豆まきの後は例年観音寺が行う「福豆まき」。招待客や年男、年女、また厄ばらいの方々が豆まきをしました。

同時に、境内に「ロータリーブース」としてテントを設置しました。ブース内では、ロータリーとはどのような団体か、津の4つのクラブはどんな活動をしている



のかなどを、パネル展示やビデオ上映で、参詣者に見ていただくことにしました。より多くの方々にロータリーブースを見てもらうために、豆まきでまく豆の中に「当たりくじ」を入れ、その豆を受け取った方はロータリー・ブースに来ていただき、ロータリー会員協賛の景品と引き換えができるようにしました。実際に、多くの方々にお越しいただくことができました。

当日の様子は、テレビ、新聞、ケーブルテレビ、タウン誌などで広く報道されました。今まで個々のクラブの活動が報道されたことはありますが、4クラブが協働で行った活動が報じられるのは今回が初めて。4クラブが足並みをそろえ、市民と直接触れ合う中で広報活動ができたことは、とても新鮮で有意義な事業となりました。

(第2630地区 三重県)



ロータリーデー

「お正月を遊ぼう」で「END POLIO NOW」

甲府北ロータリークラブ

クラブを挙げてのロータリーデーを、NPO法人甲府駅北口まちづくり委員会との共催で1月10日に開催しました。甲府駅北口よっちゃばれ広場で行われる「お正月を遊ぼう」会場の一角にテント2張を設置して、大きな「END POLIO NOW」ののぼり旗などを掲げ、ロータリーが取り組んでいるポリオ撲滅活動の様子やクラブ活動を紹介するポスターと写真パネルを展示し、併せてポリオ撲滅の募金活動も行いました。

この「お正月を遊ぼう」は、めんこ、羽根つき、竹とんぼ、けん玉、コマ回し、ジャンボすごろくなどを用意

して、日本伝統のお正月遊びを子どもたちに体験させるとともに、親子で遊んでもらおうという趣向のイベントです。

親子で一緒に楽しむこれらの遊びの中で、甲府北ロータリークラブは「ジャンボすごろく」を担当し、インターアクトクラブ、ボーイスカウト、ガールスカウトなどの提唱団体とともに運営にあたり、多くの親子に楽しんでいただきました。また景品を差し上げる際には、ロータリーデーの説明や募金のお願いなどもしました。

正月明けの寒い時期ではありましたが、多くの親子連れが午後3時ごろまで引きも切らず来場し、ロータリー活動を知っていただくよい機会となりました。

(第2620地区 山梨県)



中学生の国内留学

東京日野RC 北村 淳

今年度で12回目となるブリティッシュヒルズ中学生国内留学報告会を、1月25日に日野市民会館小ホールにて、日野市長、教育委員長、地区グループ幹事が参列して開催しました。

このプログラムは、東京日野ロータリークラブと日野市教育委員会が協定を結び、日野市内8中学校から20人の生徒を選抜し、福島県にある英語研修施設ブリティ

ッシュヒルズへ、12月26～28日の2泊3日で、留学体験として派遣するものです。2006～07年度に国際ロータリーの「意義ある業績賞」を受賞したプロジェクトでもあります。今年度は報告会を「ロータリーデー」と位置付け、クラブの奉仕活動を紹介するパネルをロビーに設置するなどしました。

プログラム全体としては、派遣前にオリエンテーション2回と結団式、国内留学実施、報告会という流れで進みます。オリエンテーションは東京日野ロータリークラブが担当。参加生徒には各場面で英語でのスピーチの機会が与えられ、このプログラムを通し、英語での表現力がみるみる上達していきます。国内留学を体験することによって異文化への関心が高まり、その後、青少年交換などで海外に留学した生徒が何人もいます。

さらに、ロータリーアクターとしてこのプログラムに関わっていく生徒もいます。報告会後の保護者アンケートからは「英語でのコミュニケーションを楽しく学ぶことができ、貴重な体験をありがとうございました」「今後ともぜひ続けてください」などの感想をいただき、奉仕活動の素晴らしさを実感しました。(第2750地区 東京都)



第8回高鍋ロータリーカップミニラグビー大会

高鍋ロータリークラブ

2月15日、宮崎県高鍋町の小丸河畔運動公園で「第8回高鍋ロータリーカップミニラグビー大会」を開催。クラブではこの日をロータリーデーとし、ポリオ撲滅募金活動を行ったところ、活動の趣旨を理解してくださった多くの保護者から温かい支援を賜りました。

さて、当日は絶好のスポーツ日和に恵まれ、県内外から13チーム、約600人のちびっこラグーマンが高鍋町を訪れました。遠くは鹿児島県、大分県からの参加もあり、回を重ねるごとに開催規模が大きくなっていることを実感しています。参加したロータリアンたちも、子どもたちが繰り広げる大人顔負けのプレーの数々に歓喜し、表彰式での子どもたちの誇らしげな笑顔が印象に残る一日となりました。

徐々に規模が大きくなるこの大会が、小学生のラグーマンたちにとってますます意義ある大会となるよう、当クラブも全面協力します。来年も子どもたちのはつらつ



としたプレーとその元気な姿をこの高鍋の地で見られることを楽しみにしています。(第2730地区 宮崎県)



子ども達と共に汗と笑顔で

川俣RC会長 紺野希予司

2月15日、川俣町体育館において、川俣町スポーツ少年団員129人、指導者と保護者、家族157人、当ク

ラブ会員20人の計306人の参加を得て「川俣町スポーツ少年団冬季交流会」を開催しました。交流会はロータリーデーとし、「子ども達と共に汗と笑顔で」をテーマに掲げ、会員もチームを編成して玉入れ、ソフトバレーボールに参加し、多くの参加者とスポーツを通じて親睦と友情を深めました。

開会式前、当地区の地区復興補助金とクラブの資金を使って購入した玉入れ用具7組、ゲーム用ベスト120着、ドッジボール10個、長縄2本、移動式放送機器の贈呈式を行いました。被災した川俣町の子どもたちがより良い環境で一層充実したスポーツ交流ができるように、との思いを込めて贈ったものです。

心地よい汗を流した交流会後の昼食では、当クラブから提供した温かい手作りおにぎりと保護者の方が準備してくれた豚汁を食べ、一緒に楽しい時間を過ごしました。

(第2530地区 福島県)



ロータリーデー

第3回 熊本西ロータリー杯 駅伝・マラソン大会

熊本西ロータリークラブ



熊本西ロータリークラブ（RC）主催、熊本県養護協会共催、熊本県社会福祉協議会後援の「第3回 熊本西ロータリー杯 駅伝・マラソン大会」を1月31日、熊本県下の児童養護施設の子どもたちを招いて、熊本県民運動公園補助競技場で、開催しました。

同時に、この大会をロータリーデーとしました。熊本西RCの社会奉仕活動として、かつては野球教室・野球大会を開催していましたが、男子・女子ともに参加できて、小学生から高校生まで楽しめる大会として、3年前から駅伝・マラソン大会に変更して、開いています。

当日は、「ロータリーに輝きを」の旗を掲げ、次世代を担う300人以上の子どもたちや関係者の皆さまに、広くロータリーの存在を認識していただきました。

競技中は仲間たちの走りを精いっぱい応援する姿

や一生懸命走る子どもたちの姿がとても印象的で感動を覚えました。閉会式では、参加したロータリアンから各部門一斉に、優勝、準優勝、3位の賞状、トロフィーとメダルが授与され、とても楽しい大会となりました。

「よいい」の掛け声とともに走り出す子どもたち、少しでも速く、とスタートラインより前から走り出す子どもたち、そして仲間が走り出したのを見て走る子どもたちなど、さまざまな光景が見られました。駅伝ではどうとう周回遅れとなりながら、それでも最後まで走り抜き、応援する仲間たちや先生方から、たくさんの拍手をもらいました。午前9時から午後1時までの半日の大会でしたが、走る子どもたちの姿を見て、勇気をもらったように感じました。

大会終了後、「来年も優勝を目指して頑張ります」との言葉をいただき、会員からは「来年は参加賞を提供したい」との発言もあり、あらためて幸せを感じる大会でした。

（第2720地区 熊本県）



角笛シルエット劇場を開催

東京蒲田ロータリークラブ

1月25日、東京都大田区内の幼児・小学生と保護者1,500人を区民ホール・アプリコに招待して、劇団角笛による影絵劇「角笛シルエット劇場」を開催し、大成功のうちに終了しました。

「花さき山」「つのぶえのうた」「小さな青い機関車」の3本が上演され、かわいらしい人形たちによって描かれる、幻想的で鮮やかな影絵の世界に、子どもたちはくぎ付け！でした。「つのぶえのうた」ではマスコットのクックちゃんと一緒に、おなじみの童謡をみんなで大合唱。家族や友達と一緒に楽しい時間を過ごした子どもの心にいつまでも残ることでしょう。

（第2750地区 東京都）





THE ROTARIAN 6月号から
アルゼンチン 1)―4) 第4849地区のロータリーデーが、毎年4万人を超える人々が訪れるブドウの収穫祭「Fiesta Nacional de la Vendimia」と同じ日に開催されました。この市を挙げたパーティーは、豊富なマルベックワインに加え、昔ながらの料理あり、歌あり、踊りあり。メインイベントとして「ブドウの女王」コンテストが開かれます。

RYLAプログラムの活性化を目指して

第7回全国RYLA研究会大会副委員長 御手洗美智子

RYLA (Rotary Youth Leadership Awards = ロータリー青少年指導者養成プログラム) への理解を深め、日本のRYLAプログラムの活性化を図るため、全国RYLA研究会が3月22日に行われ、全国からガバナーをはじめ、多数の地区新世代委員会やRYLA委員会のメンバーが参加しました。

開会は、南園義一大会委員長の呼びかけにより、日本におけるRYLAの普及に貢献のあった元全国RYLA研究会大会委員長の故・今井鎮雄元国際ロータリー(RI)理事への黙祷で始まりました。

基調講演では、田中作次元RI会長は「ロータリーのプログラムの中でもRYLAをはじめとする青少年交換、ロータリー平和センタープログラム、財団奨学金プログラムは若い人の人生を変える力、さらには、より平和な世界の構築という高い目標のもとに、人々を結集させる力を持っています。若者一人ひとりに力を入れるごとに、『力を合わせれば、より良い世界に一步近づける』という、メッセージが伝わります」とRYLAや新世代プログラムの意義を強調しました。

続いて南園義一元RI理事が、RIの戦略計画委員会委員を長年務めた経験を踏まえた上で「RYLAの主要なカリキュラムは、より良き指導力の養成です。具体的にはロータリーの理念や実践活動の内容をよく知り、理解しながら、伝達力の重要性や問題解決や紛争処理能力を養うとともに、地域社会の市民であり、グローバルに活躍できる良き指導者を育てることです。そして指導力の倫理性、伝達力と自信と自尊心を養うことによって、より良き地域のリーダーとなるべき市民を育てることです」と語り、あらためてRYLAの意義を思い起こさせてくれると同時に、パワーポイントを使用しながら、原点に立ち戻り、再考慮を促す内容でした。

RIからの報告では、1月のRI理事会で、「RI主催のシドニー国際RYLAは成功だったが、今後はRIに経済的負担が掛からないように、国や地レベルでそれぞれ国際的RYLAを開催することを推奨し、国際大会時には行わないこと」、「3年間のパイロットプログラムも廃止すること」などが決まり、2016年の韓国・ソウルで行われるRI国際大会では大勢の新世代関係の若者を集めるYoung Leaders Summit (YLS、ヤングリーダー・サミット) が提案され、承認されたことなどが報告されました。

ライラリアンから報告

東邦銀行(福島県)に勤務する佐藤はるかさんは、シドニーの国際RYLA(2014年)に参加した時のことを語りました。福島原発の話をして、「どうしたらいいかわからない」と言うと、「どうして? なんでもできるじゃない」とRYLAの仲間たちに言われ、彼女はショックを受けたそうです。「自分が働けば、何かが変わる」という強い自信を持てるようになり、また誰かが声を上げれば、みんなが手を貸してくれると感じたそうです。これらの経験、国際大会でのRYLA分科会、友愛の家でのロータリアンとの交流を通じて、「ネットワークと実現性」「リーダーの多様性」を学びました。「地震のネットワークと働く意義」も再考し、より一層、銀行のお客さまの声に耳を傾け、笑顔で接したいと思ったそうです。国際ライラリアンとは互いにネットで連絡を取り合い、国際社会の中で人のために何ができるかを話し合い、奉仕プロジェクトを立ち上げたグループも既に

主なプログラム

- ・開会点鐘
- ・あいさつ ガバナー会副議長 坂本 俊雄
RI理事 北 清治
- ・基調講演
「新世代奉仕とRYLA」 元RI会長 田中 作次
「RI戦略計画と青少年奉仕」 元RI理事 南園 義一
- ・RIからの報告
元RI会員増強・維持委員会委員 市川伊三夫
RI RYLA委員会委員 御手洗美智子
RI青少年交換委員会委員 斎藤 直美
RIローターアクト・インターアクト委員会委員 三木 明
- ・ライラリアンの報告 佐藤はるか(第2530地区)
陳 叡(第2750地区)
佐藤紀理子(第2750地区)
- ・パネルディスカッション・質疑応答
大会委員 松宮 剛
第2550地区RYLA委員長 森 容子
第2680地区RYLA委員長 坂東 隆弘
第2750地区青少年交換委員会委員 根岸 大蔵
- ・テーブルディスカッション
- ・講評
- ・閉会点鐘



あり、自分も地域のために行動していきたい、と熱意を語りました。

チェンルイ 陳徹君は3年前に清華大学（中国）を卒業後、文部省奨学生として来日。東京大学工学部の修士コースを修了、今はエンジニアとしてソニーで働いています。彼は稲盛和夫氏など日本の起業家に憧れて、日本での就職を選びました。ロータリーのことは、第2750地区のRYLAに参加して初めて知りました。「素晴らしいリーダーシップは、自分の利益を追求するのではなく、皆の利益を優先します。このような人は、『私はリーダーです！』と言わなくても、周囲の人が自然にあなたをサポートしてくれます」ということを学びました。RYLAは彼をより積極的に変え、もし自分が成功して振り返った時、RYLAは自分の「原点」になる、と語りました。

佐藤紀理子さんは幼稚園の教諭として働いていましたが、大学院に進むことにし、その時（2005年）にRYLAと出合いました。期待と不安で参加したRYLAセミナーは、今でも思い出せるほど大変充実したものでした。現在、大学の非常勤講師を務め、そのセミナーでの経験は仕事にも生かされているとのこと。自分がRYLAで成長したように、学生が将来リーダーシップを発揮できるように、学んだことを伝えているそうです。

盛り上がったディスカッション

パネルディスカッションでは、RYLA実施地区の代表として3人のパネリストが各地区のRYLAの現状を話しました。その後の質疑応答では質問、意見が次々

と出て、時間が足りなくなりましたが、その後、テーブルに分かれて、参加者全員で情報と意見交換をするテーブルディスカッションがありました。活発な意見が交わされ、盛り上がった話し合いとなりました。

「良かった」と感想を述べる方も多く、また記名式の事後アンケートには60通以上の回答をいただきました。さまざまな意見が述べられていましたが、「時間がもっと欲しかった」との声もありました。

ライラリアンはローソクに火をともし、行動して世界を輝かせる

黄其光RI会長からのメッセージも紹介されました。

「皆さまはRYLAを通じてローソクに火をともしているのです。そして、若きリーダーたちが、それぞれのローソクに火をともし、それぞれは小さくても、みんなが一斉にともせば、世界を明々と照らすことができるでしょう。RYLA研究会のような素晴らしい会合に出席させていただくたびに、家族会議をしているような気持ちになります。RYLAを通じた活動の中で友情の輪を広げ、多くの人たちに、RYLA、そしてロータリーの道を開いてくださることを願います。友人やご家族をインターアクト、ローターアクト、RYLAに誘ってください。ロータリーファミリーが増えれば、世界が抱える問題にも、絶望ではなく、勇気を持って行動できます。奉仕の明かりで世界を照らし、ともに『ロータリーに輝きを』与えていこうではありませんか」

（第2750地区 東京広尾RC）

福島県新地町に町の花「さくら」を植樹

東京三鷹RC 奉仕プロジェクト副委員長 吉田 純夫

東京三鷹ロータリークラブでは昨年に引き続き、3月14～15日、福島県相馬郡新地町の「新地町総合公園こどもの森広場」にさくらの植樹を行いました。この事業は地区補助金を活用した取り組みで、新地町の花であるさくらを植樹することにより、東日本大震災で犠牲になられた方々の追悼を行うとともに、地域の皆さんに元気を取り戻していただき、また観光資源としての公園を目指すことを目的としています。

1泊2日で行われたこの事業には正満たつ子会長をはじめ10人の会員が参加し、新地町の佐藤清孝副町長をはじめ、現地まちづくりNPO法人や新地町商工会青年部、市民活動団体の皆さんと22本のさくらを植樹しました。昨年と合わせて約80本のさくらが植樹されたことで、総合公園の外周はさくらで囲まれることとなり、今後の成長が大いに期待されます。

新地町では常磐線新地駅が津波で流され、現在復旧工事が行われていますが、今年3月1日に

は常磐道も開通し、今後の復旧・復興が進むと思われます。まちを再構築し、その中心に位置する「新地町総合公園こどもの森広場」がさくらでいっぱいになり、地域の皆さんの笑顔が見られるよう今後も見守っていきたいと考えています。地域の皆さんの温かい歓迎と感謝のもとをいただき、大変心に残る2日間となりました。奉仕事業として今後も継続していく予定です。

(第2750地区 東京都)



子どもが未来の夢を見られるように絵本を贈る

須賀川ぼたんロータリークラブ

クリスマスも間近な12月16日、児童擁護施設の須賀川市立たけのこ園ほか2か所の施設を訪れ、絵本と書棚を寄贈しました。

須賀川は県内でも地震による道路や建物などの被害が非常に大きく、また福島第一原子力発電所事故後の放射能の不安もあり、子どもたちは自由に外に出て動き回ることができず、部屋の中での生活を余儀なくされています。最近はいだぶ規制が緩和されたとはいえ、若い親た

ちの不安も大きく、施設に入っている子どもたちは外に出ることも少なく、施設側でも絵本などの購入に充てられる予算にも限りがあるようです。

そこで当クラブとして、地区復興補助金を活用し、それらの施設を支援しようということになりました。寄贈式には、たけのこ園から藤島洋子園長と園児、当クラブの郡部仁喜会長はじめ6人の会員が出席しました。目録を受け取った藤島園長からは「少し早いクリスマスプ

レゼントになりました」と感謝の言葉がありました。

当日は(社福)プラナの森はるにれ園、(社福)うつみね福祉会はっぴいチャイルドの2施設にも同様に寄贈し、大変喜ばれました。

さて、子どもたちが絵本を読んで、どのような未来の夢を見ることができるのか、楽しみです。

(第2530地区 福島県)



学童保育室へ図書を寄贈

柳井西ロータリークラブ

クラブ創立 35 周年記念事業として、東日本大震災で大きな津波被害を受けた、気仙沼市内の小学校内にある 7 つの学童保育施設へ、本や辞書などの図書（約 1,000 冊）を寄贈しました。

私たちのクラブが 35 周年を迎えるに当たり、その記念事業に東北支援を考え、事業内容については、震災後の復興支援を通して交流のあった気仙沼南ロータリークラブ（RC）に協力をお願いし、現地の要望を調査していただき、同市内の 7 か所の学童保育施設に本や辞書や図鑑（DVD）などの図書を寄贈することに決めました。

これを受けて、気仙沼南 RC では、それぞれの学童保育施設の要望に応じた図書を手配するとともに、私たちの創立記念日に間に合うようにと、これらの図書の贈呈式までセッティングしていただきました。

1 月 22 日の贈呈式に

は、私たち柳井西 RC の林繁会長ほか 3 人が前日から気仙沼に入り、多くの気仙沼南 RC の会員の皆さまの協力のもと、市内にある松岩小学校と九条小学校内の 2 つの学童保育施設を訪問して贈呈式に臨みましたが、子どもたちがそれぞれ興味のある本を手にとって喜ぶ姿を目にして、私たちの長旅の疲れも吹き飛びました。

この子どもたちが、一日も早く両親との元の生活に戻れる日が来ることを願い、気仙沼南 RC の皆さまの手厚い協力と友情に感謝しながら帰途についた次第です。

（第 2710 地区 山口県）



講談・落語の会

東京日本橋西 RC 田村 彰

福島県浜通りの中核都市であるいわき市には、東日本大震災津波被害などで被災された方々が、故郷を離れた仮設住宅や借り上げ住宅などで約 8,000 人も暮らしています。災害公営住宅が建設され、一部では入居も進んでいます。再建までは時間がかかり、当分帰郷のめどは立たない上、その多くが高齢者と聞きました。

その皆さまの生活に元気と彩りを届けようとの目的で、3 月 14 日、いわき市文化センターにおいて「講談・落語の会」を開催しました。東京日本橋西ロータリークラブ（RC）の主催で、東京日本橋 RC、東京日本橋東 RC、東京シティ日本橋 RC と第 2530 地区（福島県）いわき分区の 10 クラブが共催。またいわき市、いわき市および 6 市町村の社会福祉協議会、地元新聞 3 社からも後援をいただきました。

会には高齢者を中心に約 400 人の方が来場され、清水敏男いわき市長にも出席いただきました。講談の神田織音さんが話す趣きのある人情話に涙し、三遊亭美るく

さんが話す軽妙で元気な落語に笑い、約 1 時間半の公演を堪能いただけたと思っております。

当日は私たちロータリアンが舞台設営から始まり、受付から案内までを行いました。被災された方々の心の傷が癒やされるには、まだまだ時間がかかることを感じるとともに、われわれができることは何かを問いかけられたような一日でもありました。わがクラブにとってもかけがえのない忘れられない一日となりました。

（第 2750 地区 東京都）



— 東日本大震災



“よねやま”から広がる新しい世界 ⑧

Eクラブで初めての米山奨学生



福山ロータリーEクラブ 2710
(第2710地区)

カウンセラー

池田 潤治 さん

世話クラブまでの道のり

ヴィーちゃんとの出会いは、今思えば偶然ではなく必然でした。私が非常勤講師を務める広島県福山市の福山YMCA国際ビジネス専門学校で、チューターとして担当した留学生が、ヴィーちゃんでした。ベトナムから誰も知らない福山に来て苦労していたと思いますが、「私には目標があるので、どんなにつらくても耐えます」と熱く語る彼女は、とても人間力にあふれた留学生でした。

彼女が米山奨学生に合格したと聞いた時、私はクラブ理事会で頭を下げ、「世話クラブになって、私にカウンセラーをやらせてほしい」と頼みました。すぐに賛同は得られましたが、そこから先は難航しました。Eクラブが世話クラブになるという前例がなく、地区にも戸惑いがあったのでしょう。しかし、粘り強く交渉を重ねた結果、近隣の福山南ロータリークラブ(RC)にサブ世話クラブとして協力してもらうことで、ようやく世話クラブとして認めてもらうことができました。

奨学生との交流で変わる会員の意識

Eクラブは例会をインターネット上で行うため、ヴィーちゃんとの交流や奨学金の授与は、理事会や懇親会、奉仕活動などの機会を利用。今年3月にロータリーデーとして行った東日本大震災復興支援のライブイベント(右写真)では、一緒にステージに立って絆を深めました。

また、彼女にはいろいろなクラブを知ってもらいたいと、福山南RCをはじめ近隣のクラブと一緒に訪問し、そこで奨学金を渡してもらうようにしました。いろいろ

なクラブを見ることで、彼女のロータリーに対する理解も深まりましたし、同時にそれらのクラブで、Eクラブに対する理解を深めてもらうことができたと思います。

会員の意識も確実に変わりました。ヴィーちゃんを通じて、みんなが留学生というものを理解し、米山記念奨学事業への理解も進みました。新しい会員にとっては、ロータリーの楽しさや魅力を知るきっかけになったようです。仕事とクラブとの両立に悩んでいた会員が、彼女との交流でロータリー活動の面白さに目覚め、生き生きと取り組むようになった例もありました。私自身、親の介護で退会したロータリーへの復帰を決めたのは、また米山に関わりたいたの思いからでした。カウンセラーを務めたこの一年は、かけがえのない時間でした。

Eクラブとして、モデルを確立したい

努力が実を結び、ヴィーちゃんは今春、横浜国立大学経営学部合格しました。クラブでは送別会を開き、旅立ちを祝いました。彼女には今後もロータリーと交流を続け、将来はロータリアンになってほしいと考えています。

クラブでは4月から、2人目の米山奨学生を受け入れています。Eクラブの形はさまざまですが、世話クラブとして一つのモデルを確立したいと思います。それが、米山記念奨学事業への理解を促すことにつながれば、こんなにうれしいことはありません。私は今、米山の支援をはじめロータリーの活動を、心から楽しんでいます。



ステージに立つヴィーさんと池田さん

Eクラブとして初めて、米山奨学生の世話クラブに手を挙げた福山ロータリーEクラブ2710。奨学生となった、レ・ゴック・バオ・ヴィーさんは、支援してくれる会員の気持ちに応えたいと努力し、見事、第一志望の大学に合格。彼女との交流は、同時に会員の奉仕の意識を変えていったそうです。カウンセラーを務めた池田潤治会員が「かけがえのない時間」という奨学生との一年間を、思い出とともに二人に語っていただきました。



米山学友

レ・ゴック・バオ・ヴィーさん

出身：ベトナム

奨学期間：2014 - 15

学校名：福山YMCA

国際ビジネス専門学校

送別会の思い出を心に刻んで

米山奨学生として過ごした一年間は、心に残る出来事の連続でした。最も感動したのは、送別会でクラブの皆さんからのメッセージを聞いた時です。一人ひとり、私との思い出を話してくれるのを聞いて、皆さんがいかに私のことを大切に思ってくれていたか、あらためてわかりました。カウンセラーの池田さんはあいさつの途中で涙を抑えきれず、「ヴィーさんから横浜国立大学合格を聞いた時は、息子が司法書士試験に合格した時と同じく、体が震える思いでした」と語ってくれました。本当の娘のように心配してくれた思いが伝わり、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

まだ日本語がよくできないころ、「横浜国立大学に入りたい」と言うと周囲の人に笑われましたが、池田さんは笑うどころか私を励まし、一生懸命に応援してくれました。経済に詳しい会員の方との勉強会を開い

てくれ、本や資料もたくさんいただきました。その気持ちに応えたいと私もベストを尽くし、第一志望校に合格できました。池田さんとお会いできなかったら、今の私はいないだろうと、この日の感動を心に刻んでいます。

いつでもどこでもつながりを感じられる

大学進学を機に福山を離れましたが、ロータリアンの皆さんとの交流が終わったわけではありません。福山ロータリーEクラブ2710は、例会をインターネット上で行っていますから、いつでもどこでも皆さんとつながることができます。毎週、クラブのホームページで、皆さんからたくさんの温かいメッセージがあり、今も変わらず支えてもらっていると感じています。

将来、国際経営コンサルタントになって、ベトナムと日本の企業間の提携や貿易を促進し、また母国のスラム街の状況改善にも貢献したいと思っています。夢の実現に一步近づけてくれたロータリアンの皆さんに心から感謝し、これからも全力で頑張りたいと思います。

ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業に関するお問い合わせ・ご意見、または「よねやまだより」についてのご意見を、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会まで、ぜひお寄せください。

Tel. 03-3434-8681 Fax. 03-3578-8281

Eメール：mail@rotary-yoneyama.or.jp



台湾米山学友会に多額の寄付

第3480地区・台北仁愛RC会員の蔡衍榮^{サイエンエイ}さんは今年2月、第2580地区（東京都・沖縄県）の地区大会に国際ロータリー会長代理として出席した際、「日本人に奨学金支援をしている台湾米山学友会のために」と、同学友会に贈る60万台湾ドル（約230万円）の小切手を委託。4月18日に第3480地区の地区大会で、第2580地区の鈴木喬ガバナーエレクトから同学友会理事長^{リンウェイホン}の林維宏さんに手渡されました。この寄付により、今年の「日本人若手研究者対象奨学金」の採用数は従来の2人から4人になることが発表されました。なお、蔡さんは2008年5月の第1回日台ロータリー親善会議の際、米山記念奨学会に300万円を寄付しています。



寄付を手渡す蔡さん（左）

海外の子どもたちに手を差し伸べる

ネパールの子どもたちにきれいな水を

大東RC 木村 克己



当クラブでは、2013年4月から2年間、ネパール出身の米山奨学生シュレスタ・リエさんの世話クラブを務めた縁から、ロータリー財団の新しい補助金システム事業としては初の海外奉仕事業として、ネパールでの支援を計画しました。

計画段階でカトマンズ西ロータリークラブ（RC）の会員との知遇を得て、策定を進める中で、ネパールの各種インフラ（ライフライン）の状況を知りました。水は24時間のうち、夕方4時から1時間だけの給水で、飲み水は業者から購入しているとのこと。電気は12時間

停電し、各家庭では発電機が必需品で、ごみ処理の焼却設備はなく、河川に投棄されるとのことでした。

この中でもやはり水が喫緊の問題であると考え、シディーマンガールにあるウツァブマディアミクビタラヤ学校とパターン市ビディアにあるアーリーリハビリテーションセンター（障がい者の職業訓練施設）の2か所に浄水設備を寄贈しました。

2月5日に現地で行われた贈呈式は、快晴のもとで開かれ、大勢の子どもたちと学校関係者、ロータリーの関係者の歓迎を受けました。友好ムードの中、出席したわ

がクラブの会員13人も、長旅の疲れが癒やされるような経験をさせてもらいました。

（第2660地区 大阪府）





当クラブでは5年前から、タイ・第3350地区のNong Khaem（ノーンケーム）ロータリークラブ（R C）とともに水質保全プロジェクトを立ち上げ、タイの小学校へ浄水器の寄贈を行っております。

この地域は浄水場よりも上流にあり、上水に石灰が含まれたまま使用され、住民は自宅で煮沸した水を飲用としています。児童たちも水筒を持参して学校で飲料水としていましたが、石灰は煮沸しても完全に取り除くことができないという現地の声を聞き、安全な飲み水を提供したいという思いで始めました。このプロジェクトでは浄水器を寄贈するだけでなく、今後のメンテナンスも約束しています。

今年度は2月9日、当クラブから会員9人とノーンケームR Cから会員13人で、カンチャナブリ地区にあ

る小学校2校を訪問。贈呈式では、「水をテーマにした絵画」の優秀賞の表彰も行い、学校長や教育委員会の代表からは心のこもったお礼の言葉を、子どもたちはお礼に、踊りや楽器演奏を披露してくれました。

滞在最終日、ノーンケームR Cは、われわれの帰国に配慮して、空港近くの会場に例会場を変更し、第3350地区のガバナーも駆けつけてくださいました。例会では、プロジェクト終了の喜びを分かち合いながら、一緒にダンスを楽しみ、名残惜しく帰国の途に就きました。

毎年、子どもたちの笑顔に触れ、ノーンケームR Cの会員たちとの友情も深まり、当クラブにとって充実した恒例の国際奉仕活動となっていることに、喜びを感じています。

（第2640地区 大阪府）



カンボジアの小学校へ浄水装置を寄付

白いシャツに紺色のスカート、ズボンの小学生たちが人懐っこい笑顔で大勢集まってきました。カンボジアの北西部シェムリアップ州にあるチェイ小学校では、児童約850人が学んでいます。

2月12日、当クラブの大岩道典副会長ら5人が、校庭で開かれた浄水装置の贈呈式に臨みました。保護者、校長をはじめ先生方、政府や地元役場の代表など、数え切れない参加者から「きれいな水をありがとう」との謝辞が続きました。この地域は井戸水が生活を支え、上水道どころか浄水装置の設置も初めてということでした。

贈った装置はアメリカ製で、井戸水をろ過して6つの蛇口が並ぶ水飲み場へ送り、給水する仕組みです。聞けば、同国内で安全な水を使える人は50%程度で、不衛生な水を料理に使ったり、直接飲むことで、特に子どもたちに下痢や腸チフスなどの感染症が多いとのことでした。

一滴の飲み水に困窮している地域、国はまだ多くあります。当クラブは国際ロータリーの重点項目の一つ「水と衛

岡山南ロータリークラブ

生」に沿って、地区世界社会奉仕（WCS）委員会からの貴重な補助金を受け、元マラソン選手の有森裕子氏が代表理事を務めるNPO法人ハート・オブ・ゴールドを通じて、今回のプロジェクトを具体化しました。装置は同国のもう一つの小学校と計2基を寄付しました。

また翌週の17日、当クラブの例会にカンボジアの教育・青少年・スポーツ省のブー・チュムスレイ事務次官補が駆けつけ、「現地の実情を踏まえた的確なご支援に感謝します」と砂田治男会長に感謝状を手渡してくれました。

（第2690地区 岡山県）



タイの子どもたちの笑顔に出合えて

3月6～9日、当クラブ会員と家族12人がタイのチェンライを訪問してきました。15年ほど前から続けている、タイの山岳少数民族の村の子どもたちへの支援活動をしているNGO・さくらプロジェクトに協力、子どもたちの住んでいる施設での井戸の掘削および水道設備の設置（『友』2015年2月号横組み18～19ページ掲載）が昨年の7月に完了し、その贈呈式を行うためでした。

今回の目的地「さくらエコホーム」は、小さな村にあり、22人の寮生と2人のスタッフが生活しています。その裏手に今回掘った井戸があり、電気のスイッチを入れると、勢いよく水が出てきました。毎時3,000ℓの水がタンクにためられ、水道の蛇口からは常にきれいな水が流れ出るようになっていました。今まで川からポンプで水をくみ上げていたこと、雨期になるとポンプが流されたり、水槽に泥がたまったりして、濁った川の水で洗濯や水浴びをするしかなかったことなどを聞きました。

清水中央RC 副幹事 田島 和子

「本当にありがとうございました。きれいな水を毎日使えることができてうれしいです」という子どもたちのあいさつで、ロータリーの活動がこんなに喜ばれていることを、あらためて知ることができました。バスを送ってくれた子どもたちの笑顔が忘れられません。

（第2620地区 静岡県）





1月23日、当クラブがこれまで、ロータリー財団の重点分野の一つ「母子の健康」のために推進してきたプロジェクトが実を結ぶ日が来ました。そのプロジェクトとは、ロータリー財団のグローバル補助金を活用し、フィリピンのアンヘルズ市民病院に保育器や新生児光線治療器などの機器類、妊婦検診手帳、ビデオ教材などを寄贈するというものです。

この病院では、地元企業からの支援によって改善されてはいるものの、その設備はまだ劣悪な状況で、例えば、2年前に病院内を視察した際には、新生児の口元に当てられた酸素吸入器が、カットしたペットボトルの底の部分で代用されているといった状態でした。そのため、当病院の新生児の死亡率は2011年度で21.9%、2012年度は25.6%と非常に高いものでした。そこで、新生児の死亡率ゼロを目指し、このプロジェクトを立ち上げたわけです。

23日当日は、午後3時からアンヘルズ市副市長、当クラブから参加した17人に加え、タイアップ先である第3790地区のアンヘルズ北ロータリークラブ、同地区や病院の関係者など約40人が出席し、病院の会議室で贈呈式が行われました。贈呈式では両国の国歌斉唱、病院長・両クラブ会長のあいさつに続き、当クラブ会長から病院長に目録を贈呈し、病院長から両クラブ会長に感謝状が手渡されました。最後に記念の集合写真の撮影をして、無事に式は終了しました。

その後、新生児の保育室に移動してテープカット、室内の見学を行いました。新しい機器類がそろって、部屋が見違えるようにきれいになったのが印象的で、病院関係者にはこれらを活用し、ぜひ新生児の死亡率ゼロを目指してほしいと思いました。

このプロジェクトは5年前に「未来の夢計画を踏まえて、何か国際奉仕のためのプロジェクトをやりたい」という当時の国際奉仕委員長的一声からスタートしました。その後、東南アジア諸国への事前調査、タイアップするロータリークラブの選定と先方との交渉を経て、2013年10月にグローバル補助金に申請し、昨年11月に承認されました。これも、当クラブの会員・事務局全員の協力はもちろん、第2710地区のロータリー財団委員や事務局、国際ロータリー日本事務局の皆さんの協力があるもので、当クラブの歴史に残るプロジェクトの一つになるのではないかと考えています。

(第2710地区 広島県)





クラブではスリランカとの交流があり、支援と親交を続けてきた。中でも会員の心を動かしたのが、楽器も予算もない中で一生懸命に音楽の勉強をする子どもたちの姿であった。スリランカの学校では、行事のたびに音楽隊が演奏するのだが、肝心の楽器がない貧しい学校が多い。地域の拠点となる学校に楽器があれば、祭りや行事などで活用が増えるのではと考え、日本で使われなくなった楽器に着目、それらを使えるように調整し、スリランカの学校に音楽室を作ることを目指した。楽器が欲しい。欲しくても予算がない。そんな状況の中、内戦の傷痕の残る学校で、世に出ようと頑張っている子どもたちに音楽室を贈りたいと、会員の気持ちが一つになった。



1月28日の例会終了後、地区補助金事業としてスリランカの学校へ楽器を寄贈するため、各会員が集めた中古の鍵盤ハーモニカを会員みんなで清掃し、音楽室用の看板製作を行った。音楽室の看板も現地で作成するのではなく、会員の手作りにこだわった。製作には思いのほか時間と労力が必要だったが、その分、会員一人ひとりの思いが看板に込められた。

2月13日、スリランカを訪れ、ポロンナロワ地区にある学校に楽器を寄贈した。日本からコロンボ空港まで9時間半のフライト。その後、マイクロバスで約5時間かけて現地の学校に到着した。子どもたちが日本とスリランカの国旗を振って出迎えてくれた。そして、校長先生や文部科学省担当官、教育委員会担当者とあいさつし、子どもたちの案内で音楽室まで歩いていった。

式典では、児童の代表者が司会進行を行い、伝統行事のオイルランプ点灯の儀、校長先生のあいさつに続き、歓迎の歌を日本語で歌ってもらい、その後、歓迎の舞を見せてもらった。最後に文部科学省の方、地域代表者の方から感謝の言葉をもらって、無事に式典は終了した。

学校はコロンボから非常に遠い場所にあるが、スリランカの高速道路がすべて完成したら、車で1～2時間で行けるようになるそうだ。今回のプロジェクトをきっかけに、多くの子どもたちが音楽に関わりを持つ機会を得て情操教育の一つとなれば、われわれのプロジェクトは成功したことになるだろう。この学校から音楽大学に進み、音楽家や音楽教師が誕生することを祈りたい。

(第2790地区 千葉県)



音楽クラブができたよ 八戸中央RC 伊藤 圓子

当クラブは今年6月に創立30周年を迎えるに当たり、記念事業として昨年、エチオピアのラリベラ小学校にソプラノリコーダーを贈った。リコーダーは八戸市立東中学校の生徒が小学生時代に使い、不用となったものを集めてもらった。

なぜ、ラリベラ小学校か。ラリベラは首都アディスアベバの北600kmの所にあり、世界遺産の岩窟教会群で知られ、人口は約1万4,000人。赤茶けた岩肌と乾いた土が広がり、森などは見当たらない。国際NPOの「フリー太郎の森基金」がここで、住民や現地スタッフらと植林などの活動に取り組んでいた。われわれは国際ロータリーが「水と衛生」を重点項目にしたところから支援を始め、水源涵養林づくりやため池の設置などに協力してき

た。クラブ創立25周年時にはNPOの代表・新妻香織さんを招き、講演をしてもらった。その縁が今回の支援につながった。

今年1月中旬、新妻さんとラリベラを訪問する機会を得た。会員の夫人たちが急きょ集めてくれた追加のリコーダーをトランクに詰め、児童数1,000人を超えるラリベラ小学校を訪ね、あらためて贈呈セレモニーを開いてもらった。

今回の件がきっかけで音楽クラブができたそうで、リコーダーを手にした子どもたちが、輝く瞳と満面の笑みで迎え、グループに分かれて楽しそうに吹いてくれた。演奏と呼ぶには程遠かったが、喜びを全身で伝える姿に感動した。また、青森県立東高校のインターアクトクラブの皆さんに作成してもらったリコーダーの演奏方法や、演奏の映像を披露したところ、皆、食い入るように見つめていた。

校長先生からは感謝状をいただき、児童からはエチオピアのダンスでの歓迎を受け、最後は私たちや先生たちも一緒にダンスの輪に入って盛り上がった。

日本で不用になったリコーダーが日本から遠い国の子どもたちの瞳を輝かせ、両国の懸け橋となったこと、クラブ30周年の事業へとつながったことに心から感謝している。

(第2830地区 青森県)



カンボジアミッション 京都洛西ロータリークラブ

2007－08年度、クラブ創立25周年を機に、それまで続けていたカンボジア地雷撤去支援活動を教育支援事業に発展させ、かつて地雷原の中にあった2つの村に小学校の校舎を建設し、教育資材を送り届けてきました。

創立32周年に当たる今年度は、姉妹クラブの第2780地区・鎌倉中央ロータリークラブの会長と会員をお誘いして、協同で支援活動を実施しました。鎌倉中央RCからは91歳の長老会員が参加され、元気に行動を共にしました。

1月17～21日の日程で現地を訪問。アンコールワットで有名なシェムリアップからバスで3時間、創立30周年時に建設した2棟目の小学校があるバットンバン州チロック村を訪れ、鎌倉中央RCと協同で校庭の一角に緑陰のための植樹をし、子どもたちにサッカーボールなど教育資材をプレゼントしました。

現地では、当初からわがクラブの支援活動を援護していただいているCMAC(カンボジア地雷対策センター)から感謝状を授与されました。(第2650地区 京都府)



青少年プログラムのロゴが変わりました

ロータリーのロゴが変更され、「Rotary」の文字の入った公式ロゴ、公式ロゴと合わせて使うことのできる大きいサイズの誇りのシンボルと呼ばれるロゴが使われるようになって、時間がたちましたので、多くの皆さまにとっても、身近なものになってきたと思います。

このロータリーの公式ロゴの変更に伴い、国際ロータリー（R I）では、ロータリーの青少年プログラムのロゴの変更についても、検討に入りました。どのようなロゴがいいのか、新しいロゴをいくつか試作してロータリアンから意見を聞くなどしてきました。その結果、新しいロゴが決定し、発表されました。いずれも、ロータリーの歯車を基調にしたものになっています。

インターアクト（Interact）は、ロータリークラブが提唱する12～18歳の会員が活動するクラブです。ロゴの色はロータリースカイブルーで、若者らしさを表現した色使いになっています。歯車の横に「Interact」の文字が入り、その下には「ロータリー提唱クラブ」の文字が入ります。クラブ名を入れる場合は、これらの文字の上下どちらかに入れます。



ローターアクト（Rotaract）はロータリークラブが提唱する18～30歳の若者のクラブです。ロゴの色はクランベリーで、歯車の横に「Rotaract」の文字が入ります。その下には「ロータリーのパートナー」の文字が入り、クラブ名を入れる場合は、これらの文字の上下どちらかに入れます。



ロータリー青少年交換（Rotary Youth Exchange）は、1学年度間、または休暇期間中に国際理解と親善を促進することを目的として、15～19歳の学生を海外に派遣したり、海外から受け入れたりするものです。ロータリーの公式ロゴと「rotary youth exchange」の文字を並べ、間に50%ブラックの仕切

り線を入れます。文字は日本語で「ロータリー青少年交換」と入れても構いません。英語、日本語いずれの場合もR Iで指定しているロータリー公式フォントの文字を入れなければいけません。「Rotary」の文字の下に、地区名またはクラブ名を入れてください。



R Y L A（Rotary Youth Leadership Awards=ロータリー青少年指導者養成プログラム）は、主に中高生、大学生、若い成人を対象とし、リーダーを養成するためのプログラムです。ロータリー青少年交換のロゴと同様に、ロータリーの公式ロゴの横に「rotary youth leadership awards」の文字を入れ、間に50%ブラックの仕切り線を入れます。「R Y L A」または「ロータリー青少年指導者養成プログラム」という文字を入れても構いません。「Rotary」の文字の下に、地区名またはクラブ名を入れてください。



いずれのロゴも、印刷用では歯車の直径を13mm以上にして使わなければいけません。背景の色が濃い場合、また指定されたロゴの色と似た色で目立たない場合は、白抜きで使うことができます。また、黒一色で使うこともできますが、そのほかの色を使用することはできません。

詳細につきましては、R Iのウェブサイトをご覧ください。また、ここからロゴをダウンロードすることもできます。このロゴのガイドラインを記した『ビジュアルアイデンティティのガイド ロータリーの青少年プログラム』の冒頭には「このガイドラインの目的は、若者たちにロータリーをもっと身近に感じてもらえるようなビジュアル要素を、一貫した形で採用することです」と書かれています。さて、当の若者たちは、新しいロゴを気に入ってくれるでしょうか。

『友』編集長 二神 典子

2014 - 15 年度 地区大会略報

IV



第2720 地区

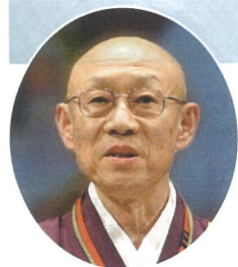
2015 年 3 月 21 ~ 22 日

iichiko グランシアタ

ホスト 大分臨海 R C 登録者 1,235 人



小山康直ガバナー 台湾から李翼文 R I 会長代理夫妻を迎え開催。李氏のあいさつ、R I 現況報告はすべて流暢な日本語で行われ、李氏の温かさ、誠実さにじかに接しました。親睦を第一とする小山ガバナーの意向を受け、各クラブ、インターアクトなどの青少年たちによる生き生きとした活動報告が続き、会員交流懇親会は 600 人以上が一堂に会して盛り上がりしました。小説家・植松三十里氏の記念講演では、大分出身の重光葵元外務大臣の平和を求め続けた生きざまに触れ、気持ちが高揚する中で大会は無事終わりました。



第2650 地区

2015 年 4 月 11 ~ 12 日

なら 100 年会館ほか

ホスト 奈良大宮 R C 登録者 2,897 人

北河原公敏ガバナー 千玄室 R I 会長代理を迎え、地区内 4 県のロータリアンが一堂に会して開催。本会議では、千氏のスライドを交えた特別講話「ロータリーに想う」に一同感動。記念講演は元 NHK アナウンサー・松平定知氏の「現代に生きる戦国武将の知恵」。新会員セミナーでの第 2770 地区パストガバナー・中村靖治氏の講演「ロータリーを語ろう」、青少年フォーラムでの即興チェリスト・吉川よしひろ氏の「人間力・コンプレックスを個性に変えて」と題したチェロの演奏を交えた講演は心に響くものでした。



第2700 地区

2015 年 4 月 11 ~ 12 日

リーガロイヤルホテル小倉ほか

ホスト 小倉東 R C 登録者 1,657 人



熊澤浄一ガバナー 台湾から邱秋林 R I 会長代理を迎え、北九州市小倉北区で開催。1 日目は、日本泌尿器科学会理事長・内藤誠二氏による記念講演、指導者研修会の後、R I 会長代理夫妻歓迎晩餐会が盛大に催されました。2 日目はパイプオルガンの伴奏による日台両国の国歌斉唱で開会。ガバナーの地区現況報告や R I 会長代理のあいさつ。そしてデザイナー・森田恭通氏による特別記念講演、米山学友ホームカミング制度で当地に招いた謝億榮氏の講演後、大会決議を採択し閉会しました。



第2520 地区

2015年4月18～19日
ホテルメトロポリタン盛岡ほか
ホスト 盛岡滝ノ沢RC 登録者 1,159人

山口淑子ガバナー 地区初の女性ガバナーは、優しい笑顔の小児科医。RI会長代理のビチャイ・ラタクル氏は、「日本で一人の女性がロータリー運動全体を背負っているということは、衝撃以外の何ものでもありません」と述べ、また「女性が参加し始めてから、われわれは視野を広め、自信をより深めることができたのです」と女性会員の活躍を賞賛しました。特別研修セミナーの講師はラタクル氏のRI会長年度のガバナー、小船井修一氏（第2500地区）。ラタクル氏の考えるロータリーを十分に聞くことのできた大会となりました。



第2820 地区

2015年4月18～19日
日立シビックセンター
ホスト 日立RC 登録者 2,058人

藤居彰一ガバナー 「深めよう 奉仕を通じて 地域社会への貢献を」の地区大会目標のもと、RI会長代理にタイからサオワラッ・ラタナビッチ氏を迎え開催。地区の現況報告では会員増強や当地区初となる地区内全58クラブによる地区補助金の活用などについて紹介されました。また、ロータリーのポリオ撲滅大使も務める歌手・ジュディ・オング氏の記念講演「輝いて生きる」は、感銘深い内容でした。さらに、大会に先立つ14日から地域住民にも公開の「ロータリー活動展」を開催し、公共イメージ向上の一翼を担いました。



第2670 地区

2015年4月18～19日
愛媛県民文化会館
ホスト 松山北RC 登録者 1,584人

佐々木善教ガバナー 1日目は、ロータリー財団奨学生と米山記念奨学生、青少年長期交換学生、ローターアクト、インターアクト、ライラリアンの紹介と報告がありました。さらに、スー・イー・ジョン RI会長代理によるRI現況報告、元RI理事・松宮剛氏の基調講演「国際ロータリーが期待するロータリークラブ像」、そして大懇親会がへと続きました。2日目は、各種表彰と各委員会報告などがあり、その後、東京大学名誉教授・養老孟司氏による記念講演「生き甲斐はどこにあるのか」を多数の一般市民も入場して開催しました。



第2530 地区

2015年4月25～26日
ホテル辰巳屋ほか
ホスト 福島北RC 登録 1,325人

野崎 潔ガバナー はるばるスペインから来日したフリオ・ソルフス氏をRI会長代理に迎え開催。ソルフス氏は、事前に日本のこと、日本のロータリーのことを十分に学んで来日、日本のロータリアンも知らない多くのエピソードを紹介しました。また、東日本大震災について「この恐ろしい災害に直面した時、日本人は誇りと自己犠牲と勤勉さを保ちつつ生活し、その回復力と勇気は世界を驚かせました」と評しました。県外で避難生活を送る会員もいる復興途上の地域ですが、「前を向いて」、そんな思いが伝わってくる大会となりました。

国際大会カウントダウン サンパウロですべき5つのこと



サンパウロ国際大会(6月6～9日)まであと少し。大会を最大限に楽しむための5つのヒントを紹介します。

1. ブラジル文化の躍動感を表すアフリカ系ブラジル音楽、サンバを楽しみましょう。6月6日のロータリーカーニバルでプロが踊るサンバを見れば、ダンスが苦手な人もステップを踏まずにはいられなくなるでしょう。
2. 一日の始まりはロータリアンの仲間とブラジルのおいしいコーヒーから。その後、サンパウロの腕利きシェフの料理を堪能しましょう。
3. 市内のエスニックタウンを散策すれば、いながらにして世界中の文化が楽しめます。日本、中国、韓国文化ならリベルダーヂ、古きドイツの雰囲気ならブルックリン・ノボヘ。
4. アニエンビ展示場で開かれる本会議で、水問題やポリオの専門家による心に残る講演を聞き、「友愛の家」で地元文化を楽しみながら、奉仕活動の新しいアイデアを学んだり、奉仕のパートナーを探しましょう。
5. 大会前会議のために早く行きましょう。6月4～5日のロータリー平和シンポジウムでは、平和フェロー、学友、ロータリアンと交流しながら、紛争解決と平和の取り組みについて理解を深めることがで

きます。水と衛生に関心のある方は、6月4日の世界水サミットにご出席ください。国際大会への登録は www.riconvention.org/ja から。

今後のR I 国際大会

2015年6月6～9日
ブラジル・サンパウロ
(以下、予定)
2016年5月28日～6月1日
韓国・ソウル
2017年6月10～14日
アメリカ・アトランタ
2018年6月24～27日
カナダ・トロント

統計

全世界ロータリアン総数
1,207,102 人
クラブ数 34,823 クラブ
地区数 536 地区
国と地域 200 以上
ローターアクト会員数 180,964 人^{*}
クラブ数 7,868 クラブ^{*}
国と地域 160 以上^{*}
インターアクト会員数 414,115 人^{*}
クラブ数 18,005 クラブ^{*}
国と地域 150 以上^{*}

2015年2月28日現在
* 2015年4月6日現在

ロータリーの
ニュースは

ROTARY
JAPAN
Home Page www.rotary.or.jp

R1 指定記事

管理委員長の思い

今年度の目標を振り返って

2014 - 15年度ロータリー財団管理委員長 ジョン・ケニー

これまで毎月、私たちのロータリー財団の優先項目を紹介し、私の考えをお伝えしてきました。これらが少しでも皆さまの参考となれば幸いです。



私たちの第一の目標はポリオ撲滅です。多くの国では新規のポリオ感染が長いこと報告されていないため、どうしてロータリーはいまだにポリオ撲滅に取り組んでいるのかと疑問に感じている方もおられるでしょう。私たちはポリオの完全撲滅を誓い、まだその目標を遂げていないことを肝に銘じる必要があります。仕事をやり遂げ、世界中の子どもがこの病気を恐れることなく暮らせる日が来るまで、歩みを止めてはなりません。

世界の平和は誰もが心に願うことです。私たちの財団は、この混迷の時世に直接働きかけることのできる平和プログラムを確立するために、ロータリー平和センターを世界のさ

まざまな地域に設置して平和構築に取り組んでいます。

1億2,300万ドルという年次基金目標も、今後も皆さまからの温かいご支援をいただければ、まだ達成が可能です。全ロータリアンが、各自にとって可能な限り財団を支える必要があります。

最後のメッセージとなりますが、世界各地でよいことを実践し、年度を通じて財団をご支援くださったロータリアンの皆さまに心から感謝します。私は常々、ロータリーは自主的な人たちによって構成されている組織であると認識しています。ロータリーの重要な活動の担い手は、地域社会や訪れたこともない海外の地域社会で、恵まれない境遇にある人々に支援の手を差し伸べるロータリアンにほかなりません。

私は、国際ロータリー(RI)会長そして管理委員長となったことを光栄に感じています。ご支援くださった皆さまに心より感謝いたします。ロータリーの未来があなたの手の中にあることを、常に心に留めておかれますように。

ROTARY

掲 示 板

新クラブ

東京山王 (2750・東京都)

スポンサークラブ 東京日本橋

2015年4月15日承認 No.2390

会員数 27人 例会日 水 12:00

例会場 霞会館

事務所 〒100-0014 千代田区永田町

2-17-5 ローレル永田町212号室

会長 井上 勝重 幹事 小田 浩

かながわ2780ロータリーEクラブ

(2780・神奈川県)

スポンサークラブ 横須賀

2015年4月20日承認 No.2391

会員数 23人

例会更新日時 水 24:00

連絡先 〒238-0023 横須賀市森崎

1-5-24 湘南菱油内

会長 渡辺 力 幹事 松嶋乃梨子

[http://www.kanagawa-e-club2780.](http://www.kanagawa-e-club2780.rotary.bz)

[rotary.bz](http://www.kanagawa-e-club2780.rotary.bz)

新クラブ (既存クラブの合併)

川崎西北 (2590・神奈川県)

2015年5月14日承認

会員数 25人 例会日 木 12:30

例会場 柏屋

事務所 〒214-0014 川崎市多摩区

登戸2601 ヨシザワ第五ビル5階

会長 佐保田理一 幹事 川鍋 賢昭

※川崎多摩RCと川崎稲生RCが合併。

川崎西北RCの加盟承認日は、元の川崎多摩RCの加盟日を保持した、

1972年10月15日です。

事務所住所変更

船橋南 (2790・千葉県)

〒273-0005 船橋市本町7-11-1

船橋グランドホテル内

横浜南・横浜南陵 (2590・神奈川県)

〒232-0016 横浜市南区宮元町1-14

サンワビル203号

東となみ (2610・富山県)

〒939-1652 南砺市福光新町56

亀岡 (2650・京都府)

〒621-0804 亀岡市追分町馬場通21-12

石川ビル3階

亀岡中央 (2650・京都府)

〒621-0052 亀岡市千代川町千原1-4-7

ケイ・エス・ケイ内

大津東 (2650・滋賀県)

〒520-2143 大津市萱野浦23-1

ロイヤルオークホテルスパ&ガーデンズ内

戸畑 (2700・福岡県)

〒804-0021 北九州市戸畑区一枝

1-4-33

西日本工業倶楽部内

阿蘇 (2720・熊本県)

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2020-1

例会場・曜日・時間変更

宇都宮陽東 (2550・栃木県)

宇都宮グランドホテル

船橋南 (2790・千葉県)

船橋グランドホテル

松本南 (2600・長野県)

松本東急REIホテル (建物名称変更)

上田東・上田六文銭 (2600・長野県)

上田東急REIホテル (建物名称変更)

東京田園調布・東京大森 (2750・東京都)

大森東急REIホテル (建物名称変更)

名古屋城北 (2760・愛知県)

名古屋栄東急REIホテル (建物名称変更)

大阪狭山 (2640・大阪府) がんこ狭山店

戸畑 (2700・福岡県) 西日本工業倶楽部

鹿児島城西・鹿児島サザンウィンド

(2730・鹿児島県)

鹿児島東急REIホテル (建物名称変更)

事務所住所変更 (7月から)

三石 (2510・北海道)

〒059-3112 日高郡新ひだか町三石

港町16

中村一重方

古川 (2520・宮城県)

〒989-6116 大崎市古川李半3-1-15

大沼悦子方

敬弔 第2520地区・山口三郎氏が3月5日逝去されました。92歳。謹んで哀悼の意を表します。

(石巻東RC会員・1995-96年度G)

敬弔 第2730地区・大淵達郎氏が3月25日逝去されました。84歳。謹んで哀悼の意を表します。

(宮崎RC会員・2001-02年度G)

敬弔 第2670地区・木村大三郎氏が3月29日逝去されました。74歳。謹んで哀悼の意を表します。

(高松西RC会員・2012-13年度G)

敬弔 第2680地区・奥村孝氏が4月1日逝去されました。88歳。謹んで哀悼の意を表します。

(神戸西RC会員・1991-92年度G)

古川東 (2520・宮城県)

〒989-6222 大崎市古川若葉町2-14-1

古川ガス内

花泉 (2520・岩手県)

〒029-3101 一関市花泉町花泉字鍛冶屋

27

千葉利雄方

一関中央 (2520・岩手県)

〒021-0023 一関市銅谷町6-15-2

あべ総合保険サービス内

岩出山 (2520・宮城県)

〒989-6441 大崎市岩出山字通丁167

小野寺商店内

角田 (2520・宮城県)

〒981-1505 角田市角田字田町73-13

しあわせ保険内

前沢 (2520・岩手県)

〒029-4208 奥州市前沢区字七日町

裏5

境達男方

松島 (2520・宮城県)

〒981-3522 黒川郡大郷町東成田字

北沢山2-27

サンケーヘルス内 高橋徹気付

大河原 (2520・宮城県)

〒989-1201 柴田郡大河原町大谷末広

81

甘糟医院内

種市 (2520・岩手県)

〒028-7900 九戸郡洋野町種市23-96

大入商店内 大入一弘気付

能代 (2540・秋田県)

〒016-0825 能代市柳町 9-23

プラザ都内

大曲 (2540・秋田県)

〒014-0026 大仙市大曲丸の内町 6-9

シャンテビル 1 階 ブルーバー内

大曲中央 (2540・秋田県)

〒014-0026 大仙市大曲丸の内 2-6

花王堂内

小山 (2550・栃木県)

〒323-0811 小山市犬塚 8-9-1

ソウイング内 中尾聡気付

小山東 (2550・栃木県)

〒323-0807 小山市駅東通り 2-24-26

ラポール山東ビル 1 階 山東不動産内

鯨ヶ沢 (2830・青森県)

〒038-2761 西津軽郡鯨ヶ沢町大字

舞戸町字下富田 35-14 成田守男方

五所川原 (2830・青森県)

〒037-0014 五所川原市大字稲実字

米崎 49-3 西北印刷内

五所川原中央 (2830・青森県)

〒037-0033 五所川原市新宮岡田 184-27

よつ葉保険サービス企画内

板柳 (2830・青森県)

〒038-3661 北津軽郡板柳町福野田

増田 12-8 やすだ整骨院内

十和田 (2830・青森県)

〒034-0301 十和田市奥瀬字小沢口

425-3

ササキ石油販売内 佐々木千佳子気付

塩山 (2620・山梨県)

〒404-0035 甲州市塩山西野原 295-1

鶴田晃方

南アルプス (2620・山梨県)

〒400-0423 南アルプス市落合 898

トア工業内

裾野 (2620・静岡県)

〒410-1118 裾野市佐野 820-1 2 階

中村事務所内

天草パールライン (2720・熊本県)

〒869-3602 上天草市大矢野町上 5190-2

湯泉亭内

竹田 (2720・大分県)

〒878-0012 竹田市竹田町 590-2

Kips 内

玉名中央 (2720・熊本県)

〒865-0016 玉名市岩崎 730

ホテルしらさぎ内

多良木 (2720・熊本県)

〒868-0451 球磨郡あさぎり町須恵

字毛谷 4180-1

(社福) つつじヶ丘学園内

出水 (2730・鹿児島県)

〒899-0206 出水市向江町 12-38

アイアイ総合保険内 井立勝美気付

例会場・曜日・時間変更(7月から)

ひたちなか (2820・茨城県) 火→木

富士見 (2600・長野県) 日本料理 大奥

和歌山東 (2640・和歌山県)

ダイワロイネットホテル和歌山 4 階

若狭 (2650・福井県) ホテルせくみ屋

大府 (2760・愛知県) 木→金 13:00

豊岡円山川 (2680・兵庫県)

アールベルアンジェ豊岡

小郡 (2700・福岡県)

ロイヤルパークアルカディア久留米

戸畑東 (2700・福岡県) 火→月 全例会

12:30 西日本工業倶楽部

阿蘇 (2720・熊本県) 阿蘇ホテル一番館

インターアクトクラブ名称変更

中央高等専門学院→クラーク記念国際

高等学校前橋キャンパス

(2840・群馬県・前橋南)

2015 年 3 月 23 日承認

活水中学高等学校→活水高等学校

(2740・長崎県・長崎出島)

2015 年 4 月 7 日承認

◆修正 本誌 5 月号横組み P12 富士山吉原ロータリークラブ奨学金の記事について、左段下から 8 行目「8 月と 3 月には支給しません。」を削除し、「金額は月 1 万円で、12 人に 12 か月の支給ですから、最低 144 万円が必要です。」と修正します。

◆お願い クラブ事務所・例会場・例会関係など各種変更ご連絡の折は、『友』事務所へもご一報ください。

2015 - 16 年度版 『ロータリー手帳』 ただいま販売中!

「ロータリー手帳」は、ロータリー活動に役立てていただけるよう毎年、ロータリー年度に合わせて製作し、新年度用のものは、2015 年 6 月～2016 年 12 月の予定が記入できます。

各地区のガバナー名、ガバナー事務所の住所、電話・ファクス番号、E メールアドレス、地区大会の予定や、各月の強調月間名など、新しくなったロータリー関連事項も掲載しております。

2015 - 16 年度もロータリアンのご要望に応え、付録のロータリー関連資料含め、最新版に改訂しました。引き続き、印刷用紙は森林認証紙、インクも環境に配慮したものを使用しております。色はロイヤルブルー、サイズは男性上着の内ポケットに入る大きさです。詳細は、2 月 1 日付で各クラブにお送りしたご案内状をご覧ください。

現在、追加注文を承っておりますが、お早目のご連絡を、お願い申し上げます。

定価 600 円+消費税(送料別)

お申し込みは、クラブ事務局を通し、ロータリーの友事務所までお願いいたします。4 月末までにご注文いただきました「手帳」は、5 月中旬に『友』誌送付先と同じ住所に発送し、請求書は 5 月 25 日付で、クラブ事務所あてに別便でお送りいたしました。

なお、その後のご注文分につきましては、順次、請求書同封でクラブ事務局あてにお送りしております。ご確認のほど、よろしくお願い申し上げます。

◆ご案内 本ページ毎号掲載の右記一覧表は3つのゾーン順で、横組みP41奥付の、日本ロータリー分布図の色分けと対照しご覧ください。

『友』誌ご購読部数 変更についてのお願い

- ①次年度『友』誌上半期分(2015年7月号～12月号)の減部のご連絡は、2015年6月5日までに直接友事務所へお願いいたします。ご連絡は、郵便・電話・FAXのいずれでも結構です。
- ②7月号の発行部数決定や発送準備の都合上、6月6日以降は、7月号の減部はご容赦ください。
- ③6月6日以降の会員変動による減部は、7月10日までにご連絡いただければ、「8月号～12月号」の減部として対応させていただきます。
- ④7月11日以降にご連絡いただいた減部はすべて、下半期1月号からになりますのでご了承ください。
- ⑤追加購読は、残部がある限りお受けいたします。随時ご連絡ください。
- ⑥部数変更のご連絡がない場合には、2015年6月号と同じ部数を送付させていただきます。

また、2014年1月号から、印刷版に加え電子版が会員の皆さま全員に提供されております。7月号～12月号上半期の購読料は電子版も含めて、定価200円+消費税といたします。今後の購読料などの詳細につきましては、あらためて別途、ご案内申し上げます。以上、よろしくお願い申し上げます。

ご投稿・お問い合わせは——

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル4階
一般社団法人ロータリーの友事務所
ロータリージャパン www.rotary.or.jp
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

地区別クラブ数・会員数・出席率一覧表 (2015年3月末現在)

地区	R C 数	会員数	前年同月末 会員数	出席率(%)
第2500地区	67	2,279	2,259	80.00
第2510地区	70	2,572	2,560	82.32
第2520地区	80	2,304	2,302	77.99
第2530地区	66	2,347	2,335	81.14
第2540地区	42	1,114	1,063	78.40
第2550地区	51	1,719	1,678	84.32
第2560地区	56	2,105	2,032	81.32
第2570地区	52	1,677	1,722	81.73
第2770地区	74	2,638	2,597	81.69
第2790地区	84	2,778	2,764	80.85
第2800地区	50	1,629	1,647	84.02
第2820地区	58	1,999	2,005	82.15
第2830地区	41	1,140	1,130	80.15
第2840地区	46	2,033	1,916	81.87
第2580地区	70	3,051	3,039	84.38
第2590地区	60	2,166	2,178	87.50
第2600地区	55	1,995	2,010	87.96
第2610地区	65	2,636	2,643	82.66
第2620地区	78	2,993	3,039	87.80
第2630地区	80	3,140	3,137	85.49
第2750地区	99	4,769	4,652	79.43
第2760地区	84	4,833	4,855	93.69
第2780地区	64	2,334	2,252	79.95
第2640地区	70	1,980	2,033	85.27
第2650地区	97	4,640	4,581	89.36
第2660地区	82	3,657	3,689	86.00
第2670地区	74	2,980	2,955	84.49
第2680地区	73	2,873	2,883	92.26
第2690地区	67	3,100	3,099	86.58
第2700地区	61	3,171	3,197	88.20
第2710地区	74	3,306	3,279	99.06
第2720地区	74	2,406	2,410	85.45
第2730地区	65	2,323	2,323	81.56
第2740地区	57	2,202	2,119	84.50
34地区合計	2,286	88,889	88,463	

日本のロータリー
会員数 88,570 人
クラブ数 2,277
(左の表中34地区合計から、
第2750地区のPBグループ
を引いた数です)

ガバナー月信より 第2750
地区のクラブ数・会員数は、
PBグループ9RC319人
(北マリアナ諸島・グアム・
ミクロネシア・パラオ)を含
みます。P6「日本のロータ
リー」数は、34地区合計から
PBグループを引いた数にな
ります。前年同月末PBグ
ループ8RC会員数289人。

修正 本誌4月号横組み
P42(1月末)表中、地区
会員数修正: 第2760地区
4,845人、34地区合計会員
数を89,122人へ、表外とP
6「日本のロータリー」最終
行の会員数を88,803人へ修
正。本誌5月号横組みP42(2
月末)表中、平均出席率修正:
第2690地区86.47%。地区
会員数修正: 第2760地区
4,851人、34地区合計会員
数を89,298人へ、表外とP
6「日本のロータリー」最終
行の会員数を88,979人へ修
正。

*『ロータリージャパン』の
「ロータリー関連資料」には、
データ修正後の表を掲載。

*第2520地区の数値はすべ
て概数です。

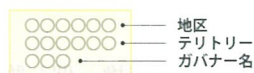
**ROTARY
JAPAN**
Home Page 
www.rotary.or.jp

ロータリーの友 7月号主要記事予定

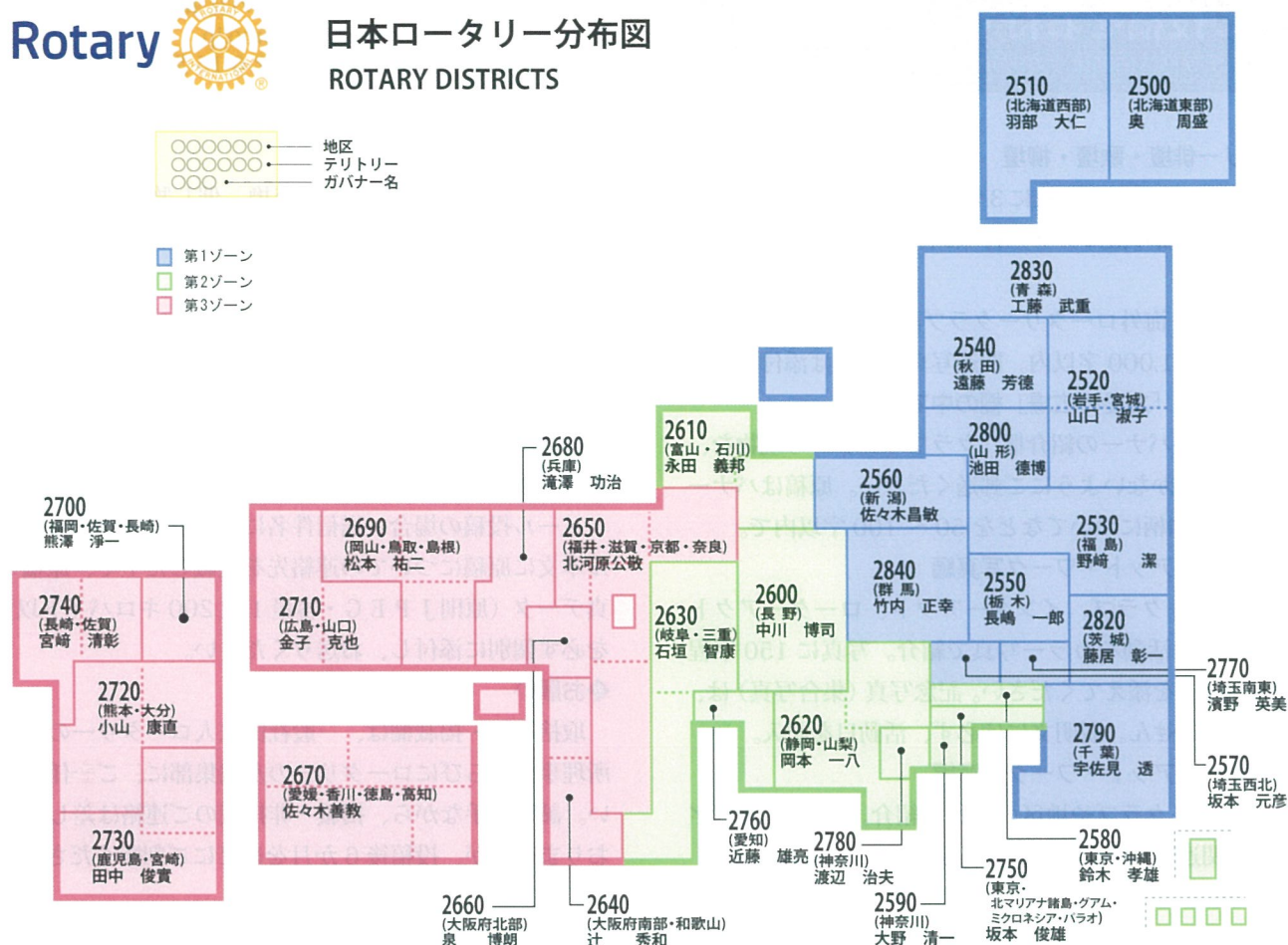
横組み 特集 新RI会長の紹介、新ガバナーの横顔、RI会長メッセ
ージ、RI理事・ロータリー米山記念奨学会理事長・ロータリー文庫運営委
員会委員長・ロータリーの友委員長あいさつ

縦組み 南の島の何もなく豊かな暮らし
NGO法人「南の島から」理事長 崎山 克彦
わがまち……そしてロータリー 富山市

Rotary 



第1ゾーン
第2ゾーン
第3ゾーン



『Rotary Japan』 www.rotary.or.jp に各地区のホームページをリンクしています。

月刊 ロータリーの友

第63巻 6号

2015年5月31日印刷 2015年6月1日発行

一般社団法人

ロータリーの友事務所

■ 社員 北 清治 (浦和東)
杉谷 卓紀 (玉名)
鈴木 孝雄 (東京池袋)
坂本 俊雄 (東京八王子南)
渡辺 治夫 (横須賀)
泉 博朗 (大阪帝塚山)

■ 理事会

代表理事 橋本 長平 (京都東)
理事 清水 良夫 (横浜)
中山 義之 (横浜南)
神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)
上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
片岡 信彦 (土浦南)
本田 博己 (前橋)
志田 洪顯 (静岡)
大室 僞 (宝塚武庫川)
鈴木 喬 (東京江北)
水野 功 (東京飛火野)
森本 行俊 (東京町田サルビア)
横山 武志 (東京北)
中里 公造 (川口モーニング)
大澤 成美 (東京臨海)
野中 茂 (川崎)
渡辺 誠二 (東京みなと)
二神 典子 (東京築地)
高良 明 (川崎西)
船越 豊 (千葉中央)
板橋 敏雄 (足利東)
中村 昌平 (東京北)

監事 相談役

■ 職員

所長 渡辺 誠二 (東京みなと)
編集長 二神 典子 (東京築地)
編集 稲川 やよい
黒野 穰二
野崎 恭子
山名 愛
飯田亜由香
経理 富澤 美子
半田 弥生
福元菜穂子
振込銀行 三井住友銀行浜松町支店
口座番号 (普通) 7450015
郵便振替 口座番号 00180-8-694591
印刷 大日本印刷 (株)
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)

一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
電話 03-3436-6651
FAX 03-3436-5956
ホームページ www.rotary.or.jp
定価 200 円 + 消費税 (送料別)

落丁本・乱丁本は一般社団法人ロータリーの友事務所までお知らせください。
本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

ご投稿をお待ちしています

原稿や写真は活動後 1 か月以内にお送りください

ロータリー俳壇・歌壇・柳壇

- ・1か月に1人はがき1枚に3句(首)。なるべく肉筆(楷書)で。作品の横にクラブ名・お名前・電話番号を明記。

友愛の広場

- ・エッセー、海外ロータリークラブ訪問記、時局雑感などの掲載欄。1,000字以内。関連写真があれば添付を。

バナー自慢(「友愛の広場」欄の中です)

- ・各クラブのバナーの紹介欄。クラブのバナーの現物を、折り目が見つからないようにご郵送ください。原稿はバナーの由来、図柄についてなどを50～100字以内で。

ロータリー・アット・ワーク写真編

- ・ロータリークラブ、インターアクト、ローターアクトなどの奉仕活動をカラー写真で紹介。写真に150字程度の説明文を添えてください。記念写真(集合写真)は、掲載できません。説明文には必ず、活動日を記入。

ロータリー・アット・ワーク文章編

- ・ロータリークラブや地区の活動を紹介。原稿は600字以内。関連写真があれば、添付を。

送り先 一般社団法人ロータリーの友事務所

Eメール hensyu@rotary-no-tomo.jp

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

内外よろず案内

- ・国内外の会員間の趣味の交換、催し物の案内、情報提供のお願いなどについての欄。原稿は200字以内。

掲示板

- ・新クラブ、新インターアクトクラブ、新ローターアクトクラブ開設、事務所、例会関係変更など、また『友』からのお知らせを掲載する欄です。各種変更は決まり次第、早めにご連絡ください。

◆注意事項

メール投稿の場合、送信件名にはクラブ名を記し、メール本文に原稿についての連絡先を記載した上で、原稿/写真データ(原則J P E G・容量1枚200キロバイト以上)を必ず個別に添付し、お送りください。

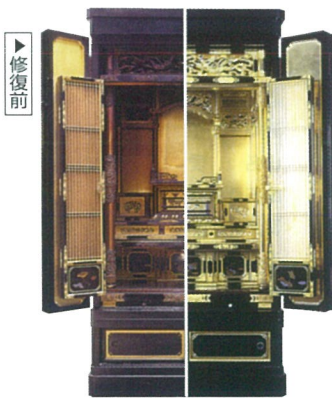
◆お願い

取捨選択・掲載欄は、一般社団法人ロータリーの友事務所理事会ならびにロータリーの友編集部、に一任ください。誠に勝手ながら、掲載・非掲載のご連絡は差し上げておりませんが、投稿後6か月をめぐりご判断ください。

京に生まれ育って186年、若林はお仏壇・仏具の専門店です!

伝統的工芸品の京仏壇から新感覚の仏壇・仏具まで在庫豊富に取り揃えております。

◎ご予算に合わせた修復お見積りをいたします



お仏壇の
「洗い修復」
承ります。



伝統工芸 京仏壇・京仏具

(株) 若林

全国お見積り無料
0120-37-8585
フリーダイヤル
(各店共通)

京都本社/〒600-8218 京都市下京区七条通新町東入 ☎(075) 371-3131 (代)・年中無休
東京店/〒146-0081 東京都大田区仲池上2丁目8-13 ☎(03) 3755-8488 (代)・水曜定休
築地店/〒104-0045 東京都中央区築地3-15-1 (築地本願寺内) ☎(03) 3546-8228 (代)・水曜定休
札幌店/〒064-0919 札幌市中央区南19条西9丁目 ☎(011) 512-3455 (代)・日曜定休
仙台店/〒980-0821 仙台市青葉区春日町8-5 ☎(022) 213-0666 (代)・日・祝定休
近江草津店/〒525-0027 草津市野村1丁目3-10 ☎(077) 564-1011 (代)・水曜定休
福岡営業所/ ☎(092) 761-3737

<http://www.wakabayashi.co.jp/> 若林仏壇 検索

楽天市場店「お仏壇ショップ」<http://www.rakuten.co.jp/kyo-butsudan>

肖像画のことなら信頼と実績を誇る日本肖像へ

肖像画壇を代表する一流画家が揮毫 芸術の香り高い迫真の肖像画。



価値ある人生の年輪を永遠に

法人企業や団体の創立者、功労者のご顕彰に。叙勲、褒章、就任退任のご記念に。還暦、古希、喜寿、米寿など人生の節目の記録に。金、銀婚式などのお祝いに。また遺影を肖像画にしますと仏間の暗さが減り明るくなります。褪色のない油彩肖像画……是非お薦め申し上げます。

日本肖像は日本で一番権威のある肖像画家の団体「全日本肖像美術協会」の一流先生方の揮毫による最高の油彩肖像画をお届けいたします。

■詳しい資料・カタログをお送りいたします

ホームページ <http://www.nihonshouzou.jp/>

(株) 日本肖像 ☎ 0120-222-368

東京事務所/ ☎ 03-5285-3141

福岡事務所/ ☎ 092-451-0133 広島事務所/ ☎ 082-264-6075

熊本本社/ ☎ 861-1102 熊本県合志市須屋3882-1

☎ 096-249-1081 FAX 096-249-1082

表紙のメッセージ

岡井 耀 毅



「僕の番だよ！」(和歌山県)
撮影 脇村 重徳 (2640 有田)

倉庫の屋根のひさしにつくられたツバメの巣に育った五羽のヒナが一せいに口をひろげて餌を運んできた親鳥を迎える瞬間――

「こんどは僕の番だよ」とばかりに餌をねだる育ち盛りのヒナ鳥たちの表情がなんとも可愛いい。

全長二十センチほどのツバメは、わが国にはイワツバメなど五種が春飛来して、秋南方へ去っていく。

「わが家の倉庫には、私が子どもの頃から毎年ツバメが飛来してヒナを育てていますので、ヒナが成長するにしたがって食欲が旺盛になり、朝早くから親鳥が餌をくわえて倉庫の前で戸が開くの待っているのに出くわしたことも何度かあります。六月ごろになると、ツバメの成長が気になる日々です」



「雨上がりのアジサイ」(大阪府)
撮影 小島 常男 (2660 大阪船場)

と脇村重徳氏は言う。
撮影は二〇一二年六月。

※

前夜からの雨が上がり、早朝いつものように一辺一キロほどの四角い大阪府営大泉緑地公園を歩いていると、何種類かのアジサイが咲き競っていて、何ともいえない光景がひろがる。

「私にとっては野鳥や花が迎え入れてくれる四季折々の変化が楽しめ、さまざまな表情を見せてくれる、またとない新鮮な場所になっています。医師から勧められて始めた毎朝の散歩ですが、カメラをさげて行くのが日課になり、今では医師がおどろくほどコレステロール値が下がり、嬉しい日々ですが、写真を撮りに行くのが楽しくて夜明けが待ち遠しいくらいです」

と、小島常男氏は言う。
撮影は、二〇一四年六月十一日早朝。

むらさきに里彩りて露深し 岡井輝生

(ジャーナリスト)

新年度もロータリアンの写真が表紙を飾ります！

『ロータリーの友』表紙は、ロータリアンの皆さまの写真で飾っています。ここ数年はテーマは設定せずに募集。皆さまの「とおきの写真」をお送りいただいています。そして、二〇一五―一六年度の『友』誌もロータリアンの「とおきの写真」が表紙を飾ります。

新年度の表紙写真は、四月末に応募を締め切らせていただきましたが、皆さまには、たくさん作品をお送りいただき、ありがとうございます。厳正なる審査の上、掲載写真を選ばせていただきます。掲載者および掲載月の発表は、ホームページ『ロータリージャパン』www.rotary.or.jpでは六月下旬、本誌では八月号を予定しています。作品の掲載は八月号からです。

なお、年度初めの七月号は、「ロータリー・ワールド・マガジン・プレス」の雑誌ですが、K・R・ラビンドラン国際ロータリー会長の写真を掲載します。次年度もご期待ください。



満員となった記念コンサート

サート「世界平和への祈り」を開催しました。ポリオ撲滅の寄付を募り、海上自衛隊東京音楽隊の支援を得て、一〇〇万円の寄付を、ロータリー財団のポリオプラス基金に送ることができました。そのほかにも、財団の恒久基金（シエラ）に一〇万円、米山記念奨学会に一〇万円を寄付しました。

記念コンサートは、鈴木博晶会長の強い思いから、地域の学生生徒、特に吹奏楽部員たちに最前列の席を優先し、生の演奏と、自衛隊の歌姫として有名な三宅由佳莉さんの歌声も聴かせてあげたいとの思いからスタートし、残った席は一般の方、ポリオ撲滅に寄付してくださった方を招待という形で実施しました。

会場の小田原市民会館大ホールに

は、地域の児童養護施設の子どもたち、(社福)箱根恵明学園の園生、市立と私立の中学生、さらに県立と私立の高校生、大学生ら、学校関係は受験時期でしたが、二八一人が参加。地域の諸団体からの来賓、一般市民の招待者、姉妹クラブの京都南RC、友好クラブの台湾・台南西區RC、地区ロータリアンの皆さまと合わせ、満員御礼となりました。皆さまからは寄付をいただくとともにコンサートに感激してくださり、二年余の準備が実りました。

また、当日はロータリーの公共イメージの向上を図ろうと、入場者全員にクラブ創立六〇周年の記念冊子を配布し、ロータリーの活動を紹介しました。

(山岸功治・記)

第一〇回ふうせんバレーボール大会開催

宇佐八幡ロータリークラブ

第二七二〇地区 大分県

二月八日、クラブ主催の「生き生きジユニアふうせんバレーボール大会」を、過去最多二六七人参加のものと開催。次世代を担う青少年が、障がいのある人もない人も一緒に競技をすることで、支え合いや触れ合いを

経験し、共に生きる喜びを知ってもらおうと実施しているものです。

継続事業であるこの大会は、今夏で第一〇回の節目を迎え、記念大会にふさわしい「おもてなしを」と、会員の手作りで昼の食事に温かいもの、ねぎ焼き、からあげ、豚汁、おにぎりを振る舞うことにしました。当日は悪天候で、食事作りが大変でしたが、全会員一丸となって取り組み、無事に完成！参加者にも大好評でした。

初参加のチームが多く、ぶつつけ本番の試合で最初はルールにとまどっていた参加者もいましたが、二試合目、三試合目と本領を発揮し、終了後「もっとプレーをしたかったの



ふうせんバレーボールを楽しむ参加者たち

に……」との声も多く聞かれました。また、今回は地区補助金を活用し、宇佐市社会福祉協議会へ車いす二台を寄贈しました。

(時枝小枝子・記)

内外よろず案内

『抜粋 ロータリーへの私の道』復刻版予約開始

甲府北ロータリークラブ

昨年七月、クラブから発行した、ポール・ハリス著『抜粋 ロータリーへの私の道』復刻版は反響を呼び、制作した一〇〇〇部を配布。その後も入手希望が多く、今回、予約数が一〇〇〇部に達し次第、増刷することを決めました(※『友』二〇一五年一月号横組み一六〜一七ページ参照)。A5判、本文二〇二ページで、一冊五四〇円(税込、送料別)。

購入希望の方は地区、クラブでまとめてご予約ください。
◇問い合わせ先 甲府北ロータリークラブ『抜粋 ロータリーへの私の道』復刻担当
〒四〇〇-〇八五八 山梨県甲府市相生二二-一七 甲府商工会議所内
TEL 〇五五-二三七-五四七五
FAX 〇五五-二三一-一八四一
kofu-rita@kofu-goudou-rc.gr.jp



I Mの懇親会を盛り上げたE-ROWRY'S BAND

が約三年前。本番までにクラブで二回、他団体で四回演奏して腕を上げ、式典当日は市内のロータリークラブ(RC)や姉妹クラブの台湾・新竹西RCの会員六・二人の前で演奏。私たちのバンドを見て聞いて大変盛り上がり、大いに親睦を深めました。本番を終え一段落と思っていたら、二月二日開催の地区一〇・一グループの合同インターシティミーティング(I M)の懇親会出演の声が掛かり、もうびっくり。当日は三〇〇人を超える参加者で、「あつ? 知ってるヤツが演奏してる」。曲はどうであれ、これだけで十分でしょう。しかも福山東RCの会員と夫人だけの編成によるバンドなので、インパクトも大いにあったようでした。

練習は週一回のペースで、会員の事務所を借り、今ではジャズからポップスまでレパートリーも二〇曲を超え、どこに呼ばれても対応できるようになりました。リードギター、サイドギター、ベースギター、ドラム、キーボード、サックス、パーカッション、ボーカル×二、MCの一〇人。一番の苦労は全員がそろって練習をすること、そしてお客さんに気持ちよく聞いてもらえるよう演奏がバラバラにならないようにすることです。

また、メンバーが一人でも抜けないうような意見を聞き、曲のジャンルのバランスを考え、楽しく演奏できるように、飲み会は欠かせません。全国どこでも、とはいきませんが、近くなら行きますので、呼んでください。(梶田千史・記)

千年の都を守るころ おもてなしの防災

京都洛中ロータリークラブ

第二五〇地区 京都府

クラブは今年度、創立三五周年を迎え、いくつかの記念事業を実施しています。一月一八日、その一つとしてシンポジウム「千年の都を守るころ——おもてなしの防災——」



京都の防災を考えるシンポジウムを開催

を開催。会員六八人を含む約四二〇人が参加しました。

クラブでは東日本大震災の被災地への奉仕活動が続けてきました。その集大成として、復興支援奉仕から一歩進んで、災害に対する問題意識を地域で共有する議論の場が必要と考えました。特に京都は観光文化都市、学生や外国人、お年寄りの町であり、修学旅行の町でもあります。そこでは、多面的な防災の考えが必要で。

すでに京都市では立命館大学の仲谷善雄教授を中心に観光防災の考えをまとめつつありますが、広く市民に伝わっているわけではありません。そこで今回は仲谷教授を基調講演者に、行政や観光施設、通信、災害救援経験者を招きパネル討論を

行いました。同時に海上自衛隊舞鶴音楽隊や歌手によるミニコンサート、インターアクトクラブのある龍谷大学付属平安高校の吹奏楽部の演奏、最後に全員で大合唱し、フィナーレを迎えました。

また会場には、市立御所南小学校、市立高倉小学校の五年生が冬休みに描いた防災ポスター一〇〇点を展示。子どもたちにも防災の意識を身につけてほしいと願う事業でした。

京都の防災を多面的に考え、問題意識を提起できたことは、一つの大きな成果でした。そして最も誇れることは、大多数の会員の協力でした。参加できなかった会員も、温かい応援の言葉をかけてくれました。全員が気持ちを一つにし、新しい活動へと道筋をつけられたことは大きな成果と考えます。(田丸善三・記)

世界平和への 祈りを込めて

小田原ロータリークラブ

第二七八〇地区 神奈川県

二月二〇日、小田原市教育委員会の後援を得て「小田原ロータリークラブ(RC)創立六〇周年記念コン



和服姿で茶会に臨むレニーさん

とラテン系の音楽で踊り、高校生、大学生も巻き込んで、「いつ終わるやら……」というダンシングオールナイトの雰囲気を楽しみました。

参加した約四〇か国の研修生たちには、日本の学生・生徒との熱い交流の場になったと思います。また、日本の学生たちは「もっと英語が話せるようにしてきます」と話しており、よい刺激になったようです。

オーストラリアの留学生初釜を体験

本渡ロータリークラブ
第二二〇地区 熊本県

当クラブは毎年度、天草地域での国際理解を深めるため、オーストラリアのロータリークラブ（RC）と

の間で、クラブ対クラブで独自の国際学生交流を実施しています。

新春の穏やかな日曜日の曜日（一月二五日）、今年度の交換学生レニー・ロウ・デビスさんに、日本の伝統文化に触れてもらう機会として、当クラブ会員宅で開催された初釜の体験をしていただきました。

和服姿で臨んだレニーさんは、正座がちよつと苦手のようでしたが、抹茶や和菓子などを珍しそうに見ながら、いただき方、作法などを習い、日本の茶道を楽しんでいました。彼女にとって、今回の茶道体験は、天草での心に残る思い出の一つになったのではないかと思います。

当クラブの高校生交換留学は、一九七〇年に始まり、今年度で四五年目を迎えました。二〇〇四年からは主にメルボルンエルサルムRCとの交換ですが、これまでにオーストラリアのクラブから二四人を受け入れ、当クラブからは単独で二三人の生徒を送り出しています。

今日の国際化社会において、この国際学生交流は私どもにとっても、「人を育てる」という素晴らしいことを実感できる貴重な事業であり、今後とも可能な限り継続していきたいと考えています。

（樋口健児・記）

『ロータリーダイニング』発行

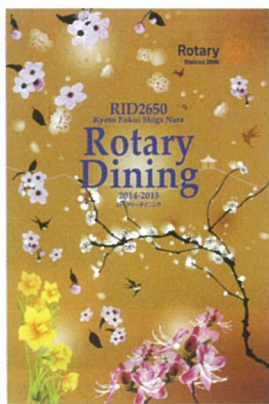
第二二五〇地区

福井県・滋賀県・京都府・奈良県

当地区広報・雑誌委員会で作画、編集した『RID2650ロータリーダイニング2014-2015』を、このほど発行しました。これは、福井、滋賀、京都、奈良の「食」に関する職業分類のロータリアンのお店、会社の中から掲載希望を募り、制作したものです。

この本をきっかけに、ロータリーの活動を知っていただきたいの思いから、一般の人になじみ深い「食文化」をテーマに編集しました。当地区は、日本はもとより世界においても有数の食文化を誇る地域であり、素晴らしい食材とともに、名だたる料理人が多い所でもあります。

ロータリーデーの開催目的である



地区内会員のお店などを紹介

「地域社会の人々に、楽しみながら情報を学んでもらい、ロータリーについてより理解してもらえ、またとない機会の創出」も視野に入れています。また、思いやりの心を持ち、地域社会や世界で行動する私たちロータリアンへの理解と協力をお願いする広報活動の一環としても捉えています。

なお、出版コストを差し引いた金額を、地区から「ロータリー希望の風奨学金」に寄付する予定です。

地区内会員には無料進呈し、全国のロータリアン、一般の皆さまにも広く頒布します（有料）。オンライン通販・アマゾン公式サイトでも取り扱っています。一冊一〇〇〇円（送料別）。購入方法や誌面の内容など詳しい情報は左記ホームページで案内しています。

<http://rid2650-pub.com/rotarydining/>

Eローリーズバンド

地区I-Mの懇親会に出演

福山東ロータリークラブ

第二二〇地区 広島県

会員八人、夫人二人によるバンド「E-ROWRY'S BAND」を、二〇一四年十一月のクラブ創立三〇周年記念式典・懇親会に向けて立ち上げたの



会員と一緒に記念館を訪れたプサコーンさん

(東京東江戸川RC 嶋村文男・記)

「で私の人生は心豊かなものになった」と感謝の気持ちを素直に語り、その恩返し思いから、二〇一二年に発足したタイ米山学友会で、現在は寄付金を集め、タイの大学生に奨学金を渡しているそうです。

記念館の庭には、二〇〇二年一月二七日にタイ出身の当時の国際ロータリー(RI)会長、ビチャイ・ラタクル氏が訪問された時の記念碑があります。そこにはビチャイ氏のロータリー「Sow the Seeds of Love」(慈愛の種を播きましょう)が刻まれています。その記念碑に彼女はとても感激し、うれしそうに笑顔を見せていましたが、私たちロータリアンの方が彼女から多くを学ばせていただいた訪問となりました。感謝。

マレーシアで熱烈歓迎 IAC海外研修

第二六四〇地区

大阪府・和歌山県

辻秀和ガバナーをはじめロータリアンと、当地区のインターアクトクラブ(IAC)の会員四六人、ならびに顧問の教諭を含む総勢五七人で、二月三〜二七日、マレーシアでの海外研修に出かけました。

インターアクトたちは現地でもホームステイをし、各家庭での異文化体験を楽しみました。マレーシア研修は今から三〇年前に始まり、今回で六回目となりました。三〇年前の研修時にマレーシアに建てた「あずまや」が、今も現地のロータリアンによって保存され、地域の方々の憩いの場として活用されていることには感慨深いものがありました。

また、マレーシア王宮の招待を受け、当地区から日本の救急車を同国ケダ州の州都アロースターに贈る計画に協力することになりました。

現地のインターアクト、ロータリアンの協力で大々的に募金活動が行われ、社会奉仕を通じて大きな友情の輪が広がりました。現地ガバナーの家族は滞在中、ジャパンナイト



マレーシアで交流するインターアクトたち

やマレーシアナイトをはじめ、どのプログラムにも同行してくださり、私たちの研修を盛り上げてくださいました。

(高野山RC 近藤本淳・記)

国際親善のタベ

神戸須磨ロータリークラブ

第二六八〇地区 兵庫県

当クラブは二月四日、神戸市の国際協力機構関西国際センター(JICA関西)にて「国際親善のタベ」を開催。クラブ会員と、インターアクトクラブ(IAC)のある滝川高校の生徒、ロータリーアクトクラブ(RAC)のある神戸女子大学の学生、JICAの研修生八二人を含め、総

勢一五〇人が交流を深めました。

これは研修生の慰労と、交流により学生・生徒たちに海外の方と直接触れ合っていたらこうと、長年にわたってJICA関西の協力のもとに開いているイベントです。今回からは司会進行および通訳も神戸女子大学の学生にお願いしました。

高校生の和太鼓演奏に始まり、ビュッフェ形式の食事を取りながら、参加者同士ボディランゲージを交えて話に花が咲きました。滝川高校剣道部の模範演武の後、研修生も竹刀を持って高校生に指導を受け、「めく」と一本を取りにいきました。

高校生に続いては大学生のよさこいソーラン節。そのエネルギーに満ちた踊りを見て、研修生たちもだんだん乗ってきて、「今度は自分たちが」



始まりを盛り上げた高校生による和太鼓演奏



創立 55 周年の記念式典を開催

子ども地域社会も国も、ますます幸せになることを願っています。

**創立五五周年を迎えて
数世代と同席した会員も**

佐野ロータリークラブ
第二五〇地区 栃木県

佐野市は栃木県南西部に位置し、人口約二万二〇〇〇人の町で、市内には四つのロータリークラブがあります。当クラブは約七〇人の会員を擁し、市内のほかの三クラブのスポンサークラブでもあります。今年度創立五五周年を迎え、記念事業としては、以下の二点を行いました。

一つは、地域に伝わる民話を次世代に伝えていくため、市教育委員会と佐野ユネスコ協会との共同編集で

『佐野の民話』を制作、発刊し、市内の小学四～五年生全員に贈呈しました。同時に公民館などに配布し、小学生数人を含む語り部による「佐野の民話の集い」を二月七日に開催しました。

もう一つは、昨年三月に唐沢山城跡が国指定史跡となったことを受け、今年一月二十九日、お城が大好きな落語家・春風亭昇太郎匠と、お城博士の千田嘉博氏（奈良大学学長）による記念フォーラム『お城』があると『夢』が広がる」を開催しました。

二月には記念式典を開催。当日、在籍五三年で表彰された坂本弘会員は、親子四世代にわたり付き合った会員が一家族、親子三世代が四家族、親子二世代が三〇家族もいるそうです。当クラブは老・壮・青が一つになり、明るく楽しい例会、そして活発に奉仕活動を行っています。

（茂木弘司・記）

留学生六人を表彰

柏崎中央ロータリークラブ

第二五〇地区 新潟県

一月二〇日の例会日に、二〇一四年度留学生懸賞論文コンクールの授

賞式を行いました。〇一年に創立したわがクラブでは、〇四年から地元の一つの大学の留学生を対象に、懸賞論文コンクールを始めました。

論文の内容は毎年素晴らしいものが多く、審査には苦慮しますが、大学の教授陣にも助けていただき、良い審査ができています。地元で暮らす留学生に、地域との交流、相互理解を深めてもらうだけでなく、私たちにとっても、外国人から見た日本人や地域がどのように映っているかを知るとても良い機会となっています。

大学教授の「留学生は地元の市民と接する機会が少ないので、コンクールや授賞式は素晴らしい経験になります」との言葉を受け、今年度は新たにクリスマスパーティーに招待



受賞した6人の留学生たちとクリスマスパーティー

したところ、とても楽しそうに過ぎてもらうことができ、留学生の笑顔に、これからもこの事業を継続しようという心で誓うことができました。

授賞式の様子は地元紙で大きく取り上げられ、その後は受賞者たちの論文も紙上で紹介され、多くの市民に読んでもらうことができました。

（鈴木公子・記）

タイの米山学友と 米山梅吉記念館訪問

第二五八〇地区

東京都・沖縄県

米山記念奨学事業のホームカミング制度を使い、当地区に招待したタイの米山学友、ブサコーン・ホンヨックさんと地区米山奨学委員会のメンバー七人で二月一五日、米山梅吉記念館を訪問しました。今回の訪問はブサコーンさんからの希望で実現したもので、第二六二〇地区（静岡県・山梨県）のロータリアンも大変温かく彼女を迎えてくれました。

記念館の学芸員からの説明に彼女は終始メモを取り、自らがお世話になったロータリーをもう一度学びたいという強い姿勢に、私たちも感心しました。彼女は自らの卓話の中で、「日本のロータリーの皆さまのおかげ

クラブとしても素晴らしい青少年奉仕活動が結実したような一日でした。今回寄贈した旗などが、これから中学生たちがますます武道への関心を高める指標となることを願っています。

はしご付き消防車を寄贈

中津川ロータリークラブ

第二六三〇地区 岐阜県

世界社会奉仕（WCS）事業を推進してきた当クラブは一月二日、中津川市消防本部から寄贈を受けた「はしご付き消防車」一台をスリランカに贈りました。

岐阜県東濃地区の九クラブでは、二〇〇一年からWCS事業の一環としてスリランカへの支援を行ってきました。当クラブではこれまでに、東濃地区の他クラブと協力し、愛知県消防署、医療機関などから譲り受けた中古救急車一九台、車いす約四〇〇台、マイクロバス一台、オート水槽車一台のほか、輸送費四〇〇万円余、中学生の奨学金、文房具などを寄贈。二〇〇四年二月にスマトラ沖地震で起きた津波災害の際には、寄贈した救急車が活躍しました。



スリランカに寄贈する消防車を前に式典

今回は、昨年一月に中津川市消防本部の消防車が「屈折はしご付き消防ポンプ自動車」に更新されたことを受け、一九八七年配備の「はしご付き消防車」を市から受け継ぎました。

当日はクラブの鈴木正樹会長から岐阜市岐南町の英語指導助手で元米山奨学生、スリランカのダンブラロータリークラブ名誉会長であるラー・ティラカラタネ氏に目録を寄贈。青山節児中津川市長は「スリランカの人命救助、財産を守るために役立ててください。両国の友好関係をさらに深めてください」と述べ、鈴木会長は「今後の両国の国際交流を一層深め、ロータリーとしての国際奉仕の輪をさらに広げていきたい」と述べました。

ティラカラタネ氏からは「大きな社会貢献をいただきました。スリランカの新しい大統領にも報告します。ありがとうございました」と感謝の言葉を述べました。

婚活パーティー 初めての成果

多治見リバーサイドロータリークラブ

第二六三〇地区 岐阜県

二〇二一年三年度当時のクラブ会長が、事業計画を立てるに当たり、地域のニーズを調査したところ、「給料が上がらない」「売り上げが下がる一方だ」などの声が聞こえてくるばかりでした。景気が悪く、「何とか景気が良くなり、地域が明るくならないか」という意見が圧倒的に多く、その解決策を調査した結果、その根源となる少子化に行き着き、さらに調査すると、結婚していない若い男女の多いこと。また、会員の多くも、その子どもが適齢期を過ぎても結婚しないと悩んでいることにびっくりしました。

原因はいろいろありますが、一番は出会いの場が少ないとの結論に達し、俗にいう婚活パーティーを開き、出会いの場をつくり、一組でも多くの新婚さんが誕生すればと、「婚活



婚活パーティーをきっかけに、初めての成婚

プロジェクト」を立ち上げました。が、なにぶん全員が婚活に関して知識がなかったため、婚活をした経験のある人を招いたり、少子化の現状と政治的な対策などを題材とした卓話を多数依頼し、問題点などを拾い上げていきました。

また、ランダムに人集めをしても、後々問題が起きた時に対処できないなど、いろいろと考えた結果、参加者はすべて会員の紹介とし、身元の保証された若者を集めようとの結論に達しました。

今年度までに六回開催しましたが、今年二月、初めて一組がゴールイン（成婚）しました。現在、お付き合いをしているとの情報も多数あり、今後は他クラブにも声をかけ、この婚活パーティーを通じて、親も

ROTARY AT WORK

文章編

ロータリークラブならびに
地区の活動を紹介、600
字以内。関連写真があれば
添付してください。

生きている日々の 輝きを感じよう

渋川ロータリークラブ
第二八四〇地区 群馬県

当クラブでは「子どもたちの未来を応援」をテーマに、さまざまな奉仕事業を行っています。今年度は命の大切さを考え、人の心を思いやる心と想像力を育む「命の輝きプロジェクト」を実施しました。

まずはサブ事業として、渋川市内の小学生を対象とした「命の大切さ」を考える作品コンクール」を実施。夏休み前に、会員が手分けをして市内一六校すべてを回り、応募をお願いしました。結果、会員も感動する、子どもたちの心豊かな詩、作文、絵画が一三三点寄せられました。絵画については一月の市主催イベント



感動を呼んだ人形劇「ピノキオ」

「しづかわ市民まなびの日」の会場と、今回のメイン事業「ピノキオ」鑑賞会の会場とで計二回展示し、多くの市民に紹介しました。

そのメイン事業は、厚生労働省社会保障審議会児童福祉文化財特別推薦作品に選ばれた人形劇団むすび座による人形劇「ピノキオ」の鑑賞会で、二月二日に開催しました。寒い中、多くの会員が率先して駐車場整理や会場係の役割を引き受け、来場する子どもたちを出迎えました。約五〇〇人が訪れ、立ち見が出るほどの盛況で、喜怒哀楽あふれる演技に観客も一体となり、ピノキオの成長を通して命の大切さ考えることができました。特に感動的だったのは、ピノキオが人間になれなくても

いいからおじいさんを助けてほしいと懇願する場面です。ピノキオが「超我」の心に目覚めた時、奇跡が起きます。大人も子どもも心揺さぶられる観劇となりました。

当日はコンクール入賞者への表彰式も開催しました。今年度の目標「輝きを求めて」とともに創ろう『渋川ロータリー物語』を、クラブ全員で感じられた大成功の事業でした。

(塩川香峰子・記)

中学校剣道錬成大会に 優勝旗を贈る

川崎ロータリークラブ
第二五九〇地区 神奈川県

川崎市内の中学校を対象に数十年続いていた新人戦(春季)が、昨年からは新たに「川崎市中学校剣道錬成大会」としてスタート。この新しい歩みの発展、充実を確たるものとするため、戸村正房会長の奉仕活動への強い信念のもと、青少年奉仕委員会が中心となり、当クラブから男女それぞれに優勝旗とトロフィー、ならびに恒久的に使用できる横断幕を寄贈しました。

今年一月一八日に開催された同大会には、市内中学校から男子三六チ

ーム、女子二八チームが参加し、優勝旗を巡る熱戦が繰り広げられ、素晴らしい試合が続きました。

優勝旗贈呈式では、戸村会長から優勝旗などを贈呈した趣旨や、ロータリーの奉仕活動について説明しました。青少年育成というロータリーが掲げる社会奉仕のあり方を、生徒をはじめ関係者の皆さんにも理解していただけたことと思います。

生徒の代表者からはお礼の言葉があり、選手たちからは「よくこんなに素晴らしい、立派な優勝旗を。すごいなー」という声が多く聞かれ、反応は上々でした。観客や保護者からも「これからは一層、稽古に身が入ることが期待できる」と喜びの声が聞こえてきました。



優勝旗を巡って、少年剣士たちが熱戦

ROTARY AT WORK

ネグロス島に善意の靴を贈る

〈小矢部中RC〉

貧困のため素足で生活せざるを得ないフィリピン・ネグロス島の子どもに、少しでもけがの心配のない環境で楽しく遊び、通学してほしいとの願いから、クラブでは同島に靴を贈る事業を行っている。今回は小矢部市立石動小学校の児童と保護者から不用になった靴の提供を募り、約200足を回収。児童は「このスツクを履いてたくさん運動してもらいたいです」と手渡してくれた。靴は消毒後梱包（こんぼう）し、4月に現地に送った。

（2月18日 第2610地区 富山県）



焼津神社の梅園を整備

〈焼津RC〉

約1600年の歴史を持つ焼津神社の境内にある天満宮の裏庭一面を梅園として整備してきたが、それが完成し、花見例会を開催した。梅園は地区補助金を利用し、社会奉仕委員会を中心に11月、梅の木18本を植樹。事業の検証を兼ねて開催したこの花見例会では、会員が一早い春の訪れを実感できた。整備に際して枝の剪定（せんてい）を行ったため開花はまばらだったが、来年には満開の梅が存分に楽しめるそうだ。

（2月19日 第2620地区 静岡県）

中学校に交通安全のたすきを贈呈

〈東城RC〉

1月に、中学1年の女子生徒が暗い道を下校途中、トラックにはねられ軽症を負った出来事をきっかけに、何かクラブとしてできることを考えた結果、反射材の入った交通安全のたすきを贈ろうということになり、庄原市立東城中学校を訪れ、全校生徒260人分を贈呈した。三上芳之会長（左）に対し、古本宗久校長（右）とPTAの酒井清治会長（中）は「生徒の交通安全への意識も高まる。大変ありがたい」と語った。

（3月4日 第2710地区 広島県）



創立50周年でタイに消防車を

〈土浦南RC〉

今年度創立50周年を迎えたクラブでは、記念事業の一環で、タイに消防車を寄贈した。消防車は昨年11月に横浜港を出航し、12月にバンコクに入港、その後第3350地区・パツムワンRCの手配で2月上旬に寄贈先のチャイナート県に到着した。式典には会長、幹事ほか4人が出席し、同地区ガバナエレクト・チャイワイ氏の祝辞、式典、消防車の引き渡しを行い、歓迎会と続いた。記念すべき素晴らしいひとときを過ごした。

（2月28日 第2820地区 茨城県）

ロータリークラブ奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文。必ず活動日を入れてください。記念写真（集合写真）は掲載できません。

ROTARY AT WORK



声援でランナーを後押し！
 〈小倉中央RC〉
 北九州市制50周年記念で昨年始まった「北九州マラソン」第2回大会を盛り上げようと、会員15人がそろいのウインドブレーカーで、関門海峡を臨む門司区の沿道から声援を送り、全国から集まった1万人超の市民ランナーを「後押し」。スポーツドリンクや手作りお汁粉も用意し、これには出場したクラブ関係者3人や他クラブの健脚ロータリアンも大喜び。走りながら声をかけてくれるロータリアンもいるなど、ロータリーの絆を確認する大会ともなった。
 (2月8日 第2700地区 福岡県)



歯の治療ボランティアと水タンク寄贈 〈大分南RC〉
 会員7人でフィリピン・セブ島を訪問。KADVO (神奈川海外ボランティア歯科医療団) の活動に協力し、治療器具の消毒や、島内から集まった約1700人の歯の治療を手伝った。また、セブポーターセンターと協同で、2つの小学校に貯水タンクと給水システムを寄贈。どちらも現地の人々の喜びと子どもの笑顔が素晴らしい。日本語で「ありがとう」の言葉を多くもらった。
 (2月8日 第2720地区 大分県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

ポリオ撲滅チャリティーコンサート 〈第2680地区〉
 神戸市内のホールで、約500人を集め「ポリオをなくそうチャリティーコンサート」を開催。関西ジャズ界では人気沸騰のゴールデンシニアトリオの鍋島直視氏(88歳)、大塚善章氏(80歳)、宮本直介氏(77歳)に田中ヒロシ氏を迎え、特別ゲストに姫路中央RC冠名奨学生第1号でアルトサクソフ奏者の佐藤恭子氏を招き、にぎやかに行われた。案内状などに「ロータリーとは」「ポリオプラスとは」を記載し一般来場者に広報、地元紙には予告と開催記事を掲載した。収益約100万円をポリオプラス基金に寄付した。
 (3月8日 兵庫県)



ROTARY AT WORK

第30回を迎えた小学生バレーボール大会 〈仙台東RC〉
 「仙台東RC杯泉区小学生バレーボール連盟卒業記念大会」を開催。1985年の第1回大会以来、今回で30回目を迎えた。保護者や参加選手、地域の人々と交流を深め、スポーツの楽しさや感動を分かち合いたい、思い出に残る記念大会となった。本大会が青少年の健全な成長に寄与し、長く継続することをクラブでは願っている。
 (2月21日 第2520地区 宮城県)





ロータリー アットワーク

ROTARY AT WORK

地域の小学校で楽器 寄贈記念コンサート

水戸南ロータリークラブ
第2820地区 茨城県

2月8日、水戸市立常磐小学校吹奏楽部は、東京で開催された「全国小学校管楽器合奏フェスティバル 東日本大会」で見事優勝。その10日前、当クラブの「水戸市内の小学校に楽器を寄贈する」事業への返礼として記念コンサートを開いてくれた。同事業は2年目で、今回、100万ドルの食事やニコニコBOXの活用で捻出した約50万円で、トロンボーンなどの楽器数点を同吹奏楽部に寄贈。当初、青少年奉仕委員会は、高額な楽器寄贈の意義を見いだせないでいたが、校長から購入予算不足などの窮状を聞き「今回の寄贈は本当に夢のようです」と感謝され、感動した。

当日は校長をはじめ吹奏楽部の顧問、約20人の保護者などが黙々と準備を手伝っていた。また普段はバラバラな下校時間を、コンサートのために一斉下校にしてくれたという。自分たちの知らないところでロータリークラブのために小学校が動いてくれている。往々にしてロータリアンは、寄贈したことだけに目が行きがちだが、奉仕するのと同じくらい奉仕してもらっていると自覚することが大事だとわかった。

児童の手には新品の楽器が輝き、笑顔と温かい音、感動を届けてくれた。演奏曲はトロンボーンとテナーサクスのアンサンブル、コンクール用の曲を1曲。そして私たちに気を使い、時代劇メドレー3曲で場を沸かせた。もちろん水戸なので「水戸黄門」は外せない。クラブでは市内の小学校の音楽教育の充実、発展に貢献できることに喜びを感じている。（深谷智・記）

女坂待春の土潤ひて

千葉・富津中央 三枝かずを

穴道湖に今朝も鋤簾の蜩舟

千葉・野田 佐野 浩平

浅き春どれも守れぬ養生訓

東京浅草 島 誠一郎

この辺り昔は田んぼ春の泥

神奈川・横浜旭 吉原 則光

色も香も待ちし甲斐あり風信子

神奈川・川崎西 吉田 恵一

山茱萸の間に色香のありしかな

神奈川・茅ヶ崎 清水 賢一

入院の夫に届ける雛の菓子

愛知・岡崎南 中根よしね

すっぽりとぬぎ捨ててあり花衣

岐阜西 眞鍋俊文子

木の芽時つぶやくやうな雨の降る

石川・加賀 折橋紀与美

鶴の絵に春の一声聴きたかれ

福井南 松山 古来

啓蛰や杖つきて行くクラス会

大阪・堺 堤 淳

寒明やこれで一氣にとはいかず

兵庫・神戸西 村野 利昭

庭の春告げある垂水なりしかな

兵庫・甲子園 田中 由子

追伸の如くに春の雪降り

徳島・脇町 片山 良樹

鳥唄の細き響きや朧月

埼玉・日高 犬竹 功子

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』俳壇係宛

親子の鹿浮見園地たわむれる
のどけき大和の春の風物

奈良 井村 昌司

眼の黒いイケメン猫の今朝も来て
厨の窓辺に朝餉をねだる

岐阜長良川 井戸 豊彦

湯河原の峠の雪に立ちて観る
二月の富士の姿麗はし

東京ワセタ 福地桂之助

もみじの手をパアに開いて幼子は
口に親指おしやぶりをする

京都西南 池田 敏子

橋を行く車の音のその向う
遙かに聞こゆる電車のひびき

愛知・豊橋 長屋 孝美

咲きだしたオドリコソウとイヌフグリ
いずれが先か競ふがごとし

神奈川・川崎西 吉田 恵一

大寒の深夜ラヂオに流れくる
ハンガリー舞曲を枕辺に聞く

神奈川・相模原 佐藤 清一

初打ちのゴルフに友と行く日なり
まだ降りやまぬ空を見上げる

群馬・館林 新井 進

縁という絡まる糸にあやつられ
愛しい人の妻になりにけり

茨城・古河東 小山 幸子

船着き場タクシーの列にただひとり
老運手車拭きをり

香川・高松 平峯 千春

イスラムのテロが怖いと海外を
やめて家内と四国巡礼

岐阜加納 鶴飼 武彦

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』歌壇係宛

昆虫は自殺なあって出来ないよ

大阪・堺 佐々木頼典

認知症家族で治す心意気

千葉・市川 照井 親資

あて名書くまでのシルエットに酔える

大阪西 鴨谷瑞美子

休止符は止めていないで数えてね

東京日本橋東 井口 弘子

まあ大変などと大変そうでない

新潟 小林 悟

ミュンヘンのジョッキ次第に軽くなり

鹿児島・志布志 西岡 雅博

リズム感ないとなれない漫才師

東京板橋 高田 雄彬

人柄がインターホンに現れて

京都・宇治鳳凰 辻 幸男

宅配が判子の場所を知っている

長野・辰野 河手 欣哉

湯たんぼの温もりに似た母の愛

埼玉・川越 吉崎 秀夫

囁りもいい加減にして鳩ポッポ

東京武蔵府中 伊藤 信吾

次年度の予定コピペですぐ出来る

愛知・豊橋 牧野 栄子

割安の生涯券が買える歳

新潟・吉田 佐藤 良一

例会を退屈男が盛り上げる

埼玉・入間南 荻野 静次

気休めと知りつつ今朝もサブリ飲み

和歌山・田辺 長野 羊

人生のガイドブックにロータリーの友

埼玉・行田さくら 小澤 誠邦

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』柳壇係宛

ROTARY 俳壇

稲畑汀子

選

雑煮炊く役は家長と囃さるる

奈良 名和 佑介

お正月の準備は大忙しである。家族が手分けして、それぞれの役目を果たしていかなねばならない。大方は主婦が中心になって切り盛りするのであるが、お正月の朝の雑煮は、その家の主が炊かねばならない風習のある地方もある。

この作者の住んでいる奈良もそうなのであるうか。日ごろ厨事は主婦がしているのであろう作者の戸惑いが目に見えるようで微笑ましい。「煤逃げ」などという季題もある。

弔ひの筆の進まず春浅し

兵庫・神戸東 執行 英毅

親しい人が亡くなった。葬儀には弔辞を読まなければならぬのかもしれない。その人を偲び書き出したものの、筆がなかなか進まないのである。いろいろな思い出、懐かしいことを、走馬灯のように次々出てくることをまとめるのは、心の葛藤がある。

あるいはそれほど逸話（いつわ）のない目上の方への弔辞で筆が進まないのかと思ったが、親しい友人への悲しみで筆が進まないと見た。

土の香をもり上げ貝母咲きにけり

奈良 吉田 佳代

釣人の影を映して水温む

埼玉・川口中央 細井善次郎

春眠や起きてゐるのは夢の中

埼玉・川口中央 阿部 游徹

ROTARY 歌壇

佐佐木幸綱

選

練上げとふ手法に秀でし君なりき
遺作で一服茶を点てて偲ぶ

島根・出雲南 小村 尚子

今回の投稿歌三首、みな、亡くなられた陶芸家の「君」を追悼する追悼歌だった。出雲で陶器を作っておられた方らしい。

調べたところでは、「練上げ」とは、白土に顔料を練り込み、多様な色の土を組み合わせて練り込む技法のようだ。いま、お茶を点てている遺作の陶器が、「練上げ」の一語で具体的に表現された分、特色のある追悼歌になっている。

ウルムの塔の七百段を登るのだ
上に天国地上にビール

鹿児島・志布志 西岡 雅博

ドイツのミュンヘンの近くの都市・ウルムにあるウルム大聖堂の塔は、教会堂建築としては世界一の高さで有名。およそ一六二層七六八段の階段で上がることができる。

この作、ウルム大聖堂の塔に登った時の作。汗みどろで登って、降りてきてビールを飲もう、というのだ。旅の歌ならではの、浮かれた気分とユーモラスな歌い口で、思ひ出深い一首に仕上がっている。

ROTARY 柳壇

てじま晩秋

選

リフオームを重ねて少し自分色

青森北東 遠間 善弘

若気の至りの「喜怒哀楽」も歳を取るに重ねて、角が取れるというか、人格が丸くなってまいります。ご自分なりの色になってきた自覚、作者はそれをリフオームという形態で、表現されました。見事な擬人法に拍手です。

残り火をほんのり燃やす義理のチヨコ

北海道・斜里 辻 舒宏

それなりのお歳になられた男性が、日ごろ、気になっている女性から、バレンタインデーに「義理チヨコ」を頂戴して、仄（ほの）かな恋の炎が、知らず知らず燃えてきています。片想いとは十分に承知しているだけに……あまりにも「辛くて、切ない」ですね。

ピケティが売れても格差縮まらず

東京日本橋東 廣瀬 嘉夫

ピケティの話題で会議邪魔をされ

静岡・浜松南 伊熊 牧治

フランスの経済学者で「経済格差の論客」として識（し）られるトマ・ピケティが、今年初め来日しました。代表作である『二十一世紀の資本』の売れ行きと並行して、世の中ピケティブームでした。報道陣からの多々の質問に「私が日本に来たのは、日本を学ぶためであって、教訓をたれるためではありません」と笑ってはぐらかす場面がありました。「さすが！ ソツがない」と思いながらテレビを見ておりました。

からくる病気を防ぎます。次に、免疫力です。体の異常を察知し、病気を予防します。自然治癒力でもあります。さらに解毒力は、体内毒素を水溶性に変える力で、いろいろな物を体外へ出します。そして、酵素力は消化、代謝を高める力です。特に、抗酸化力を高めることで、生活習慣病予防や老化の防止、がんの予防につながります。

抗酸化力を多く含む食品は、パプリカ、大葉、イチゴなどの青果物です。バナナも多く抗酸化力を含みますが、未熟なバナナより、熟したバナナのほうが抗酸化力は高くなります。菜の花は、三〇秒程度ボイルするとおいしく、かつ抗酸化力を最も高めることができます。

野菜の機能性を知ることが、特にがんの予防に効果的であることなど、さまざまな利点が挙げられます。健康のためにおいしく、楽しくかつ効率的に摂取できるものとして、野菜のほかに代わるものがないと言えます。生産農家は、野菜が人の体にどういいのか、野菜の本当の価値を表現すること、野菜が持つ機能性をよく知って、広めていくことが大切です。

(第二八二〇地区・茨城県・北茨城RCにて・同RC会員)

薬と健康

名城大学薬学部名誉教授 小嶋 仲夫

二〇世紀前半、日本では死因の首位を占めていたのはほとんど結核でした。その死亡者数が劇的に減ったのは一九五〇年ごろ、抗生物質を使うようになってからです。現在では結核が原因で亡くなる人は激減し、薬の役割、効果が非常に大きかったことがわかります。さらに、第二次大戦後、世界的に化石燃料が導入されて食糧生産が劇的に増加し、豊かな栄養に恵まれました。

こうして、戦争直後の平均寿命は約五〇歳でしたが、現在では、平均寿命は八〇歳以上にまで延びました。これが戦後の人口爆発の背景ですが、細かくみると、最大寿命はあまり変わっておらず一〇〇歳余りであることが分かります。また、食餌摂取の過不足などにより、がん、認知症などの新しい疾患が大きな壁となつて、平均寿命を延伸させるうえで課題となっています。

地球は四六億年前に誕生し、生命は約四〇億年ほど前に生まれました。生命は

太陽光を使って二酸化炭素を酸素に変えていき、酸素濃度が一気に高まった後に多細胞生物が登場しました。七〇〇万年前には人類が生まれます。酸素を使えば栄養エネルギーをたくさん取り出せますが、反面、いろいろな病気の原因もここにあり、酸素は極めて危険でもあるのです。DNAは常に酸素との戦場にあります。絶えず傷つき、修復を繰り返しています。

がんはこの酸素と栄養化学物質との関係の頂点に立つ過程で、進化のためにさまざまな取引と和解を行いました。例えば、腰痛を引き起こす二足歩行は脳を発達させるためですし、発熱に苦しむのはウイルスと戦うためなのです。

人は、再生細胞の分裂回数六〇回を限度として最大寿命で死にます。従つて、百寿の人たちに共通してみられるように、豊かな感情を持つ、友達付き合いをする、脳を使ってクリエイティブになることが、これからの健康設計で参考になります。二一世紀は化学物質を手はずけるような生き方をするので、健康寿命を延ばしていくことが必要です。

(第二七六〇地区・愛知県・名古屋南RCにて・同RC元会員)

卓

話



■「卓話の泉」は、各クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主を選んで要約、掲載しています。

かむことの効用

平井歯科医院 院長 平井 尚昭

人間は、動物の一種です。口の中で食物をかみ砕き、体内で消化することで生命を維持しています。かめなくなると動物は栄養を摂取できなくなり、その結果「死」に至ることとなります。

かみ合わせのバランスが狂うと頸椎、腰椎などにズレが生じ、それらが体の各関節にゆがみを生じさせ、その結果、神経系統やホルモン系統に異常を発生させ、生体バランスを狂わせ、各種疾病を発症させる可能性が大きくなります。かむことの効用は、「卑弥呼の歯がいーぜ」という日本咀嚼学会の標語に言い尽くされています。

「ひ」（肥満防止）よくかんでゆっくり食べることで脳が満腹感を得て、食べ過ぎを防ぎます。「み」（味覚の発達）よくかむことで食べ物本来のおいしさを感じることができ、味覚が発達します。「こ」（言葉の発達）かむことで顔の筋肉が発達し、言葉を正しく発音できるようになり、顔の表情も豊かになります。「の」（脳の発達）かむことでこめかみ付近がよく動き、脳への血流が良くなり、脳の活性化に役立ちます。「は」（歯の病気予防）かむことで唾液がよく出るようになり、虫歯や歯周病の予防につながります。「が」（がん予防）唾液に含まれるペルオキシダーゼという酵素は、食品の発がん性を抑える働きがあるとされています。「い」（胃腸の働きを促進）食品をかみ砕いてから飲み込むことで胃腸への負担が軽くなり、胃腸の働きを正常に保ちます。「ぜ」（全身の体力向上）しっかりとかむことで歯や顎が鍛えられ、歯を食いしぼり、全身に力が入るようになります。

「かむ」ことで健康を維持できるよう、日ごろから少しでも歯に関心を持って、手入れをしてみてください。

（第二六七〇地区・愛媛県・八幡浜RCにて・同RC会員）

青果物の価値を広める

（株）丹種苗園 代表取締役 丹 勝利

現在、農業従事者の高齢化や若者の農業離れ、さらに青果物の消費量の減少傾向など、青果物を取り巻く環境は大変厳しいものがあります。

農業振興にとっても、日本人の健康にとっても野菜は重要です。肥満の割合が、若者よりも高齢者に多い一方で、若い女性には痩せすぎていることが問題となっています。どちらも食物繊維不足が原因の一つとされ、これにより、大腸がんのリスクが高くなります。腸の調子と心の調子には密接な関連があります。セロトニンやドーパミンと呼ばれるその関連物質は脳内で働きますが、それらのほとんどが腸で作られています。「腹を据える」「腹を割って話す」「断腸の思い」などの表現からもわかるように、腹部と精神状態には関係があるのです。

野菜には健康を保つために大切な成分がたくさん含まれています。今注目されているものに以下のものがあります。まず抗酸化力です。体の老化を防ぎ、老化

は放屁するのが健康長寿のためになる、という意味のようです。

また別の折には、「気は長く、つとめは堅く、色うすく、食は細くして、心広かれ」と返答しています。短気にならず気は長く持つて、真面目に仕事をこなし、食欲はほどほどに、食事は腹八分目にして、心はゆったり広く持ちなさい、と言っているのです。天台僧正の長寿の秘訣の大事なところは、案外「精神・心の健康」にあるのかもしれませんが。

また天海は、故郷・会津の郷土食でもある納豆汁をことさら好みました。食事はゴマ、昆布、コンニャク、豆腐、納豆汁、野菜を中心にした玄米食の精進料理でした。長寿には、適度なたんぱく質が不可欠といわれて

バナー自慢

東京渋谷ロータリークラブ

第二七五〇地区（東京都）



渋谷という地域性を表現する素材を考え、ハチ公を取り入れました。また渋谷区の花であるハナショウブを、ハチ公と組み合わせることで、まさに渋谷ならではのバナーになりました。ハチ公のシルエットと品のあるハナショウブの花がクラブの顔となり、会員だけでなく、広く愛されるバナーに育ってほしいと願っています。

います。納豆汁は、納豆とみその両方の大豆からたんぱく質が摂取できる料理です。納豆は、脳の老化を防ぐレシチンや、血中コレステロールの濃度を低下させるサポニンなどが含まれています。江戸時代初期までは、ご飯にかけるよりも、みそ汁に入れて食べるのが一般的だったようです。

職業別にみた寿命では、宗教家が一番の長寿だそうです。宗教家の寿命が長いのは、節食や読経による精神の安定が指摘されています。

（第二六九〇地区 鳥取県 内科医）

超高齢化社会における 尊厳死をめぐる

平塚北 山梨熙一郎

人がどんなに華やかな人生を送ろうが、その最期の幕は、死なのである。現代の日本は、世界に類を見ないスピードで高齢化が進行している。ここで、どうすれば一番良い結末を迎えられるかが問題となるが、それには尊厳死と安楽死を考えることとなる。

尊厳死とは、過剰な医療を避け、尊厳を持って迎える自然な死。安楽死とは、苦しく、もはや生きる意味がない「生」から患者を解放する目的のもとに達成された死である。

その目的を達成するために意図的に行われる「死なせる行為」には、次の二つがある。

- 1 積極的安楽死 死なせる（殺す）こと。
- 2 消極的安楽死 死ぬに任せること（尊厳化）。いたずらに延命治療はしないとす

るならば、理屈として多くの人が認めている。

また、プロセスから見ると次の三つがある。

- 1 自発的安楽死（患者本人の意思による）
- 2 非自発的安楽死（患者本人の対応能力がない場合）
- 3 反自発的安楽死（患者の意思にかかわらず決定される）

回復の見込みがなく、すぐにでも命のともしびが消え去ろうとしている時でも、現代医療は、人工呼吸器、IVH（中心静脈栄養法）、胃ろうなどで生かし続けることができる。延命治療を始めたなら、やめることは容易ではない。あらゆる手段を使ってでも生きたいのか、尊厳死を望むのか、元氣なうちに自分の意思を記しておく、すなわちリビングウィル（尊厳死の宣言書）が必要となるのである。

現在、日本では積極的安楽死は認められていない。嘱託殺人、殺人幫助、承諾殺人罪に問われる恐れがある。これを認めている国は、スイス、オランダ、ベルギー、ルクセンブルクと、アメリカのオレゴン、ワシントン、モンタナ、バーモント、ニューメキシコ州に限られている。

最近、超党派の国会議員から「尊厳死法案」が上程されようとしている。国民全体で考えるべきであろう。

（第二七八〇地区 神奈川県 内科医）

るようなシステムです。

ぜひ顧客中心のコンピュータシステムを考えてみてください。当然その中には、そのお客さまが、コーヒーが好きか、紅茶が好きか、またミルクと砂糖は付けるかといったことも記録しておきます。

(第二七八〇地区 神奈川県 ウェブシステム)

ソングリーダーの過去帳

倶知安 尾崎 春人

「君が代」とロータリーソング「奉仕の理想」の指揮を済ませて自席に戻った私に、隣席から声が掛かった。「いい指揮でしたよ。思わず背筋を伸ばして、声に力が入りました」

声の主へ思わず目をやると、小柄ではあるが人好きのする笑顔が迫ってきた。反射的に立ち上がり、「恐縮です。ソングリーダーとして最高にうれしいです」と素直に言っ、最敬礼するのがやっとであった。以前所属していた神奈川西ロータリークラブの、すでに一二年前の例会での出来事である。

メークアップのために来訪されたい、名前も存じ上げないその方が、諸報告や食事の合間を縫って語りかけてきた。

「指揮の様子を見ているうちに映画『オーケストラの少女』（一九三七年公開）を思い出しました」

「はあ、指揮棒を使わなかったからですか？」と私が尋ねると、妙に感心した表情になって「あなたもあの映画を見ていましたか。私が見たのは中学二年生のころですが、手と全身でフィラデルフィア管弦楽団を指揮するレオポルド・ストコフスキーに圧倒されたのを今でも忘れません」と、少年のように目を輝かせた。つられて「私は小学二年生ころです。それ以降、ブラームスのハンガリー舞曲第五番が流れるとストコフスキーのまねをして笑いました」と私は応じていた。

支那事変の始まった、一九三七（昭和一二）年、横浜の繁華街にあったオデヲン座で二人が、「オーケストラの少女」で主人公を演じるディアナ・ダービンの絶唱するモーツァルトの「ハレルヤ」に聴き入っていたのかもしれないと想像しただけでも胸が熱くなるのを覚えた。例会後、名刺を交換したところで、また彼に問われた。

「ロータリーソングの伴奏がCDで流される場合、指揮する範囲はどうなりますか」

ソングリーダー役として日ごろ悩んでいた私は、「音出しと終わり、多少の強弱のサインぐらいでしょうか」と弱音を吐いた。すると「今日のように例会出席者に歌う気を起こさせることができるじゃないですか」と私に言い残すと、人混みに紛れて姿を消した。

この人が、「シウマイ弁当」で知られた横浜・崎陽軒の二代目の社長であったこと、さらにベートーベンを日ごろから愛し、解散しかけた神奈川フィルハーモニー管弦楽団の実質的

再建者といわれた超音楽通の野並豊氏であることを知らされたのは、二〇一四年一月五日の朝刊の計報であった。

(第二五一〇地区 北海道 学校経営)

天海僧正百歳長寿の秘訣

鳥取 塩 宏

高僧と言われる人には、長寿者が目立ちます。京都清水寺の貫主であった大西良慶さんは一〇七歳、永平寺の宮崎安保さんは一〇六歳、宗派を超えた仏教者の会「南無の会」会長を務めた松原泰道さんは一〇一歳まで長生きしました。

安土桃山・江戸時代初期には、徳川家康、秀忠、家光の三代に側近として仕え、家康の知恵袋といわれた天台宗の高僧、南光坊天海は、七五歳で没した家康よりもさらに長生きし、一〇八歳の天寿を全うしたと伝えられています。江戸という時代にあつて、天海僧正はなぜそれほどまでに健康長寿でいられたのでしょうか。

ある時、家光が天海に長生きの秘訣を尋ねると、「長寿は粗食、正直、日湯、陀羅尼、ときおり御下風あそばさるべし」と答えたと言います。粗食を重んじ美食、飽食を避けて、うそをつかず、毎日入浴し清潔にして、ストレスをためず、声を出してお経を唱え、時に

物語っています。

新庁舎供用を前に、一四年九月から、三次・庄原地区多職種連携会議（医療・介護・看護・福祉などの専門職が連携する会）の全面禁煙を求める署名活動に発展しました。そして三九七二人の署名を持って市長に要望したところ、一か月の熟慮の結果、「三次市健康増進計画を進めるためにも、三次市役所敷地内全面禁煙にします」という宣言に至りました。

ほとんどの市民が願うことなのに実現できないのはおかしい、と創造的潜在意識を積極的にすることで、公共施設内の敷地内禁煙化が一つずつ進むことを切に願います。今後はぜひ「平和都市ヒロシマ」の祈りの場である広島平和記念公園の全面禁煙化を進めたい

白杵ロータリークラブ

第二七二〇地区（大分県）

バナー自慢



国宝の白杵石仏（大日如来像）をモチーフにして、白杵市出身の進来哲画伯（一九〇五―八一年）がデザインしたもの。バナーが作られた当時、胴体から落ちたまま祭られていた仏頭はその後復位され、本来の姿に戻りました。

と思います。できないと諦めている消極派を積極派に転換させていきましよう！

（第二七一〇地区 広島県 眼科医）

売り上げアップの極意

大和 吉岡 善一

二〇二〇年のオリンピック・パラリンピックが東京に決定した際のプレゼンテーションで、「おもてなし」という言葉が有名になりました。「おもてなし」は日本の得意技とするところですが、企業活動としての「おもてなし」はどうでしょうか。先日、ある会社での打ち合わせ時、コーヒーが出されました。一人はコーヒーを飲みませんでした。なぜコーヒーで大丈夫か聞かれなかったのでしょうか？「世界のおもてなし」をご紹介します。

香港に行った時のこと。帰国する際、空港でクレジットカードがないことに気が付きました。時間になったのであきらめて搭乗ゲートでチケットを渡したところ、係員が私のクレジットカードを渡してくれました。ホテルの人が届けてくださったのです。

フロリダのホテルで、ビーチ係がビーチチェアを片付けていたところ、一人の男性が来て、「今夜、ここでプロポーズしたいんだ。ビーチチェアを残しておいてくれないか」と、お願いしました。ビーチ係は「喜んで」と言っ

て、ビーチチェアだけではなく、テーブルも残しました。その上、テーブルの上に真っ白なテーブルクロスを敷いて、お花とシャンパンを飾りました。さらに、砂の上にタオルを敷いたということです。

アメリカの洋服店での話ですが、ある奥さまが来店し、ブレスレットを大変気に入ったようです。しばらくして、店からご主人に、「奥さまへのクリスマスギフトにいかがですか」と写真と一緒に手紙が届きました。プレゼンで悩んでいたご主人には天の声のように響いたそうです。奥さまは、自分の欲しかった物ですから大変喜んだということです。

これら「究極のおもてなし」を提供している会社の従業員には共通点があります。お客さまを第一に考えていること。元気で明るく働いていること。お客さまのためなら、いちいち上司の許可を取らなくても実行できるところです。

どうすればこのような「究極のおもてなし」ができるようになるのでしょうか。それには「理念」と「行動指針」を作成し、全従業員に浸透させること。「行動指針」を実行するための「しくみ」を用意することです。具体的には、朝礼でお客さまからの感謝の言葉を伝えること、現場の従業員に権限を大幅に委譲することなどです。

また、顧客中心のコンピュータシステムからサービスが生まれるとも言われています。名前を入力すると、そのお客さまに合ったサイズの洋服の在庫があるかが即座にわか

の心を家庭、会社、地域へと及ぼしていく、
そのような人を育てることを目標としていま
す」など。

いろいろな言い回しができますが、つまるところ「ロータリーの使命とは、例会において会員を立派なロータリアンに育てることにあります」ということになるのではないかと思います。さて、あなたがロータリーを「一口で言う」としたらどのように言いますか？

(第二六七〇地区 香川県 建築設計)

ロータリーの 目指すもの

宇治 内良 益雄

今年も憂鬱な季節が来しました。次年度の役員に対し、地区研修・協議会への出席要請が案内されています。当地区の地区研修・協議会は近年、奉仕プロジェクト、ロータリー財団、公共イメージなどの分科会に分かれています。この分類を見ると、事業をするためにいかにロータリーが精力的か、うかがわれます。本来、ロータリーは個人の人格の向上が最大の目的であり、そのためには毎日ロータリーの行動をする、あるいは、それを目標とする、ということが大事です。

DLPを批判するのは、事業も大切ではありませんが、それ自体が目的となっている現状が危うく感じられるからです。事業当日う

成だけで、いかにもロータリーの目的を達成したかのような満足感を得ているロータリアンのなんと多いことか。これではロータリーに幻滅する会員もいるでしょうし、そういう人は黙ってロータリーを去っていくでしょう。これも会員増強の成果が出ない原因かもしれません。

職業奉仕が大事であれば、新会員とともに考えるべきでしょうし、職業奉仕がわかりにくいのなら、もっとみんなで楽しく学ぶ方法を見つけるべきでしょう。「職業奉仕が金看板」なんて口先だけで言わないで……。

(第二六五〇地区 京都府 機械技術)

受動喫煙防止活動から 見えてきたもの

三次中央 安藤 仁

『ロータリーの友』二〇一四年十二月号「友愛の広場」に掲載された野地俊行氏の「人はどう考え、どう行動するか？」をお読みにになりましたか？ 野地氏が注目された創造的潜在意識を積極的に活用して成果を得る経験をしました。

私たちの住む広島県三次市は、広島市と島根県松江市を結ぶ中間点にあり、人口五・五万人で、自然豊かな中国山地に抱かれた盆地に位置しています。初冬から霧がかかりやすくなり、霧の町として有名です。



敷地内全面禁煙になった三次市役所、右手が新庁舎

三次市役所新庁舎の建設にあたり、「霧の海 きれいな空気 禁煙で」を合言葉に、敷地内を全面禁煙化にすることを、医師会やロータリーの会員が市民に呼びかけました。一三年三月七日から始めたこの活動は実を結び、一四年一月四日から供用開始された新庁舎は、敷地内が全面禁煙になりました。本庁舎での敷地内全面禁煙化は、広島県内二三市町で初めてです。この素晴らしい結果を得るまでには、紆余曲折がありました。

たばこを吸わない市民の潜在意識は、この時代、禁煙化するのは当たり前で禁煙化されるものと思われていた一方、喫煙家の多い市議会議員には喫煙場所を確保したいと、分煙化が当然という潜在意識があったのです。

たばこの煙は多くの有毒物質を含み、たばこを吸わない周りの人に多くの害を及ぼすことが多いと証明され、受動喫煙の恐ろしさを

ロータリー歴五〇年と 卒寿を祝う会

瀬戸北 荒井 康夫



昨年十一月八日、藤田音春君のロータリー入会五〇年と卒寿を祝う会が行われました。当クラブだけでなく、近隣の瀬戸ロータリークラブ（RC）、尾張旭RC、愛知長久手RCから会長と幹事が出席し、当クラブ

の小澤修会長のお祝いのあいさつの後、代表して瀬戸RCの野田正治会長からもお祝いの言葉をいただきました。藤田君からは「皆さまの前に立ち、こうしてお祝いしていただけることをうれしく、また感謝申し上げます」との言葉をいただきました。

三クラブの全会員に対し、男性にはネクタイ、女性にはブローチが贈られました。そのお礼として、当クラブ会員が全員で木の葉型の和紙に書いたお祝いのメッセージを、樹木に配した「和すきの絵額」を作成し、お祝いの記念品として贈呈しました。

藤田君は一九六四年一月二五日、瀬戸RCに入会。瀬戸北RCの創立に尽力し、創立会員となり、第四代会長としても活躍しました。例会は現在まで皆出席。いつまでもお元気で、ご活躍ください。

（第二七六〇地区 愛知県 小児内科）

ロータリーを 「二口で言う」ならば

丸亀 横田 龍男

「ロータリーとは何ですか？」と聞かれた時、どのように答えたらいいのでしょうか。

ある人は「ロータリーの目的」を言うでしょうし、またある方は「決議二三―三四」を言うでしょう。しかし、どれも文章が長く、

また誰もが暗唱できるものではありませんから、書かれているものを示して説明しなければなりません。よって説明が長くなります。長い説明は正確を期すためですが、かえって訳がわからなくなります。ロータリーにはいろいろな側面があり、すべてを表そうとすると焦点がぼやけます。世間の人にロータリー

を説明するには一口で簡潔にしなければなりません。

ちなみにロータリーの先人たちはこのように言っています。米山梅吉氏いわく「ロータリーの例会は人生の道場」、「ロータリーは見えないところに仕事があり、目立たないところに妙味がある」、井坂孝氏（一九三―三三年度ガバナー）は「ロータリーは着物の裏を整えて着心地を良くするような仕事をしている」、また村田省蔵氏（一九三―三五年度ガバナー）は「ロータリーは銭湯のごとし、着物を脱いで裸になれば身分はない。浴槽と一緒に浸かって本音で語り合う」。さすがに味わいのある言い方をされています。

いろいろな考えがあるのがロータリーであり、一〇〇年を超える歴史の中で大勢の人がさまざまなロータリーを唱え、ロータリーはそれらを取り入れてきました。その結果が現在のロータリーです。ロータリーを一口で言えということ自体無理なことかもしれませんが、簡単に言えないと世間の人にとってわかりにくいロータリーが、ますますわからないものになります。

もし、私が「ロータリーとは何ですか？」と聞かれたら「ロータリアンは例会に出席することで、奉仕の心（思いやりの心）を学びます。その心を持ったロータリアンが、自分の職業を通じて世の中に貢献していく、これがロータリーの目指すところです」、「ロータリーは学校のようなところで、例会で異業種の方々と交わり職業倫理、人間性を高め、そ

たロータリー青少年交換学生です。帰国後もメールなどで時々連絡を取り合っていました。東日本大震災の折には、誰よりも早く「大丈夫？」と連絡をしてくれました。

今年一月、長年の約束がかない、エイダン君に会いに家族でオーストラリアへ行くことになりました。偶然にもロータリーアクターだったエイダン君がロータリーアクトクラブを卒業する年でもありました。

彼はわれわれのために一〇日間も休みをとってくれ、シドニーからメルボルンまで車で約一〇〇〇キロの旅をしました。日本のお父さん、お母さんと呼んでくれ、まさに息子のように、とても楽しい旅ができました。

また、東キャンベラ・ロータリークラブの例会に出席した際は、彼の希望で「友」と「絆」の書を書き、その漢字の意味を説明し、贈呈しました。書道は私の趣味で、エイダン



(写真右から) 東キャンベラRC会長、エイダン君、筆者

君がわが家に滞在していた時に一緒に書道をしたことや、お茶やお祭りなどへも積極的に参加し、日本の文化を熱心に学ぼうとしていたのを思い出しました。

ロータリー青少年交換学生との絆、そして海外のクラブの例会に行くことでロータリーアン同士の友情を強く感じる心豊かな旅となりました。やっぱりロータリーはいいですね。

(第二七〇〇地区 福岡県 食料品配布)

ホノルルマラソンと パールリッジRC訪問

福岡平成 増江 美道

昨年一二月一四日、第四二回ホノルルマラソンが開催され、福岡平成ロータリークラブ(RC)の会員三人でフルマラソン(四二・一九五キロメートル)に挑戦してきました。

その二日前、パールハーバーやワイアナエ山脈を一望できる、とても景色の良いゴルフ場、パールカントリークラブで行われていたパールリッジRCの例会に三人で出席し、バーナーの交換を行いました。

パールリッジRCは恵那RC(第二六三〇地区、岐阜県)と姉妹クラブを提携しているそう、英語の下手な私たちにきれいな日本語で対応してくれました。ホノルルマラソンに参加をする話したら、パールリッジRCの会員の中にも参加する人がいて、話をうか



マラソン参加で訪れたホノルルのパールリッジRCで

がったところ、なんとフルマラソンに一〇〇回以上出場しているとのことでした。

私たち三人のうち、フルマラソンの経験者は私だけ。他の二人は今回が初マラソンで、不安いっぱいのような感じが、三人でエントリーしました。せっかくなので個人エントリーだけでなく、チーム部門(三人でチームをつくり、その合計タイムで順位を競う)の男子カテゴリーC(合計年齢一五〇歳以上)にも登録しました。

マラソン当日はあいにくの雨と強風との闘いでしたが、なんとか三人とも無事に完走、団体ではカテゴリーCで参加の三チーム中二六位でしたが、個人と団体の二枚の完走証をもらい、次回の再挑戦を誓い合いました。

(第二七〇〇地区 福岡県 理美容業)

友愛の広場



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

韓国で受けた歓迎の心

大津中央 浜本 博志

昨年一〇月末、韓国・瑞山市を当クラブ会員四人で訪れました。現在、私どものクラブでお世話をしている米山奨学生^{サムサン}の金暎智^{キムヨンジ}さんの故郷です。彼女の故郷を訪ねる目的でしたが、せっかくの機会ですから、現地のロータリークラブを訪問してはどうかと考え、彼女を通じて、事前に訪問したい旨を伝えておきました。

瑞山周辺には一二のクラブがあります、そのうち、スケジュールが合った忠瑞ロータリークラブ（RC）の例会に出席させていただきました。

午後七時からの例会だということで、六時すぎに会場へ赴くと、先方は会長、総務ほか四人で迎えてくれました。そして例会場には

歓迎の横断幕が……。個人的な訪問だと伝えていましたが、公式訪問と書かれていたことに驚きました。

例会では、韓国国歌斉唱、ロータリーソング、会長の時間に続いて、あいさつをする時間をいただき、日本のロータリーのことや、米山記念奨学金制度などについて紹介しました。そして、お土産やバナーの交換をし、例会は三〇分くらいで終了しました。全くの初対面であつたにもかかわらず、すでにこの時点でお互いに打ち解けることができ、会長ほか数人は、「来年、大津を訪れます」と言ってくれました。また、米山奨学金制度については「自国以外の学生にそれだけの規模で、多額の奨学金制度があることは、本当に素晴らしい」と心から感心していました。

その後、例会場の隣にある、会員が経営す



急な訪問にもかかわらず、歓迎してくださった忠瑞RCに感謝

る食堂で食事会となりました。お互いのクラブのことや仕事のことを語らい、時間はあっという間に過ぎていきました。二次会まで準備してくださり、急きよ、ケーキを用意してくれて、私の誕生日祝いでいただきました。そして翌日は、会長と五人の会員に、海が目の前に広がる食堂へ連れて行ってくださいました。ごちそうになった新鮮なタコの刺し身と鍋はとても贅沢でした。

突然日本から来た私たちを、予想をはるかに超える「歓迎の心」で迎え入れてくれた忠瑞RCの皆さまに感謝すると同時に、今回の旅は、われわれのような民間レベルで交流することの良さ、大切さや、ロータリーならではの「友愛」というものを実感するものになったのは言うまでもありません。

最後になりましたが、金さんは現役の奨学生であるにもかかわらず、事前準備から現地での通訳まで、いろいろな尽力してくれました。誌面を借りて、感謝したいと思います。カムサハムニダ。

（第二六五〇地区 滋賀県 不動産鑑定）

友情と絆

本宰府 今村 次美

エイダン・レゴ君は今から一〇年前にオーストラリアから来日し、わが家で共に生活し

わがまち..... ROTARY そしてロータリー



仲睦まじい田島敏久・
富美子夫妻



2014年に創立された相模原橋本R C

せつかくなので相模原橋本R Cの例会を覗かせてもらった。出席報告の後で注意事項あり。「メールアップしたかたは必ずカードを書いて提出してください」。生まれてまだ一年たないクラブである。初々しい。

話は変わりますが、ご夫婦で同じクラブに所属しているというケースは、多くはないとしてもさほど珍しいことではないかもしれない。だが、夫婦の一方が現会長で連れ合いは会長ノミニ、となるとどうだろう。ロータリーを取材して八年になるが聞いたことがない。

市の東南端にあたる相模大野は市内きつての商業地帯だ。駅近くの産婦人科「慈誠会病院」の田島敏久院長と富美子副院長夫妻がその希なケース。相模原西R Cで敏久さんが現会長、富美子夫人がノミニである。

入会は一五年前。二人がレストランで食事中、顔見知りも混じったグループの人たちから「ロータリーに入りませんか？」と誘われた。お食事会で楽しそうと思った富美子さんは、大喜びで「入りま〜す」。誘いはご



相模原橋本R Cの例会風景

主人に向けたものだった、とは後で知った。

夫婦で入会したものの、「お産の現場は戦場でしたからね」。時間をやりくりしてロータリー活動に参加するうち、少しずつヒマをつくれるようになり、経験も積んで今年度の会長。

「夢中で一年たっちゃったねえ」という敏久さんに、夫人の評価は「ロータリーのことを本当によく勉強してがんばりました。感心しましたよ」。内助の功は？「お酒の量を減らしたり、いろいろ邪魔して刺激しました」

慈誠会病院は毎年、相模原西R Cといっしょに「赤ちゃんふれあい体験」という活動を行っている。県立麻溝台高校のインターアクトの生徒たちに赤ちゃんに触れ合ってもらうのだ。

「いまは核家族化と少子化で、周りに赤ちゃんがいませんでしょう？ 育て方のノウハウはないし、抱いたこともないんです」

ご家族に協力してもらい、生後三日目ぐらいの赤ちゃんに触れる。助産婦さん付き切り、生徒はマスクと手袋で。「半分は男子生徒ですが、赤ちゃんのやわらかさ、やさしさに触れてすごく感動しています」

未来のイクメン、準備OK。
一年後、会長のバトンは富美子さんに渡る。「若い世代を育てるのがロータリーだと思っています。楽しみにしています」

宮本貢（みやもと・みつぐ）

元朝日新聞記者。退社後、フリーで活動。

水村孝（みづむら・たかし）

元朝日新聞出版写真部編集委員。現在フリー。

J R 橋本駅。近くにリニア新幹線の新駅ができる



中央区の中心・J R 相模原駅前



南区の中心・小田急相模大野駅





原幹朗氏（相模原橋本RC・左）と
杉岡芳樹氏（相模原RC）

面返還され、JAXAをはじめ国民生活センターや国立近代美術館のフィルムセンター、市立博物館に公園、さらに小学校と中学校二校、県立高校などになっている。軍隊とは、なんと広大な土地を占有するものか。

基地はほかにもある。キャンプ座間の約七割は相模原市（ほかは座間市）に属しているし、JR相模原駅のすぐ北にはベトナム戦争末期、戦車移送阻止闘争が起きた相模補給廠が広がる。

補給廠は去年、一部が返還された。そこを使って小田急多摩線を延長したり、「さがみはら新都心」を整備したりと夢がふくらんでいる。



在日米陸軍キャンプ座間を開放して行われた「日米親善桜まつり」

市の特徴としての「宇宙」と「基地」。善しあしは別にして、どこの自治体にもあるというものではない。相模原市は、捉えどころがないというよりかなりトンデモナイのではないか。

リニアが街にやってくる

トンデモナイことはもう一つ。市内の北の拠点である橋本にリニア新幹線の停車駅ができるのだ。東京と名古屋を時速五〇〇キロのリニアモーターカーで結ぶ中央新幹線。品川を出て最初に止まるのが橋本駅である。

好機到来（？）と去年、新しいクラブが創立された。相模原橋本RC（古橋功順会長）。初めて「橋本」の地名を冠したクラブだ。

初代幹事の原幹朗さんに話を聞いた。先祖は甲斐の武田家に仕えた武士で、主家が滅亡後に移住してきたそうだ。このあたりは武田と小田原・北条の勢力争いの場であった。

クラブ名にあえて「橋本」を付けたのは？

「近年、クラブの実態が町の実態に合わなくなったように感じます。町があつてのロータリー。町の名前が付いたら、町の人たちもうれしいだろうと、『われわれ』のロータリーでなく、『町』のロータリーという考えです」

ちよつとシニカルな口調が知的な原幹事、この地区の将来に話が及ぶと気合いが入った。「リニアもそうですが、圏央道の開通も大きい。新しい工場や物流センターの動きが始まっています。首都圏南西部の中心としての町づくりにがんばろうと思います」

神奈川県の水がめ「津久井湖」(左)。湖畔の観光センターではバーベキューの客でにぎわっていた(中)。城山ダム下流の相模川。新緑がきれいだ(右)



セレモニーで花束を受ける大会会長の永保固紀氏（相模原RC・左）と加藤俊夫市長



わがまち.....ROTARY そしてロータリー



JAXA・月崎竜童助教(左)。「はやぶさ」についてのレクチャーを受ける

に関してでは妥協しませんでした」。

見学にはわれわれと杉岡さんのほかに、加藤盛久「ロータリーの友」地区代表委員(茅ヶ崎湘南RC)、佐藤祐一郎ガバナー補佐(津久井中央RC)、市役所の関係者も参加していた。おじさんばかり。月崎「少年」のひたむきさに一同の口から嘆声が続出したのは当然である。月崎先生はまことに率直な人柄で、どんな質問にもまっすぐ答えてくれた。

地球帰還が危ぶまれていた二〇〇八年当時、「はやぶさ」プロジェクトは研究者や学生の間では意外にも志望者が少なかったそう。初めて『イトカワ』の写真を人に見せた時、犬のフンみたいだと言われました。無事に還ってきたら、『ごめんなさい』って」

開発期間が非常に短かった後継の「はやぶさ2」は、「学生から助教になり、初めて探査機の開発に参加しました。当たり前ですが、こんなにも大変なのかと。後にも先にもこんな経験できないと思います」

研究者のための図書室も覗かせてもらった。ほとんどは洋書で、和書でも「メゾスコピック系の物理」「統計モデルによるロバストパラメータ設計」……。途方に暮れるタイトルの本ばかりの中に、「こんどこそ！わかる数学」さて、相模原市。

人口七二万人の政令指定都市といえば、全国でも屈指の都会、のはずだ。横浜からはJR横浜線、新宿からは小田急か京王線で、いずれも一時間足らずで着く。知り合いもいるし行ったこともあるのに、なぜかイメージがわからない。

印象が薄い。

どうなんです、相模原。会議所の会頭である杉岡さんにたずねてみた。

「いちおう大都市であるんですが、うーん、一言では言い表せない。捉えどころがないかもしれません。わたしの立場でこういうこと言っちゃいけないんでしょうが」

市の中心が、行政の中心(中央区)、交通の要(緑区橋本)、商業地(南区相模大野)と三か所ある。そもそも「相模原」の付く駅が二つもあり(JRの「相模原」と「小田急相模原」、間違えるとまったく別の町に着いてしまう。

急に人口が増えたせいもある。戦後、市制施行したときは人口八万人だった。横浜、東京に近いことからベッドタウンとして人気になり、悲鳴を上げた市が『こども急増びんぼう白書』(一九七五年)を出したほどだ。

戦前から戦中にかけて、この地は「軍都」として開発された。東京、横浜に近い「相模の国の広野」は軍にとって都合が良かったようで、陸軍士官学校や造兵廠など多くの施設が移ってきた。戦後、進駐軍に接収され、米軍基地、施設として使われている。じつはJAXAがある場所もキャンプ淵野辺と呼ばれる米軍基地だった。四〇年ほど前に全

多くの露店も並んでにぎやかだ

第28回「泳げ鯉のぼり相模川」(4月29日～5月5日)



相模原中RCが深く関わっている

わがまち.....ROTARY そしてロータリー

神奈川県 相模原市



はやぶさ・米軍基地 そしてリニア……

文・宮本 貢 写真・水村 孝

行政、交通、商業
中心が三つある街

感動しましたねえ、小惑星探査機「はやぶさ」。
七年間、六〇億キロに及ぶ宇宙の旅からの帰
還。カプセルだけをオーストラリアの砂漠に送
り届け、自らは流星のように燃え尽きたあの映
像は、見ていて胸が熱くなりました。

「見学します?」。相模原ロータリークラブ(R
C)の杉岡芳樹元会長に言われてびっくりした。
うかつなことに「はやぶさ」の拠点、JAXA(宇
宙航空研究開発機構)の宇宙科学研究所が相模
原市(神奈川県)にあるとは知らなかったのだ。
杉岡さんは「相模ガス」社長。相模原商工会
議所の会頭でもある。大学時代はヌーベルバ
ーグに憧れ、自らカメラを回した映画青年。好き
な映画はゴダールの「気狂いピエロ」。身のこ

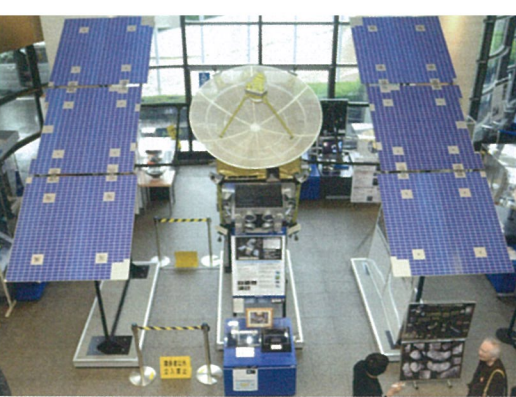
なしの軽やかさはそんな学生時代の名残か。
JR横浜線の淵野辺駅で待ち合わせた。この
駅は発車メロディが「銀河鉄道999」で、改
札口の正面には「はやぶさの故郷さが
みはら」などの大きな看板が並んでい
る。

JAXAは木立の緑の中にあつた。
説明役は月崎竜童助教。イオンエンジ
ンの専門家で、東大生のときから「は
やぶさ」に関わった俊秀だ。去年暮れ
に打ち上げられた後継機「はやぶさ2」
プロジェクトにも参加している。

この道に志したのは早い。自分に
とってどんな仕事か最も魅力的か、「図
鑑や教科書を見て」考えた職種は、宇
宙探査。結論に達したのが一〇歳か
一一歳(小学生!)で、「以後、進路

JR淵野辺駅では宇宙関係の看板が目立つ

JAXAの構内には大型ロケット模型



JAXA展示室には「はやぶさ」の
実物大模型がある



子どもたちには、「あなたに生きていてほしい」と願っているよ。できることがある時は手伝うから、相談してね」と声をかけてあげる大人にはなれるのではありませんか。

これが子どもたちを生かすのであれば、こんな無力な私たちでも、その子どもたちとともに生きていくことができるのではないですか。「人権」と聞くと、難しそうに聞こえます。子どもたちと付き合っていく中で、何が欠けたら、子どもたちが生きるか死ぬかのところまで追い詰められるのか、逆に何が回復される時に子どもたちが元気になっていくのか。三つの柱がある、と知りました。

「生まれてきてよかったね」「一人ぼっちじゃないからね」「でも、あなたの人生はあなたしか歩めないからね」。子どもが自分の人生を自分で選んで誇り高く歩いていく、これが「人権保障」なのです。

この三つの柱をきちんと立てていくと、死ぬか生きるかの子どもたちが立ち上がってきました。あらゆる人権侵害が起きている場所で、この三本の柱を立てていくことこそ、人権の擁護ということなのです。このことを私は子どもたちから教えられました。

子どもたちを救う シェルター

親から逃げてくる子どもたちに「今日、泊まっていいよ」と言ってあげられるシェルターがなぜないんだろう。一九九四年から毎年、弁護

士会で、子どもたちと弁護士がお芝居をつくってきました。今年で二一回目。テレビや新聞ではわかってもらえない子どもの苦しい現状を目の前にして、たくさんの方々に知ってもらいたいという活動です。最近では、七〇〇人、八〇〇人という観客が集う、大きな催しになってきました。二〇〇二年、パート9の時だったのですが、子どもシェルターがほしい、というお芝居をつくりました。

このシェルターの劇を観た人たち、演じた弁護士たちが口々に「つくろうよ、この夢のシェルターを」となったのです。夢は夢のまま置いておいたら駄目だ、一歩踏み出そうと言って、みんなして踏み出しました。

児童福祉関係者、一般企業、普通の市民、弁護士。皆が同じ思いを抱き、この子たちを救うためのシェルターをつくろう、と一年半、童巻のように働きました。

夢であった子どもシェルターが、お芝居の時と同じ名前の「カリヨン子どもセンター」として二〇〇四年の六月に生まれました。一軒家です。今、定員は五人ですが、子どもたちには個室があり、スタッフが二四時間一緒にいてくれます。

親権者との対応は弁護士が行うことにしました。外側は弁護士がガードし、シェルターでは、スタッフが子どもたちと一緒に暮らすというシステムをつくったのです。一年になります、三〇〇人以上の子どもが利用しました。

ここへ来た子どもたちは、二三日はおとなしくしていますが、数日すると、無意識のうち

にうそをついたり暴言を吐いたり物を投げたり自傷行為に走ったりということを始めます。弁護士もスタッフも医師もカウンセラーも、児童相談所もみんなでスクラムを組んで私たちの方が倒れないようにしながら、一人の子どもをぎゅっと抱きしめ続けていくしかありません。

私たちはあなたの問題を解決してあげられない、でも、一人ぼっちにだけはしたくない、と言って、抱きしめ続けるのです。どんなに暴れてもそのスクラムは崩れませんから、そのうち子どもたちの心がふっとほぐれる瞬間がきます。この大人たちは信じていいのかもしれないと。

シェルターから家に帰った子どもは、少ないのです。ほとんどの子が、家に帰らないことを選択します。高校中退者が多いです。その子たちが生きていくのがどんなに大変か。子どもたちの自立援助ホームという事業を別に始めました。ここでスタッフと暮らし、働きながら、大人になっていく場です。

子どもシェルターが全国に広がってほしいという願いをもっています。神奈川県、愛知、岡山、広島、和歌山、札幌、千葉、新潟、今年は大分までできる予定です。さらに沖縄、兵庫、大阪で準備が始まっています。それぞれの地元の、市民と児童相談所関係者と弁護士、企業、いろいろな人たちが一人の子どもの命を守らなければならぬ、という思いで連携し、子どもシェルターが立ち上がっています。

こうした子どもたちがいるということに心を向けていただき、皆様のご理解をいただけたらと思います。

小学校五年生になって、やっと自分の足で逃げ出すことができるようになって、お父さんから殴られそうになるたびに、夜の街へ飛び出していきました。寂しかったし、どこへ行けばいいのか、わかりませんでした。「誰でもいいから、そばにいてほしいかった」

家で見たくないこと、聞きたくないことから逃れてきた子どもたちがたむろしていたコンビニエンスストアの前、公園の中へ、彼女は入っていきかありませんでした。「友だちが勧めてくれた。これを吸えばすべて忘れられるって」。それがシンナーでした。「何もかも忘れたかったの。だからシンナーを吸ったの」

誰がこの子を責められるか、と思いました。一〇歳で背負いきれない重荷を背負わされて、でも、誰にも助けてもらえなくて、シンナーを吸って忘れるしかなかったのです。それでも、世の中はこんな子を「悪い子」として警察に補導させて家に戻すわけです。「父親にまた殴られたよ。母親には、あんたみたいな悪い子は生まれてこなければよかった、あんたなんか死んでしまえばいい、とまでののしられた」

中学校に上がるころには、悪いと言われることは何でもしてやろうと思って、学校へは行っただけで授業中には暴れ、授業妨害をして、エスケープをして、タバコを吸って、暴走族へ入って、リンチをやったりやられたりして、家出を何度も繰り返して、結局行くところがなくて、やくざに覚せい剤を打たれて売春させられて、一六歳でぼろぼろになっていました。

誰一人として、犯罪者になろうとして生まれ

てきた子どもたちなどいないのです。この子たちの人生に、虐待の影が見えないことはないのです。幼いながらも一人の人間として大切にされ、必要なものを与えられて生きてこれたら、子どもたちはこんなひどいことには、ならなかったのです。

「あなた、自分が生まれてきたことなんて誰も喜んでない、と思っているんじゃない。でも、あなたの目の前に今立っている私は、あなたに生きていてほしいって願っているからね。それだけは、信じて」。こんな言葉、子どもに面と向かって言ったのは初めてでした。どうしても生きていてほしかったのです。

彼女は、本当にもう駄目、という時だけ、電話をかけてきてくれました。「先生、助けて」。彼女の頭のどこかに、私の「生きていてほしい」と願っているよ」という言葉が記憶されていたのです。世の中に一人でも、本気であなたに生きていてほしい、と願ってくれている人がいるということを感じられるかどうか、それが、子

どもの生死を分ける時があります。

彼女は今、四〇歳を越えています。再婚して、子どもに恵まれ、一生懸命穏やかに生きています。彼女が三〇歳を越えた時、こんな話をしてくれました。「近くの公園へ、夜な夜な一人の中学生の男の子がやってきて、シンナーを吸っているの。その子のお父さんはお酒飲んで暴れるの。だから、家にいられなくて公園でシンナー吸っているんだよ。私ね、そばに行つてシンナーの袋を取り上げて、シンナーなんか吸うんじゃないよ、って言ったの。それで毎晩家に連れてきてご飯食べさせているんだよ。シンナー吸ってる子どもの気持ちは、シンナー吸っていた私にしかわからないもんね」

多くの子どもには親がいて、最後の最後には親が手伝ってくれます。とにかくあなたは生きていてほしい、という親の祈りがありますから、子どもたちは成長して大人になっていかれます。でも今、虐待を受け、親が祈ってくれない子どもたちが増えてしまっているのです。



坪井 節子

■(社福)カリヨン子どもセンター理事長

一九五三年 東京生まれ。

七八年 早稲田大学第一文学部哲学科卒業。

八〇年 東京弁護士会にて弁護士登録。

八四年 坪井法律事務所開設。

八七年 東京弁護士会子どもの人権救済センター相談員。東京弁護士会子どもの人権と少年法に関する委員会委員。

二〇〇四年 NPO法人カリヨン子どもセンター理事長。

〇八年 (社福)カリヨン子どもセンター理事長。

著書に『子どもは大人のパートナー』明石書店、一九九八年、『子どもたちに寄り添う』いのちのことば社、二〇〇七年など。

「学校なんか行かなくていい、ただ生きていくれさえすればいい」と初めて親が言ってくれた。彼はその親の言葉を聞いて、もう一度生きてみようかな、と思ったそうです。子どもたちの相談を受けていると、親の一言がどれほど重大かということ、切実に思い知らされます。親の一言が、子どもを絶望のふちに追い落とし、子どもに生きる勇気を与えるのです。

彼が自殺を考えた時、ものすごく腹が立つた言葉がありました。「死なないで子どもたち死ぬ勇気があるのなら、いじめに立ち向かえ」ってカードに書いてあった。「死ぬのに勇気なんていらなんだよ。いじめに立ち向かえないから死ぬんだよ。そのいじめに対して、何もしていない大人たちが、どうしてこんな無責任なこと言えるんだよ」って。

私は、彼に返す言葉がありませんでした。ただだけの子どもが、何も話を聞いてもらえないまま、あちらの世界へ旅立っていったか。どれだけの子どもが、今この瞬間、誰にも何も聞いてもらえないまま、とぼとぼと一人ぼっちで歩いているのか。

私は彼の前でうなだれて、おろおろするしかありませんでした。そうしたら、そんな私を見てこう言ってくれたのです。「子どもの話を、こんなに一生懸命に聞いてくれる大人がいるなんて思わなかったよ」って。その時、私は子どもの求めていることはこれではないか、と思いました。私にできるのは、子どものそばにいて、とにかく話を聞いて、「あなたが生きてほしい」とその場で伝えることしかないと思いました。

彼が選択したのは「僕は学校をやめる」ということでした。「あの学校へは戻らない。でもあの学校の先生に伝えてほしい、いじめというものとはどれほど辛いことなのか。先生たちの中途半端な介入が、どれほど子どもたちを苦しめるか。先生たちに本当にしてほしかったことは何なのか。僕は学校を辞めるけど、あの学校の先生が少しでも変わってくれば、あの学校から僕のように苦しむ子どもが、一人でも減るでしょ」。子どもがこのような選択肢を示してくれた時、私は頭が下がりました。

大人だったら「慰謝料取ってくださいよ」って言いそうな場面です。子どもたちは、自分が今いる場所から立ち上がるために何が必要か、考え抜くのだと思います。弁護士業務が役に立つのは、それからでした。子どもの代理人として、子どもの言葉を携えて、学校へ行きました。先生たちも、命を懸けた子どもの言葉を「重く受け止めます」と約束してくださいました。その言葉を携えて、また彼に伝えるに行きます。彼は喜んでいました。自分の言葉が重く受け止められたというのは、自分の命を重く受け止めてもらえたということと、同義だったのだと思います。

誰が

この子を責められるか

十数年前から、虐待などで、家族の中で苦しむ子どもたちの相談がどんどん増えていきました。児童相談所に行つてわかったのは、そこは

野戦病院だということでした。この虐待の激増の中で、あの人数で子どもたちを救え、など無理です。日本という国は子どもたちにお金をかけないのです。子どもたちが一番声を出せない現場には、お金がかかっていないのです。

それでも、社会の中で虐待ということに目を向けてくれる人が多くなり、二〇〇〇年には「虐待防止法」という法律もでき、世の中で虐待問題が認知され、子どもたちを救い出さなければ、という意識は育ってきています。虐待の通報件数が増えたのは、このおかげもあるのです。

私自身が虐待されている子どもに出会ったのは、児童相談所の仕事を手伝う前です。「非行少年」と言われている子どもたち。「少年法」という法律の名のもとにおいて裁かれていく子どもたち。この子どもたちの弁護士付添人という仕事をしてきたためです。

ある日、一六歳の女の子の付添人を頼まれました。覚せい剤取締法違反で逮捕されたのです。その子はシンナーも吸っていました。小学校五年生の時からです。「なんでシンナーなんか吸ったの」と聞きましたら、「だって、見たくないことがたくさんあったから」と言います。

彼女は三人姉妹の長女でした。お父さんは働かずにお酒ばかり飲んで暴力を振るう人でした。お母さんは、お父さんから殴られ、蹴られ、髪の毛をつかまれて引きずり回され、耐えきれずに夜中でも玄関からはだして飛び出してしまったそうです。お父さんは寝ている小さな娘たちを蹴飛ばし、「起きろ」と言つて殴りかかってきました。



何とか仲間に入れてもらえるよう、いろいろと努力をしますが、報われなかったのです。三か月たって、いじめはますますひどくなり、彼がたどり着いた結論は「何をやっても駄目なんだ。みんなが僕のことを嫌いだ。僕がこの教室からいなくなれば、みんなが喜ぶんだ」ということでした。

学校に行けなくなり、朝、体が動かなくなった瞬間、目の前が真っ暗になった、と言っていました。学校を出て、成功して、社会に出ていくという一本の細い道だけが示されていた彼。彼は一生懸命歩いてきたのです。その道が途切れたのです。

親に「僕、学校に行けないんだ」と言ったそうです。親御さんはその三か月、何が起きていたのか全く知りませんでした。「僕、ちょっとやられているんだ」。この言葉の裏にどれほどの深い苦しみか隠されていたのか、親御さんは想像することもできないまま「何言っているのよ。頑張りなさいよ。強くなりなさいよ。みんな、学校へ行っているじゃないの。あと三か月我慢すれば、高校へ行かれるのよ」。そう言っ、彼を励ました。

彼は親の言葉を聞いた途端、最後の命の綱がぷつと切れた、そういう感じがしたそうです。生きていく資格がない、死ぬしかないと思ってしまう。薬を飲んで意識がもうろうとなっていて、ところを発見され、緊急治療が施され、彼は一命を取り留めました。遺書を見た両親は、初めて自分の息子が、命を懸けるまで苦しんでいた、ということを知ります。

子どもたちに寄り添う いじめ・虐待・少年非行の現場から

私にできるのは、子どもの傍にいて、とにかく話を聞いて、「あなたが生きてほしい」とその場で伝えることしかないと思いました。世の中に一人でも、本気であなたに生きていてほしい、と願ってくれている人がいるということを信じられるかどうか、それが、子どもの生死を分ける時があります。

(社福) カリヨン子どもセンター理事長 **坪井 節子**
Setsuko Tsuboi

どうして子どもたちが 傷つかなければいけないのか

私は東京弁護士会に所属していますが、ここが「子どもの人権救済センター」という組織を設けています。ここで相談員を二七年間、務めてきております。私は相談員になった途端に、打ちのめされていきました。電話の向こうから聞こえてくる子どもの声、相談室に実際に来て語る子どもたちの話。私の想像を超える話ばかりでした。

どうしてこんなに子どもたちが傷つかなければいけないのか、どうしてこんなに子どもが絶望しなければならぬのか、生きるか死ぬかというところまで子どもが追い詰められなければならないのか、という世界の話だったのです。それと同時に、さらに私を打ちのめしたことは「どうしていいのかわからない」ということでした。私は当初、相談員になったことを後悔しましたが、その私が、なぜ二七年たってもまだ相談員をしていられるのか。それは、ここで出会った子どもたちのおかげとしか言いようがありません。

一九八七年、この相談が始まった当初は、いじめ、体罰、不登校……学校の中での問題に関する相談がほとんどでした。学校は子どもたちが健やかに学び、遊び、社会に出るまで守られて成長するところです。そこで子どもたちが傷つき、命を落としていく。何が起きているのだ、日本の学校は、という思いでした。

私が出会った一人の男の子です。中学三年生でした。彼は小学校の時から受験勉強をさせられ、虚栄心のある両親に育てられ、有名な中高一貫校に合格しました。その学校で、中学一年生の時から恐ろしいいじめに遭ったのです。クラスの誰かがいじめのターゲットになるので、彼はどうしてもターゲットにならないか、いじめられないためには、いじめるしかなかった、と言っていました。

先生なんか相談しようものなら、もつとひどいいじめが始まります。大人なんか信用できない、自分の身は自分で守るしかない。いじめる側に加担することによって、自分は中学三年生まですり抜けてきたと。

中学三年生の二学期、夏休みが終わって学校に行った途端、教室の中の空気が、がらっと変わっていることに気づきます。自分がいじめのターゲットになったことを知りました。そして、いじめの被害に遭った子どもたち皆が陥る問い、これに彼も陥っていきます。「どうして僕がいじめられるのだろう」「僕のどことが悪いのだろう」「どうしたら僕はみんなの仲間に入ってもらえるのだろう」

彼は、自分をずたずたにしながらいじめられて、自分は自分をずたずたにしながらいじめられて、

6月はロータリー親睦活動月間です

THE ROTARY-NO-TOMO

子どもたちに寄り添う

いじめ・虐待・少年非行の現場から

■(社)福カリオン子どもセンター理事長 坪井 節子

4
73

シリーズ わがまち……そしてロータリー

はやぶさ・米軍基地 そしてリニア……

神奈川県 相模原市

文・宮本 貢 写真・水村 孝

9
68

友愛の広場

韓国で受けた歓迎の心

友情と絆

ホノルルマラソンとパールリッジRC訪問

ロータリー歴五〇年と卒寿を祝う会

ロータリーを「口で言う」ならば

ロータリーの目指すもの

受動喫煙防止活動から見えてきたもの

売り上げアップの極意

ソングリーダーの過去帳

天海僧正百歳長寿の秘訣

超高齢化社会における尊厳死をめぐる

●バナー自慢

大津中央 浜本 博志
太宰府 今村 次美
福岡平成 増江 美道
瀬戸北 荒井 康夫
丸亀 横田 龍男
宇治 内良 益雄
三次中央 安藤 仁
大和 吉岡 善一
俱知安 尾崎 春人
鳥取 塩 宏
平塚北 山梨熙一郎

13
64

卓話の泉

かむことの効用

青果物の価値を広める

薬と健康

八幡浜 平井 尚昭
北茨城 丹 勝利
小嶋 仲夫

20
57

ロータリー 俳壇

ロータリー 歌壇

ロータリー 柳壇

◆稲畑 汀子 選

◆佐佐木幸綱 選

◆てじま晩秋 選

22
55

22
55

22
55

ロータリー・アット・ワーク

地域の小学校で楽器

寄贈記念コンサート

水戸南ロータリークラブ

〈写真〉大分南/小倉中央/第2680地区/

仙台泉/小矢部中/東城/焼津/土浦南



24
53

生きている日々の輝きを感じよう

中学校剣道錬成大会に優勝旗を贈る

はしご付き消防車を寄贈

婚活パーティー 初めての成果

創立五五周年を迎えて 数世代と同席した会員も

留学生六人を表彰

タイの米山学友と米山梅吉記念館訪問

マレーシアで熱烈歓迎 IAC海外研修

国際親善の夕べ

オーストラリアの留学生 初釜を体験

『ロータリーダイニング』発刊

Eローリーズバンド 地区I-Mの懇親会に出演

千年の都を守るころ おもてなしの防災

世界平和への祈りを込めて

第一〇回ふうせんバレーボール大会開催

●内外よる案内

表紙のメッセージ

岡井 耀毅

34
43

表紙 横組み 「雨上がりのアジサイ」 小島 常男(二六六〇 大阪船場)

表紙 横組み 「僕の番だよ」 脇村 重徳(二六四〇 有田)

表紙 横組み 加藤 光峰

表紙 横組み 加藤 光峰

●横組みの目次は、反対側の表紙を開いた41〜5ページにあります。

●本文写真などの無断転載・複製を禁じます。

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

ROTARY
JAPAN
Home Page
www.rotary.or.jp

今年度『ロータリーの友』横組みの表紙裏には、ロータリーの創始者ポール・ハリスの写真を掲載してきました。写真は同じですが、そこには毎号違った言葉が入っています。見逃した方は、あらためて創始者の思いに触れてください。

ロータリーの友

THE ROTARY-NO-TOMO JUNE 2015 VOL.63 NO.6

ロータリーの友6月号 第63巻 第6号
平成27年6月1日発行(毎月1日発行)
通巻750号 昭和28年1月創刊
昭和43年4月23日第3種郵便物認可
発行所 一般社団法人ロータリーの友事務所

6
2015



SPEECH ———

子どもたちに寄り添う

坪井 節子

わがまち……そしてロータリー

神奈川県相模原市

Rotary 